



Sports Series

オーナーズハンドブック

アシスタンス

代理店ネットワーク

マクラーレン正規ディーラーネットワークは確実に拡大を続けています。連絡先など全ディーラーのリストは次の URL でご確認ください。

www.retailers.mclaren.com

緊急時は、お住まいの地域の緊急サービスまでお電話ください。

緊急でない場合は、お近くのマクラーレン代理店までお問い合わせください。

マクラーレン顧客サービスの連絡先は次の URL でご確認ください。

<https://cars.mclaren.com/contact-us>



目次

1.1 運転の前に

2.1 運転操作装置

3.1 インストルメント

4.1 快適機能と便利機能

5.1 メンテナンス

6.1 車両データおよび用語集

はじめに

はじめに

運転する前に本書をよく読み、McLaren とその機能についてご理解ください。本書には、お客様に McLaren が提供する利点や喜びを最大限にお届けするために必要な情報が記載されています。

本書では、マクラーレンスポーツシリーズでご利用いただけるすべてのオプションおよび機能について説明しています。一部の記述（ディスプレイおよびメニュー機能に関する説明を含む）は、モデル、国別仕様、オプション装備またはマクラーレン認定アクセサリーの有無によって、お客様の車両には該当しない場合があります。

 **注意:** 本書に掲載されている画像は、お客様の車両の状態とは完全には一致しない場合があります。

お客様のマクラーレンに付属されている書類は、車両の一部を構成するうえで不可欠なものです。車両を売却される場合には、必ず付属書類も同時にお引き渡してください。

本書の内容は、必要な情報をすぐに見つけられるよう、章に分かれています。

運転の前に

運転席に着いた後に運転の準備を整え、すべての操作装置への安全かつ容易なアクセスを確保するために行う必要がある設定を詳しく説明します。

運転操作装置

この章は、お客様のマクラーレンの装備と運転操作装置、および運転中にそれらの操作装置を最も効果的に使用するための方法を詳しく説明します。

インストールメント

この章は、車両の各種設定の表示、変更手順を含め、インストールメントクラスターについて説明します。

快適機能と便利機能

快適な運転環境を得るためのシステムや機能について説明します。

メンテナンス

McLaren のメンテナンス手順を説明します。冬季にマクラーレンを運転する際のアドバイスや、海外で運転する際に不具合が発生した場合の対応策、その結果生じる可能性がある問題への対応方法についても説明します。ヒューズやランプに関する情報、パンク時の対処方法を説明します。

車両データおよび用語集

McLaren の様々なシステムに必要なフルード類やその分量については本章を参照してください。また、McLaren や車両の性能に関する具体的なデータが必要な場合も本章を参照してください。

技術用語集では、McLaren に搭載されているいくつかのより複雑なシステムについても簡単に説明しています。より詳しい情報をお求めの場合は、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

索引

目次と索引は、必要な情報を素早く見つけるために役立ちます。

はじめに

本書についての情報

McLaren は最新の技術を採用し、つねに先を行く技術を搭載するため車両仕様を更新し続けています。したがって、McLaren は随時設計、装備および技術的機能を変更する権利を留保します。

© McLaren Automotive Limited.

McLaren Automotive Limited の書面による許可なく本書の一部または全部を複製、翻訳もしくは再版することを禁じます。

お客様の McLaren に搭載されている装備は、車両の市場仕様により本書に掲載するものとは異なる場合があります。お客様のマクラーレンは、車両の市場仕様により本書に掲載するものとは異なる場合があります。

当社のアプリケーションに含まれるすべての情報、図および仕様は、利用可能なデータに基づいており、発行の時点では正確です。地域の制限や規制により、ご利用いただけるオプションは市場によって異なる場合があります。このアプリケーション内の一部の図は、必ずしもお客様の地域の市場でご利用いただける仕様またはオプションを反映しているとは限らず、オプション装備を示している場合があります。これらのアプリケーションに記載されている仕様は、情報目的専用であり、マクラーレンオートモーティブは、事前の通知なしで、または義務を負うことなく、いつでも製品の仕様を変更する権利を留保しています。仕様の詳細情報および

標準装備とオプション装備に関する情報については、担当のマクラーレン代理店までお問い合わせください。

本車両は、特許により保護されています。
cars.mclaren.com/patentsを参照してください。

Printed in United Kingdom, 13QA455CP.

電子ユーザーマニュアル

お客様の車両に電子ユーザーマニュアルが装備されている場合は、オーナーズハンドブックと IRIS ユーザーガイドは IRIS 画面でご覧いただけます。



マニュアルにアクセスするには、「アプリ」画面に移動して「ユーザーマニュアル」を選択します。ユーザーマニュアルアプリケーションが起動します。

はじめに



「オーナーズハンドブック」または「IRIS ユーザーガイド」を選択して情報にアクセスします。

目次

はじめに
運転の前に
運転操作装置
インストルメント
快適機能と便利機能
車両のメンテナンス
車両データおよび用語集
索引

必要な章を選択すると、その章の目次ページに移動します。



注意：メイン目次ページから「索引」を選択すると、オーナーズハンドブックに収録されているトピックの索引がアルファベット順に表示されます。索引は IRIS ユーザーガイドでは利用できません。

運転操作装置

始動および走行
シームレスシフトギアボックス
ハンドリングとパワートレーンコントロール
走行安全システム
クルーズコントロール
アクティブスピードリミッター (ASL)
慣らし運転
給油
冬季の走行

章の目次から必要なセクションを選択すると、目的の情報にアクセスできます。

セクションが表示されたら、画面にタッチして指で上下にドラッグすることでスクロールできます。ホットスポットリンクは、オレンジ色の下線付きテキストとして表示されます。ホットスポットリンクを選択すると、テキストで示されている情報に移動できます。

はじめに



「ライブラリ」アイコンは、メイン目次ページの上部に表示されます。「ライブラリ」ボタンを選択すると、ライブラリに戻って利用可能なすべてのオーナー情報にアクセスできます。



「ホーム」アイコンは、各ページの上部と下部に表示されます。「ホーム」ボタンを選択すると、メイン目次ページに戻ります。



画面の下部（セクションの最後）にあるアイコンを使用すると、必要に応じて前のセクションや次のセクションに移動できます。

記号

本書では以下の記号を使用しています。これらの記号は、記載されている情報の種類が一目で分かる、視覚的なメッセージを提供します。

警告	
	怪我や死亡事故につながるおそれのある行為への注意事項を示します。
注意	
	車両を損傷する可能性のある行為への注意事項を示します。また、お客様にとって役立つ情報や特定事項に関する追加情報を提供します。
環境保護上の注意	
	車両の運転によって環境に及ぼされる影響を最小限にするためのヒントを説明します。

運転上の安全



警告：お客様のマクラーレンに搭載されている電子システムは相互に作用しています。これらのシステムをみだりに改造すると、相互接続されている他のシステムの故障の原因となるおそれがあります。これらの不具合は、McLaren の運転安全上およびお客様自身の安全に重大な危険を生じるおそれがあります。

車両に間違った方法で装備を追加もしくは修正した場合も、運転安全に悪影響が生じる可能性があります。

はじめに

車両の使用

車両を使用する際は以下の事項を遵守してください。

- 本書に記載されている安全上の注意のすべて
- 道路交通法および規則

 **警告：お客様のマクラーレンには、様々な警告ラベルが貼付されています。これらの警告ラベルはお客様と乗員に、様々な危険を知らせるためのものです。車両の警告ラベルは決して剥がさないでください。**

警告ラベルを剥がすと、お客様や乗員が危険に気付くことができず、怪我などを負うおそれがあります。

最低地上高

 **警告：急な上り坂または下り坂への進入の際、車両の下側を損傷する可能性があります。**

以下の場合には注意して運転してください。

- 縁石への進入
- 急な上り坂への進入
- 急な下り坂から平坦な道への進入
- 悪路での走行
- 交通静穏化策が実施されているエリアでの走行
- その他、駐車場など、路面の高さの急激な変化や上昇が起こる環境での走行

車体寸法 - 600LT および 600LT Spider 以外，
6.9 ページを参照してください。

車体寸法 - 600LT および 600LT Spider, 6.10 ページを参照してください。

トラック走行

車両の性能と信頼性を最大限に発揮するためには、サーキットでの走行の前に、以下の前提条件を満たしていることが重要です。

- エンジンオイルが標準動作温度である
- 標準運転温度でのエンジンクーラント
- タイヤが安全な動作温度を超えていない

 **注意：サーキット走行を行う場合は、事前にマクラーレン代理店にご相談ください。マクラーレンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。**

 **注意：ご自分で完全にコントロールできる範囲内で、また車両性能の限度を超えない範囲で走行してください。**

はじめに

クールダウン

サーキット走行時は、ブレーキやトランスミッションが高温になりパフォーマンスに影響が出る可能性があるため、クールダウンする時間を取ることを推奨します。急ブレーキや必要以上のギアチェンジをせずに比較的低速で走行すると、空気の流れて車両を冷却できます。

サーキットを出る前に、車両を標準動作温度に下げる時間を取ることを推奨します。

i 注意：パフォーマンス走行の直後に停車する場合は、すぐにはイグニッションスイッチをオフにせずにパーキングブレーキをかけることを推奨します。エンジンをアイドリングさせてからイグニッションスイッチをオフにすることを推奨します。

i 注意：サーキットおよび競技での使用上の注意については、サービスおよび保証ガイドを参照してください。

保存データ

お客様の車両にはデータを収集し、一時的または永続的に保存する多くのコンポーネントがあります。この技術データには、車両の状態、発生したすべての事象、お客様の車両に発生している可能性がある、または過去に発生した誤動作などに関する情報があります。

これらには、例えば次のものがあります。

- システムコンポーネントの作動条件、フルードレベルなど
- 車両のステータスメッセージおよびその個々のコンポーネント、フロントウィンドウウォッシャーフルードの低下など
- 重要なシステムコンポーネントの誤動作および欠陥、ランプスイッチの不具合など
- 特殊な運転状況での車両反応および作動条件、エアバックの作動など
- 環境条件、外気温など

このデータは、もっぱら技術的な性質のものであり、次の目的に使用できます。

- 不具合や欠陥の認識および修正の支援
- 車両機能の分析、事故後など
- 車両機能の最適化

データは車両の動きを追跡するために使用することができません。

お客様の車両が点検を受ける際には、次の技術情報を車両から読み取ることができます。

- 修理サービス履歴
- 保証事象
- 品質保証

この情報は特殊な診断テスターを使用して、サービスネットワーク（メーカーを含む）の従業員によって読み取ることができます。必要に応じて、より詳細な情報を得ることができます。

不具合が修正された後、この情報は不具合メモリーから削除されるか、または連続的に上書きされます。

車両を運転する場合、他の情報に関連する技術データを他者が追跡する状況が発生する可能性があります。

はじめに

例えば、次のものがあります。

- 事故報告書
- 車両の損傷
- 目撃証言

マクラーレンは、衝突事故の際のお客様の行動に関する情報にはアクセスしません。あるいは、次の場合を除いて他者とその情報を共有しません。

- お客様の同意、またはリース車両の借主の同意を得た場合
- 警察また類似する官庁の正式な要求に応じる場合
- 法的手続に備えてメーカーの防衛の一環とする場合
- 法律の定めるところによる場合

さらに、マクラーレンは収集または取得した診断データを次の場合に使用することがあります。

- マクラーレンの研究ニーズに使用する場合
- 研究ニーズに使用できるよう適切な機密性を維持し、必要性が示されている場合
- 研究目的で他の組織と特定の車両に関連付けられていないサマリーデータを共有する場合

運転の前に

開閉	1.4	シート	1.32
一般	1.4	安全性	1.32
ドアを開ける	1.6	マニュアルシート - 600LT および 600LT Spider 以外	1.32
ドアをロックする	1.7	レーシングシート	1.33
ミスロック	1.8	LT 超軽量 CF シート	1.34
個人用設定	1.9	電動シート	1.35
車内からロック / ロック解除する - Coupe	1.9	ステアリングホイールとステアリングコラム	1.39
車内からロック/ロック解除する - GT	1.9	ステアリングホイールの手動調整	1.39
車内からロック/ロック解除する - Spider	1.10	ステアリングホイールの電動調整	1.39
車内からドアを開ける	1.10	ホーン	1.40
ドアを閉じる	1.11	乗員の安全	1.41
自動ロック	1.11	シートベルト	1.41
サービスカバー - Coupe および Spider -		補助拘束装置	1.43
600LT および 600LT Spider 以外	1.12	チャイルドパッセンジャー	1.47
サービスカバー - GT	1.13	ミラー	1.50
サービスカバー - 600LT および 600LT Spider	1.15	安全性	1.50
フロントラゲッジルーム	1.16	インテリアミラー	1.50
リアラゲッジルーム - GT	1.18	外部ミラー	1.50
リトラクタブルルーフ - Spider モデル	1.19	照明	1.52
バックライト - Spider モデル	1.22	外部照明	1.52
トノーカバー - Spider モデル	1.24	ランプスイッチ	1.54
荷物の収納	1.26	ハイビームヘッドランプ	1.55
荷物の収納 - Spider モデル	1.26	デイトタイムランニングランプ（日本を除く）	1.56
盗難防止システム	1.29	リアフォグランプ	1.56
アラームシステム	1.29	方向指示器	1.57
イモビライザー	1.29	ハザード警告灯	1.57
けん引防止	1.30	パーキングランプ	1.58
インテリアモーションセンサー	1.31		

ウォッシャーとワイパー 1.59

 フロントウィンドウワイパー 1.59

ノーズリフト..... 1.61

 ノーズリフトの操作 1.61

運転の前に 開閉

一般

キーレスエントリー機能を使用するリモコンキーの適当なボタンを押すことで、車両をロックおよびロック解除することができます。

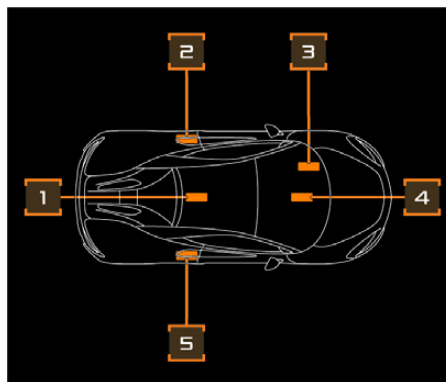
キーレスエントリー機能は、キーがセンサーから 1.2 m (3 フィート 11 インチ) の範囲内にいる必要があります。

便宜上、エンジンが停止していることを条件として、電気的な状態に関わらず車両をロックすることができます。車両の電気の状態, 2.2 ページを参照してください。

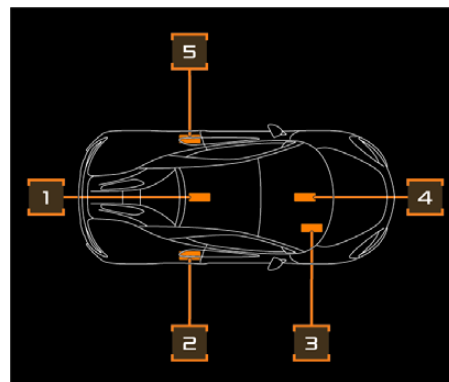
キーレスエントリー

キーレスエントリーを使用すると、リモコンキーがセンサーから 1.2 m (3 フィート 11 インチ) の範囲内にあれば、ドアを開けるだけで車両のロックを解除し、盗難防止アラームシステムを停止させることができます。ドライバーがリモコンキーを身に着ける、あるいはバッグなど非金属製のものに入れて携帯していれば、ほかに必要なものはありません。キーを外に出す必要も操作する必要もありません。

4つのセンサーによって、リモコンキーが車両の周囲のどこにあるかが検出されます。



右ハンドルモデル



左ハンドルモデル

1. 車内リアセンサー
2. 助手席ドアセンサー
3. 助手席フットウェルセンサー
4. 車内フロントセンサー
5. 運転席ドアセンサー

運転の前に 開閉

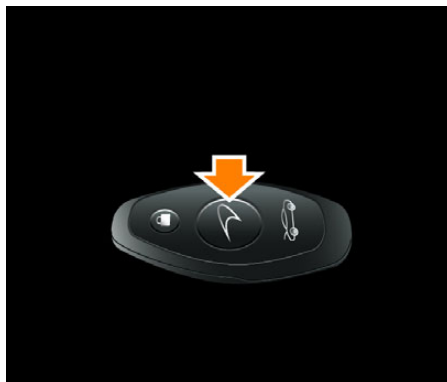
リモコンキーエントリー

お客様のマクラーレンには2つのリモコンキーが付属しています。これらのリモコンキーを使って、離れた場所から車両をロックおよびロック解除することができます。

i 注意：盗難防止のため、リモコンキーの操作は車両のすぐ近くで行ってください。

リモコンキーを使って、ロックおよびロック解除できるものは以下の通りです。

- ドア（給油口フラップを含みます）
- ラゲッジルーム
- センターコンソール収納ボックス
- グローブボックス



リモコンキーを使用して車両のロックを解除するには、ロック解除ボタンを押します。フロント、リアおよびサイドの方向指示器（市場により異なります）が2回点滅し、盗難防止アラームシステムが解除されます。

車両設定で「運転席」または「両方」が選択されているかどうかでロック解除ボタンの操作が変わります。詳しくは、ドアロック解除、3.23 ページを参照してください。

⚠ 警告：リモコンキーはエンジンを始動可能にする他、車両のその他の機能を有効にする場合も使用します。

車両から離れる際には必ずリモコンキーを携帯してください。

i 注意：リモコンキーは、高レベルの電磁放射にさらさないでください。キーの誤作動の原因となることがあります。例えば、ノートパソコン、タブレット、パーソナルメディアプレイヤー、携帯電話などの近くには置かないでください。

解除ボタン	結果
1 回押す	「両方」を選択した場合、「解除」ボタンを1回押すと両方のドアのロックが解除されます。 「運転席」を選択した場合、解除ボタンを1回押すと運転席ドアのロックが解除されます。ボタンをもう一回押すと（短時間の間を置いて）、助手席ドアのロックが解除されます。
2 回押す	「両方」を選択した場合、解除ボタンを2回押すと両方のドアのロックが解除され、運転席ドアを開けることができます。 「運転席」を選択した場合、ボタンを2回押すと運転席ドアのみロックが解除され、ドアを開けることができます。

運転の前に 開閉

リモコンキーの収納

セキュリティのために、車両の運転中はリモコンキーを身につけておくことをお勧めします。リモコンキーを車内に置きたい場合は、人目につく場所には決して収納しないでください。

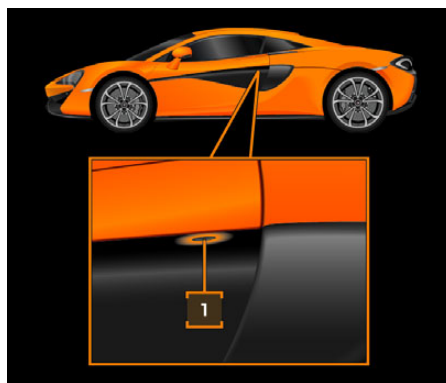
i 注意: インストルメントクラスターに「車内にキーがありません」というメッセージが表示された場合は、リモコンキーを検出される位置に移動させてください。

i 注意: リモコンキーをセンターコンソールの収納ボックス、カップホルダー、シート間の収納ネット内、ドア収納ボックス内、あるいはシート背面の棚の上に置かないでください。これらの場所に置くとシステムはキーを検出できず、エンジンを始動できません。

消耗した電池

電池が完全に放電してしまった場合でも、機械式キーを使用して車両を動かすことができます。ロック解除・放電したバッテリー, 5.26 ページを参照してください。

ドアを開ける



1. ボタン (1) をしっかりと押すと、ドアのロックが解除され、ドアのラッチが外れます。

i 注意: キーレスエントリー機能を利用する場合は、必ずキーがドアセンサーから 1.2 m (3 フィート 11 インチ) 以内にある状態で使用してください。

! 警告: ドアを開ける際には必ずドアの後方に立ってください。横に立つと開いたドアによって怪我を負うおそれがあります。ドアが開く速度は気温により左右されます。

i 注意: ドアはまず外側に開き、次に上方向に開くので、ドアを開ける前に横方向と上方向に十分なスペースがあることを確認してください。

車体寸法 - 600LT および 600LT Spider 以外, 6.9 ページを参照してください。

車体寸法 - 600LT および 600LT Spider, 6.10 ページを参照してください。

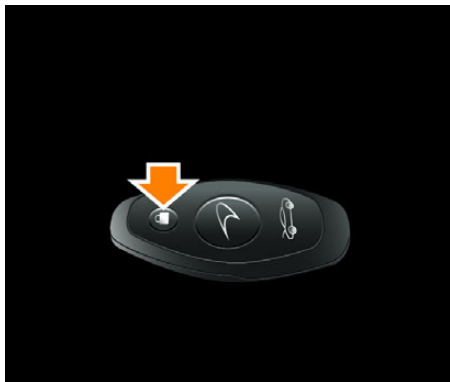
2. キーレスエントリーを使用したときはフロント、サイド、およびリアの方向指示器 (市場により異なります) が 2 回点滅し、盗難防止アラームシステムが解除されます。
3. ドアラッチが外れると、ドアが少し持ち上がり、外側上方に自動的に回転します。ミラーが折りたたまれていた場合は自動的に開きます。

i 注意: ドアを開けると、ウィンドウが少し下がります。ドアを閉じると、ウィンドウは完全に閉じた位置まで上がります。バッテリーの放電や氷点下の気温などによりウィンドウが下がらない場合は、ドアの開閉に注意してください。ドアを開閉する際に無理な力をかけないでください。無理な力を加えると、ドアシールやウィンドウを損傷するおそれがあります。

運転の前に 開閉

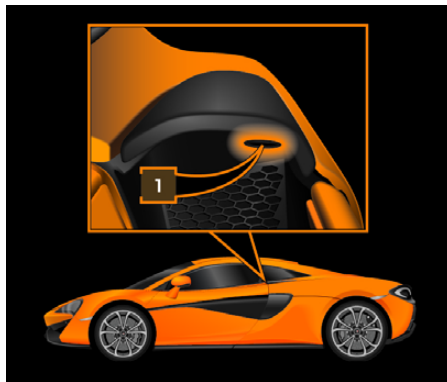
- i** 注意：「ロック解除」ボタンを押し続けると、ウィンドウを自動的に下降させることができます。ウィンドウは、ロック解除ボタンから指を離すか、ウィンドウが完全に下がるまで下降し続けます。
- i** 注意：リモコンキーを使用して車両をロック解除した後、ドアやラゲッジルームを開けなかった場合、車両は 30 秒後に再びロックされます。

ドアをロックする



1. ドアを閉じます。ドアを閉じる、1.11 ページを参照してください。

2. リモコンキーを使用して車両をロックするには、ロックボタンを押します。フロント、リア、およびサイドの方向指示器（市場により異なります）が、車両の周りをぐるりと回るように順に素早く点滅します。これで、盗難防止アラームシステムが作動しました。



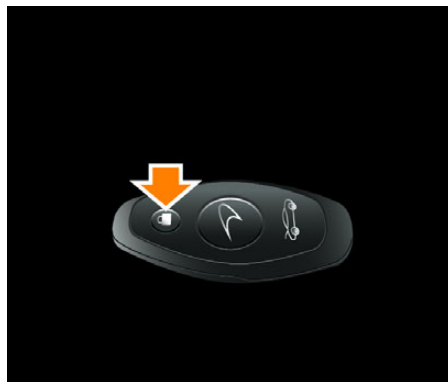
3. キーレスエントリー機能を利用する場合、サイドボッド上部の内側にあるタッチセンサースイッチ（1）を押します。
- i** 注意：キーレスエントリー機能を利用する場合は、必ずキーがドアセンサーから 1.2 m（3 フィート 11 インチ）以内にある状態で使用してください。

- i** 注意：ロックスイッチは 1 回押しを感知します。
 - i** 注意：ロックスイッチは、タッチで作動します。タッチ反応や操作音はありません。
 - i** 注意：ロックスイッチを押し続けると、ウィンドウが自動的に上昇します。ウィンドウは、ロックスイッチから指を離すか、ウィンドウが完全に上がるまで上昇し続けます。
4. 方向指示器が点滅して、盗難防止アラームシステムが有効になったことを示します。

運転の前に 開閉

i 注意：ドアを開けると、車両の他の部品との接触を避けるためにドアガラスが少し下がります。ドアを閉じると、ドアガラスが閉位置まで自動的に上昇します。何らかの理由でドアガラスが上昇しない場合、「挟み込み」が検出された可能性があります。ガラスの溝に挟まった異物やガラスの位置決めがずれたことが原因と考えられます。ガラスの溝に異物が挟まっていないか確認し、ロックボタンを押し続けます。ドアが確実に閉まっていて、上昇を妨げる障害物がなければ、ガラスは上昇します。ガラスが閉まらない場合やガラスが自動的に上昇しない現象が繰り返し発生する場合は、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

ミスロック



ドア、ラゲッジルームリッドまたはサービスカバーを開けたまま、もしくはリモコンキーを車内に置いたまま、リモコンキーを使用して車両をロックしようとする、「ミスロック」警告音が鳴ります。Spiderモデルでは、トノーカバーが完全に閉じていないか、ルーフが全開または全閉になっていない状態で車両をロックしようとする、「ミスロック」警告音が鳴ります。

i 注意：ドアが開いている場合、もしくはリモコンキーが車内にある場合は、ホーンが一瞬鳴ります。ラゲッジルームリッドまたはサービスカバーが開いている場合は、長い警告音が鳴ります。Spiderモデル

ルでは、トノーカバーが開いているか、ルーフが全開または全閉になっていないときにも長い警告音が鳴ります。

ドア、ラゲッジルームリッド、サービスカバー、トノーカバー（Spiderのみ）がすべて閉じていて、ルーフが全開または全閉状態になっている（Spiderのみ）ことを確認してから、車両をロックしてください。

i 注意：ラゲッジルームを開けたまま、車両をロック/盗難防止アラームシステムを有効にすることができます。長い発信音が鳴り、この状態を警告します。この音は、半ドア/キー閉じ込みミスロックの際に鳴る短い発信音とは異なります。ラゲッジルームは、ラゲッジルームリッドを閉じるとすぐに盗難防止アラームシステムが有効になります。この機能により、車両の他の部分はロックしたままラゲッジルーム内のチャージポイントにマクラーレンのバッテリーチャージャーを接続することができます。

運転の前に 開閉

個人用設定

同乗者を乗せずに運転することが多いお客様は、運転席ドアのみをロック解除するようにロックキングシステムを変更することができます。自動ドアロック、3.23 ページを参照してください。

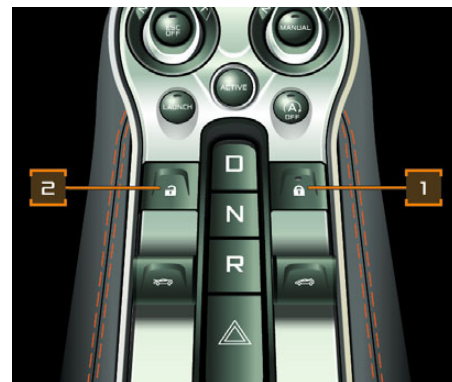
運転席ドアのみをロック解除する設定にしている場合、助手席ドアはドアの内側のハンドルを引いてリモコンキーのロック解除ボタンを再度押すか、センターコンソールのセントラルロックキングボタンを押さなければロック解除できません。

車内からロック / ロック解除する - Coupe



1. 車両をロックするには、「セントラルロックキング」ボタンを押します。ボタンのランプが点灯し、車両がロックされたことを示します。
2. 車両をロック解除するには、再度セントラルロックキングボタンを押します。すると、ボタンのランプが消えます。

車内からロック / ロック解除する - GT



1. 車両をロックするには、「セントラルロックキング」ロックボタンを押します。ボタンのランプが点灯し、車両がロックされたことを示します。
2. 車両をロック解除するには、「セントラルロックキング」ロック解除ボタンを押します。すると、ボタンのランプが消えます。

運転の前に 開閉

車内からロック/ロック解除する - Spider



1. 車両をロックするには、「セントラルロッキング」ボタンを押します。ボタンのランプが点灯し、車両がロックされたことを示します。
2. 車両をロック解除するには、再度セントラルロッキングボタンを押します。すると、ボタンのランプが消えます。

車内からドアを開ける

ドアはロックされているときでも随時車内から開けることができます。車両が停止しており、道路や交通の状況が安全なとき以外はドアを開けないでください。

- i** 注意：ドアはまず外側に開き、次に上方向に開くので、ドアを開ける前に横方向と上方向に十分なスペースがあることを確認してください。



1. ドアハンドルを矢印で示すように上方向に引き、ドアオープナーが作動するまでドアを外側に押します。すると、ドアは自動的に外側、次いで上方向にスイングします。

- i** 注意：ドアを開けると、ウィンドウが少し下がります。ドアを閉じると、ウィンドウは完全に閉じた位置まで上がります。ウィンドウが下がらない場合はドアを開閉する際に注意してください。ドアを開閉する際に無理な力をかけないでください。無理な力を加えると、ドアシールやウィンドウを損傷するおそれがあります。

運転の前に 開閉

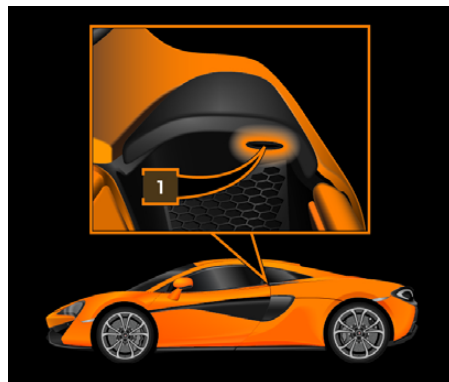
ドアを閉じる

1. ドアを下方方向に押し引きし、確実にラッチしたことを確認してください。

警告：ドアを閉じる際は、手や他の物体がドアエッジにかからないようにしてください。特に、ソフトクローズラッチ装着車の場合は、1つ目のラッチがかかった時点でドアが自動的に全閉状態までロックされるため、注意が必要です。挟み込み防止機能は搭載されていないため、ドアとドア開口部の間に物体や身体の一部があってもドアの全閉動作は中止されません。重傷や車両の損傷が発生する可能性があります。

ウィンドウが閉じない場合は、挟み込み防止機能が作動していることが考えられます。以下の方法のうち1つを試してください。

- ドアを開けて再度閉じる
- ボディサイドのロックスイッチを使って車両をロックする



挟み込み防止機能が解除されない場合は、ロックスイッチ（1）を数秒間押し続けます。ロックスイッチから指を離すまでウィンドウが上昇を続けます。この方法は、上記の方法では問題を解決できない場合にのみ試してください。

注意：ドアを無理に閉じないでください。ドアシールまたはウィンドウを損傷するおそれがあります。

自動ロック

ドアおよびラゲッジルームは車両が走行を開始すると自動的にロックされます。

注意：事故発生時に衝撃力が既定のレベルを超えると、ドアのロックは自動的に解除されます。

オートマチックロック機能はインストルメントクラスターの車両設定セクションで選択できます。詳しくは、自動ドアロック、3.23 ページを参照してください。オートマチックロックがオンの場合、車両が発進してロックされると、インテリアセントラルロッキングボタンが点灯します。

運転の前に 開閉

サービスカバー - Coupe および Spider - 600LT および 600LT Spider 以外

開ける

 警告:エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って開けてください。

 警告:サービスカバーが開いていると、エンジンが停止していても怪我を負う危険性があります。

エンジンコンポーネントは非常に高温になり、重度の火傷を引き起こすおそれがあります。

エンジンイグニッションシステムには高压電流が流れます。イグニッションシステムコンポーネント、イグニッションコイル（スパークプラグコネクター）には決して手を触れないでください。

 警告:エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動することがあります。

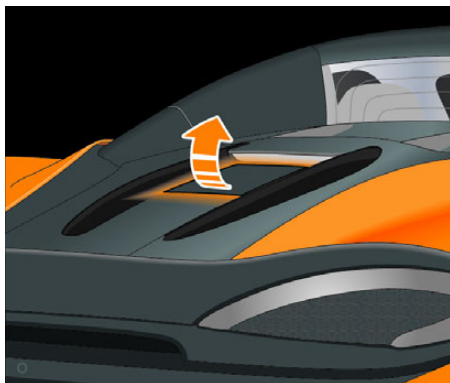


1. 運転席ドア後端のリリースボタンを押すとサービスカバーが少し開きます。



Coupe

運転の前に 開閉



Spider

2. 車両の横に立って、サービスカバーを持ち上げます。ヒンジが持ち上げられた位置でカバーを支持します。

エンジンオイルの補充, 5.3 ページを参照してください。

クーラントの補充, 5.6 ページを参照してください。

閉じる

警告: エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って閉じてください。

車両の横に立ち、サービスカバーを真っ直ぐに押し下げ、カバーが確実にラッチしたことを確認してください。

サービスカバー - GT

開ける

警告: エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って開けてください。

警告: サービスカバーが開いていると、エンジンが停止していても怪我を負う危険性があります。

エンジンコンポーネントは非常に高温になり、重度の火傷を引き起こすおそれがあります。

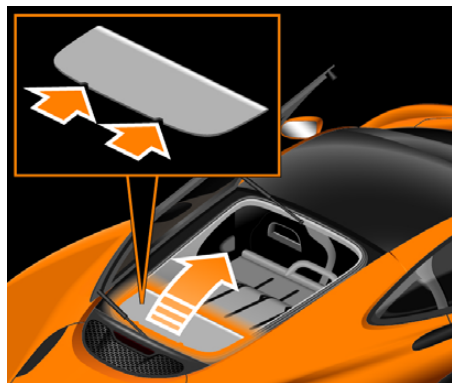
エンジンイグニッションシステムには高圧電流が流れます。イグニッションシステムコンポーネント、イグニッションコイル（スパークプラグコネクター）には決して手を触れないでください。

警告: エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動することがあります。

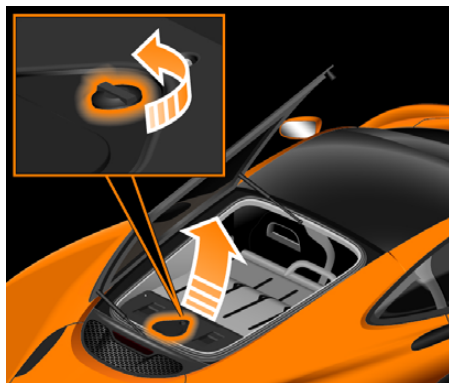
1. リアラゲッジコンパートメントを開きます。

リアラゲッジルーム - GT, 1.18 ページを参照してください。

運転の前に 開閉



2. リアエッジのインデントを使用して、ラゲッジルームフロアを 2 個のプレススタッドから外して、充填ポイントでない場所のラゲッジルーム内に置きます。



3. リリースキャッチを反時計回りに 1/4 回転回して、サービスカバーを前部から持ち上げながら取り外します。
エンジンオイルの補充 , 5.3 ページを参照してください。
クーラントの補充 , 5.6 ページを参照してください。

閉じる

 **警告: エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って閉じてください。**

1. サービスカバーを元に戻し、最初にリアエッジを取り付け、それからキャッチを時計回りに 1/4 回転回して固定します。
2. トランクルームフロアを元に戻し、プレススタッドで固定します。

運転の前に 開閉

サービスカバー - 600LT および 600LT Spider

開ける

 **警告:** エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って開けてください。

 **警告:** サービスカバーが開いていると、エンジンが停止していても怪我を負う危険性があります。

エンジンコンポーネントは非常に高温になり、重度の火傷を引き起こすおそれがあります。

エンジンイグニッションシステムには高圧電流が流れます。イグニッションシステムコンポーネント、イグニッションコイル（スパークプラグコネクター）には決して手を触れないでください。

 **警告:** エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動することがあります。



1. サービスカバー取り外しツールをツールキットから取り出します。ラゲッジルーム装備 - 600LT および 600LT Spider, 5.11 ページを参照してください。
2. 車両の横に立ち、サービスカバー取り外しツールを使用して2つの固定ねじ (1) を反時計回りに 1/4 回転して、カバーを外します。
3. リアからサービスカバーを持ち上げて外します。

エンジンオイルの補充, 5.3 ページを参照してください。

クーラントの補充, 5.6 ページを参照してください。

閉じる

 **警告:** エキゾーストテールパイプは非常に高温になるため、重度の火傷を負うおそれがあります。サービスカバーは必ず車両の横に立って閉じてください。

1. 車両の横に立ち、サービスカバーを元に戻し、最初にフロントエッジを取り付けます。
2. サービスカバーを真下に下ろし、カバー両側が確実にラッチしたことを確認してください。

サービスカバーを閉めた後は、しっかりと固定されているか確認してください。

運転の前に 開閉

フロントラゲッジルーム

i 注意：ラゲッジルームは、車両が停止して
いて、かつニュートラルが選択されてい
ない限り開きません。

発車したときにラゲッジルームが開いて
いる場合、メッセージがインストルメン
トクラスターに表示されます。

i 注意：ラゲッジルームのラッチが外れてい
たり開いていたりする場合は、ギアを選
択できません。車両を移動する必要がある
場合は、D または R を 5 秒間押し続け
て、これをオーバーライドし、ギアを選択
します。

! 警告：ラゲッジルームが開いていたりラッ
チが外れている場合は、運転者の視界が
制限されるため、車両は低速で移動する
必要があります。

開ける



1. リモコンキーのラゲッジリリースボタンを
押します。ラゲッジルームのロックが完全
に解除され、少し開きます。



Coupe

2. または、センターコンソールボタンを押
してラゲッジルームのロックを完全に解
除して少し開けます。

運転の前に 開閉



GT

3. ラゲッジルームリッドの前面を持ち上げると、ガスストラットにより完全に開いた位置で支持されます。



Spider

閉じる

警告：ラゲッジルームを閉じる際は、手などを挟まないように注意してください。

1. ラゲッジルームリッドをしっかりと下ろし、確実にラッチしたことを確認してください。
- i** 注意：ラゲッジルームにリモコンキーを置き忘れないでください。置き忘れた場合、車両がロックされて車外に締め出されてしまうおそれがあります。
- i** 注意：事前に車両をロックしていた場合、リッドを閉じるとロックはそのまま方向指示器が点滅します。
2. ラゲッジルームは、ラゲッジルームリッドを閉じるとすぐに盗難防止アラームシステムが有効になります。
- i** 注意：ラゲッジルームを開けたまま、車両をロック/盗難防止アラームシステムを有効にすることができます。この機能により、車両の他の部分はロックしたままバッテリーを充電することができます。長い発信音が鳴り、この状態を警告します。

運転の前に 開閉

リアラゲッジルーム - GT

 警告: リアラゲッジエリアには、最大荷物積載量を超えて荷物を積まないでください（車両重量, 6.11 ページを参照）。

 警告: 固定していない物品を車内に置かないでください。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

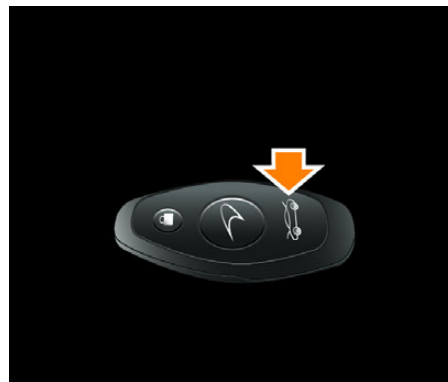
 注意: ラゲッジルームは、車両が停止していて、かつニュートラルが選択されていない限り開きません。

発車したときにラゲッジルームが開いている場合、メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

 注意: ラゲッジルームのラッチが外れていたり開いていたりする場合は、ギアを選択できません。車両を移動する必要がある場合は、D または R を 5 秒間押し続けて、これをオーバーライドし、ギアを選択します。

 警告: ラゲッジルームが開いていたりラッチが外れている場合は、運転者の視界が制限されるため、車両は低速で移動する必要があります。

開ける



1. リモコンキーのラゲッジリリースボタンを押しします。ラゲッジルームのロックが完全に解除され、少し開きます。



2. または、センターコンソールボタンを押してラゲッジルームのロックを完全に解除して少し開けます。

運転の前に 開閉



3. ラゲッジルームリッドの助手席側を持ち上げると、ガスストラットにより完全に開いた位置で支持されます。

閉じる



警告：ラゲッジルームを閉じる際は、手などを挟まないように注意してください。



1. ラゲッジルームリッドをしっかりと下ろし、確実にラッチしたことを確認してください。



注意：ラゲッジルームにリモコンキーを置き忘れないでください。置き忘れた場合、車両がロックされて車外に締め出されてしまうおそれがあります。



注意：事前に車両をロックしていた場合、リッドを閉じるとロックはそのままで方向指示器が点滅します。

2. ラゲッジルームは、ラゲッジルームリッドを閉じるとすぐに盗難防止アラームシステムが有効になります。

リトラクタブルルーフ - Spider モデル

リトラクタブルルーフは2つの軽量パネルで構成されており、作動させるとコックピットの背後にあるトノーパネルの下にすばやく折りたたまれます。

ルーフはセンターコンソールのスイッチで操作することができます。

ルーフを操作できるのは最大車速が 25 mph (40 kph) までです。



警告：可動部品とルーフの間に物を置かないでください。操作中は、乗員または周囲の人がルーフの近くにいないことを確認してください。ルーフの操作により、人身事故やコンポーネントの損傷を引き起こす恐れがあります。



警告：収納バッグが取り付けられ、トノーエリアで使用中の場合は、ルーフを操作しないでください。ルーフシステムやバックライトのガラスが損傷する恐れがあります。



警告：操作メカニズムと車内のインテリアへの損傷を防ぐため、ルーフの操作前には丁寧に表面の水分、氷、雪を除去してください。

運転の前に 開閉

ルーフは、収納バッグが使用中でなく、収納マウントにしっかりと収納されている場合にのみ操作してください。



i 注意: バックライトのインテリアトリムパネルに座ったり、立ったり、物を置いたりしないでください。

ルーフに問題がある場合は、すぐに McLaren 代理店に連絡してください。

i 注意: ルーフが開いた状態で停車すると、安全のため、車両がスリープ状態になる前にルーフを閉じることができます。

ルーフの動作温度

最低動作気温	-10°C (14°F)
--------	--------------

i 注意: 最低動作気温以下ではルーフは操作できません。

ルーフを開ける

1. 車両は、キーが挿入されて、アウェイク状態である必要があります。

i 注意: エンジンのクランキング中はルーフの動作が停止します。



2. スイッチを長押ししてルーフを操作します。スイッチから手を離すと、再度スイッチを押すまでルーフは停止状態になります。

i 注意: ルーフが閉まっているときにトノーカバーを操作すると、「トノーが空であることを確認してください」というメッセージが左側のインストルメントクラスターに表示されます。

運転の前に 開閉

3. トノーエリアが空で、収納バッグが正しく収納されていることを確認してください。確認できたら、メニューレバーで「OK」を押します。



4. ルーフが完全に開く（収納される）までスイッチを長押しします。

i 注意：ルーフが動き出すと、トノーカバーが開き、バックライトのガラスがわずかに下がります。「ルーフ動作中」というメッセージがインストルメントクラスターの左側に表示されます。

5. ルーフが完全に開いたら（収納されたら）、トノーカバーが閉じてバックライトのガラスがエアロポジションに戻り、コックピット内のバフエティंगを軽減します。「ルーフ開」というメッセージが

インストルメントクラスターの左側に表示されます。ルーフサイクルが完了したことを確認する音が聞こえます。

6. 操作完了後もスイッチを押したままにすると、ウィンドウとバックライトが完全に開きます。
7. ルーフの動作中に車速が 25 mph (40 km/h) を超えると、ルーフの動作が一時停止します。「減速してください。ルーフ動作のボタンを離して再度押してください」というメッセージがインストルメントクラスターの左側に表示されます。
8. 車速を 25 mph (40 kph) 以下まで下げ、スイッチを離します。「ルーフサイクルを続けてください」というメッセージがインストルメントクラスターの左側に表示されます。再度スイッチを押して希望するルーフサイクルを続けます。

i 注意：ルーフが全開または全閉していない場合は、7分以内にルーフが一番近い停止位置まで下がります。この場合は、ルーフが確実にロックされないため、車両を運転する前にルーフを全開/全閉して確実にロックする必要があります。

ルーフを閉じる

1. 車両は、キーが挿入されて、アウェイク状態である必要があります。

i 注意：エンジンのクランキング中はルーフの動作が停止します。



2. ルーフが完全な上昇（閉）位置に達するまでスイッチを長押しします。
3. スイッチから手を離すと、再度スイッチを押すまでルーフは停止状態になります。
4. ルーフの動作中に車速が 25 mph (40 km/h) を超えると、ルーフの動作が一時停止します。「減速してください。ルーフ動作のボタンを離して再度押してください」というメッセージがインストルメントクラスターの左側に表示されます。

運転の前に 開閉

5. 車速を 25 mph (40 kph) 以下まで下げ、スイッチを離します。「ルーフサイクルを続けてください」というメッセージがインストルメントクラスターの左側に表示されます。
6. ルーフとトノーが完全に閉じてロックするまでスイッチを引きます。ウィンドウおよびバックライトが全閉位置まで上昇します。ルーフサイクルが完了したことを確認する音が聞こえます。
7. ルーフサイクルが完了した後もスイッチを押し続けると、ウィンドウとバックライトガラスが下がります。



注意: ルーフが全開または全閉していない場合は、7分以内にルーフが一番近い停止位置まで下がります。この場合は、ルーフが確実にロックされないため、車両を運転する前にルーフを全開/全閉して確実にロックする必要があります。

バックライト - Spider モデル



警告: トノーエリアを荷物の収納に使用する場合は、必ず車両に付属する収納バッグを使用してください。使用しない場合、バックライトの動作によりバックライトガラスが損傷するおそれがあります。

コックピット内のエアフローを増加させるには、ルーフを開けた状態でバックライトを下げます。バックライトをエアロポジションまで上げ、コックピットのバフェティングを軽減します。



注意: バックライトを操作するには、車両がアウェイク状態で、キーが挿入されている必要があります。

バックライトスイッチはセンターコンソール上にあります。



注意: バックライトに問題がある場合は、すぐにマクラーレン代理店に連絡してください。

開ける

1. 車両は、キーが挿入され、アウェイク状態である必要があります。



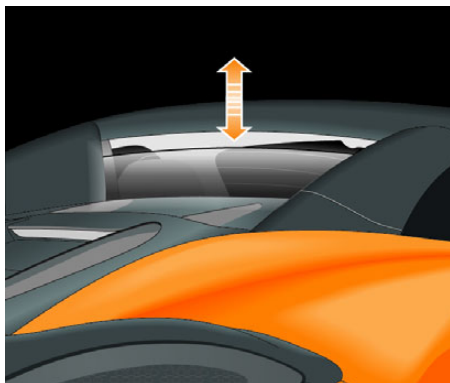
2. スwitchを長押ししてバックライトを下げます。スイッチから手を離すと、再度スイッチを押すまでバックライトは停止状態になります。



注意: ルーフが閉まっているときにトノーカバーを操作すると、「トノーが空であることを確認してください」というメッセージが左側のインストルメントクラスターに表示されます。

3. トノーエリアが空で、収納バッグが正しく収納されていることを確認してください。確認できたら、メニューレバーで「OK」を押します。

運転の前に 開閉



4. バックライトスイッチを長押しして、バックライトを希望する位置まで下げます。

i 注意 : 雨や雪が降っている場合は、バックライトを全開にしないでください。水分がキャビンエリアに浸入し、電気コンポーネントに影響を与えるおそれがあります。

閉じる

1. 車両は、キーが挿入され、アウェイク状態である必要があります。



2. 希望の位置に達するまで、バックライトスイッチを長押ししてバックライトを上昇させます。

i 注意: バックライトが開いた状態で停車すると、安全のため、車両がスリープ状態になる前にバックライトを閉じることができます。

運転の前に 開閉

トノーカバー - Spider モデル

トノーカバーとはコックピット背後にあるパネルのことです。トノーカバーは開閉でき、以下のエリアへアクセスすることができます。

リトラクタブルルーフは、ルーフが下がると、トノーカバーの下のエリアに収納されます。その後、トノーカバーが閉まります。

開ける

1. 車両は、キーが挿入されて、アウェイク状態である必要があります。

 **警告:** トノーの稼動部品の間に物を置かないでください。操作中は、乗員または周囲の人がトノーの近くにいないことを確認してください。トノーの操作により、人身事故やコンポーネントの損傷を引き起こすおそれがあります。

-  **注意:** トノーエリアで荷物の積み下ろしを行っている間は、トノーの操作は行わないでください。トノーが開いている間は、車両は最大 15 分間アウェイク状態を保持します。

-  **注意:** トノー収納エリアへのアクセスは、運転席ドアのスイッチパネルにある開/閉ボタンでのみ行えます。

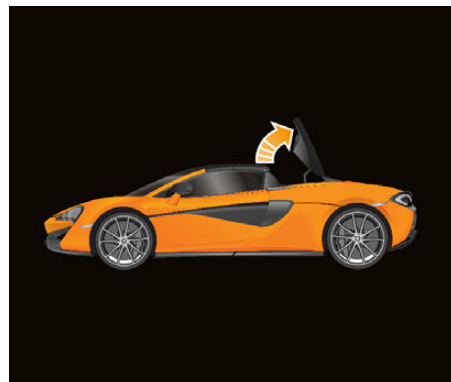
-  **注意:** トノーコントロールを作動させるには、キーが運転席ドア検知範囲内にある必要があります。



2. トノーカバーが完全に開くまで、運転席ドア後端のボタンを長押しします。

-  **注意:** ルーフが開いていると、トノーカバーを開けることはできません。

3. トノーエリアが空で、収納バッグが正しく収納されていることを確認してください。確認できたら、メニューレバーで「OK」を押します。



4. トノーカバーが開いた状態で車両を運転すると、「トノーカバーが開いています」というメッセージが左側ディスプレイに表示され、警告音が鳴ります。

-  **注意:** トノーエリアに小物を収納する場合は、McLaren に付属の収納バックに入れてください。荷物の収納 - Spider モデル, 1.26 ページを参照してください。

運転の前に 開閉

閉じる

警告: トノーカバーを閉じる際は、手などを挟まないように注意してください。



1. トノーカバーが完全に閉じるまで、運転席ドア後端のボタンを長押しします。

i 注意: トノーカバーが開いている状態でイグニッションをオフにした場合、15分以内なら閉じることができます。この時間を過ぎた場合は、イグニッションを再度オンにしてトノーカバーを閉じてください。

i 注意: 「トノー動作中」というメッセージが左側ディスプレイに表示されます。

i 注意: 車両をロックすると、トノーエリアのアラームが有効になります。

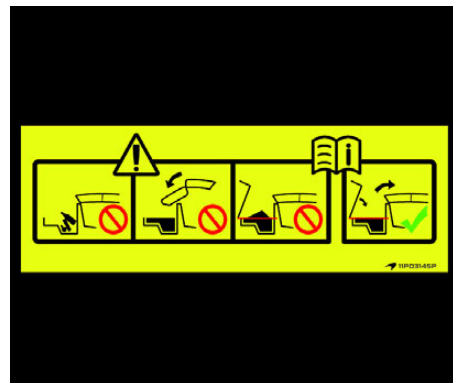
i 注意: 収納バッグに物を入れ過ぎないようにしてください。入れ過ぎると、トノーカバーが故障するおそれがあります。その場合は McLaren 代理店に直ぐに連絡してください。

運転の前に 荷物の収納

荷物の収納 - Spider モデル

ルーフが上がっているときは、トノーカバーの下に小型のアイテムを収納することができます。McLaren にはこの用途のために収納用バッグが2枚付属しています。

警告：トノーエリアに固定されていない物を入れないでください。それによって、ルーフシステムやバックライトガラスを損傷させる恐れがあります。



収納バッグには、トノーエリアまたは車両の外で荷物を入れることができます。

i 注意：収納バッグは必ず付属のものを使用してください。その他の種類の荷物用バッグは使用してはなりません。このことは、トノーカバーの内側にある警告ラベルに記載されています。

i 注意：バルクヘッドエリアの赤線で指定された推奨レベルを超えた量の荷物を、決してバッグに入れないようにしてください。これは、バルクヘッドの警告ラベルに記載されています。

i 注意：収納バッグに物を入れ過ぎないようにしてください。各収納バッグと中身の重量は 15 kg (33 lbs) を超えないようにしてください。

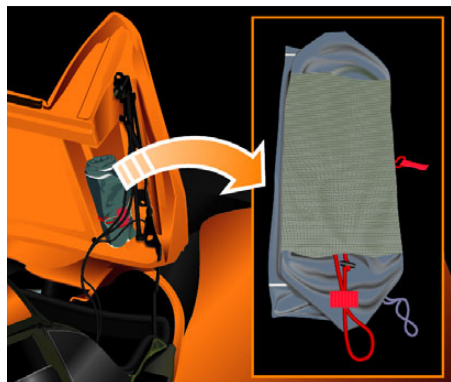
i 注意：収納バッグには次のものを入れないでください。

- 危険物質/液体や揮発性物質/液体
- 重いまたは鋭利な物体
- 熱に影響を受ける食物または液体
- 割れ物や壊れやすい物品

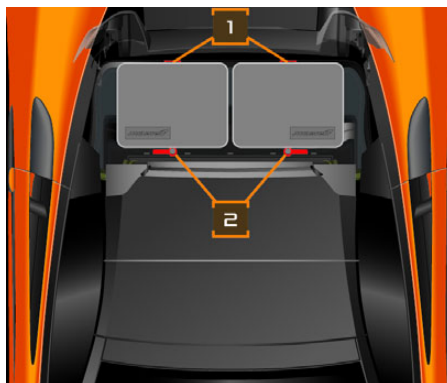
運転の前に 荷物の収納

収納用バッグの設置

1. トノーカバーを開けます。トノーカバー - Spider モデル, 1.24 ページ



2. 収納バッグをトノーカバーのマウントから外します。
3. トグルを外し、収納バッグを広げます。
4. 収納バッグの中にアイテムを入れてトノーエリアに入れるか、または荷物を入れずにそのままバッグをトノーエリアに入れます。



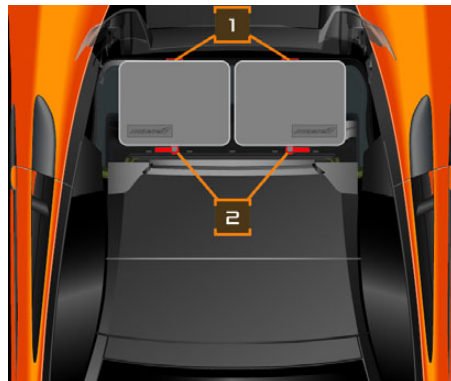
5. McLaren のロゴが、リアバルクヘッドと車両の外側を向いていることを確認してください。
6. キャリーハンドル (1) を固定エリアに取り付けます。
7. 2 つめのループ (2) を 2 個目の固定ポイントに取り付けます。

i 注意: 使用中は、収納バッグのジッパーを完全に閉めてください。こうしておくと、アイテムがバッグから出て、ルーフシステムやバックライトガラスを損傷させるのを防ぐことができます。

i 注意: 使用している収納バックがしっかりと固定され、すべての固定ポイントに取り付けられていることを確認してください。

運転の前に 荷物の収納

収納バッグの取外しと保管

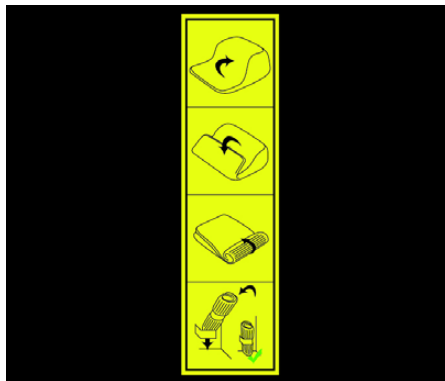


1. キャリーハンドル (1) を固定エリアから取り外します。
2. 固定ループ (2) を 2 番目の固定ポイントから外します。
3. 収納バッグをトノーエリアから取り外し、中身を取り出します。
4. 空の収納バッグを McLaren のロゴが下を向くようにして平らな表面におきます。
5. 収納バッグの薄い部分をたたんでから厚い部分をたたみ、収納バッグを裏返します。

6. McLaren のロゴが上を向くようにして、収納バッグをきつく丸め、バッグの回りと固定ポイントの下にトグルを巻き付けて固定します。

- i** 注意：この手順の詳細は、トノーカバーの内側表面に貼り付けられたラベルに記載されています。

- i** 注意：使用しないときは、収納バッグが収納マウントに入っていることを確認してください。



8. 2 つ目の収納バッグでも同じ手順を繰り返してください。

運転の前に 盗難防止システム

アラームシステム

アラームシステムが有効になっているときに以下のいずれかが開けられると、警告が表示され警告音が鳴ります。

- ドア
- サービスカバー
- ラゲッジルームリッド
- トノーカバー（Spiderのみ）

i 注意：開けられた開口部を閉じていてもアラームは停止しません。アラームを止めるには車両のロックを解除します。

アラームシステムはまた、以下の機能を備えています。

- けん引防止
- インテリアモーションセンサー
- センターコンソール収納ボックス

i 注意：インテリアモーションセンサーまたは自動アラームを有効にするには、センターコンソールの収納ボックスを閉じておく必要があります。

アラームシステムを有効にする

1. 車両をロックします（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。約5秒後に盗難防止アラームシステムが有効になります。



2. 車両をロックすると、セントラルロックングボタンのランプが約60秒間点灯します

アラームシステムを解除する

1. 車両のロックを解除します（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。アラームが解除され、セントラルロックングボタンのランプが点滅を停止します。

イモビライザー

イモビライザーはお客様のマクラーレンが不正に始動されるのを防ぎます。

車両が車内にリモコンキーがないことを感知すると、イモビライザーが自動的に起動します。

車内にリモコンキーがあることが感知されると、イモビライザーは解除されます。

i 注意：イモビライザーは、エンジンが停止中の場合のみ作動します。

運転の前に 盗難防止システム

けん引防止

けん引防止は、吊り上げけん引やトレーラー積載による車両の盗難を防止するように設計されています。

どのような方法でも、車両が持ち上げられたり傾けられたりするとアラームが作動します。

けん引防止は車両がロックされてから約 30 秒後に起動し、車両のロックが解除されると停止します。

けん引防止を無効にする

車両を輸送する場合、たとえばフェリーや車両積載車に載せる際や、可動面に駐車する場合、たとえば立体駐車場に駐車する際には手動でけん引防止を無効にしてください。



1. けん引防止を無効にするには、イグニッションスイッチをオフにして運転席ドアを開け、運転席ドア後端のボタンを押します。スイッチのランプが点滅し、けん引防止が無効になったことを示します。

i 注意: イグニッションスイッチがオンのままでは、けん引防止を無効にすることはできません。

2. 運転席ドアを閉め、車両をロックしてください（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。けん引防止は車両のロックを解除するまで無効になります。

運転の前に 盗難防止システム

インテリアモーションセンサー

車両がロックされているときに、例えば何者かがウィンドウを破ったり開いた窓から車内に侵入するなどして車内で動作が感知されるとアラームが作動します。

インテリアモーションセンサーは車両がロックされてから約 30 秒後に起動し、車両のロックが解除されると停止します。

i 注意：アラームの誤作動を防止するため、車両を離れる際にはウィンドウを閉じ、またインテリアミラーに物などをぶら下げないでください。

インテリアモーションセンサーを無効にする
ロックした車内に人や動物を残す場合は、インテリアモーションセンサーを無効にしてください。



1. インテリアモーションセンサーを無効にするには、イグニッションスイッチをオフにして運転席ドアを開け、運転席ドア後端のボタンを押します。スイッチのランプが点灯し、インテリアモーションセンサーが無効になったことを示します。

i 注意：イグニッションスイッチをオンにしたままでは、インテリアモーションセンサーを無効にすることはできません。

2. 運転席ドアを閉め、車両をロックしてください（キーレスシステムまたはリモコンキーを使用）。インテリアモーションセンサーは車両のロックが解除されるまで無効になります。

運転の前に シート

安全性

⚠ 警告: 運転席シートの調整は車両を停止して行ってください。シートの移動により道路や交通状況への注意がおろそかになったり、ハンドル操作を誤ったりするおそれがあります。結果として、事故につながるおそれがあります。

⚠ 警告: シートはリモコンキーが車内にないときでも移動できます。お子様だけを車内に残さないでください。偶然シートが動いた場合にお子様が怪我を負うおそれがあります。

⚠ 警告: シートの動作によって手などを挟まれないように注意してください。

万一の事故の際に負傷する危険性を低減するため、以下の事項をお守りください。

- 乗員全員がシートベルトを正しく装着できるように、また同時にフロントエアバッグからできる限り遠い位置となるようにシートの位置を設定してください。運転席シートの位置は、ドライバーが車両を安全に運転できる位置でなければなりません。運転席シートからペダルまでの距離は、ドライバーがペダルを完全に踏み込むことができる距離でなければなりません。ドライバーの胸からエアバッグカバーの中心までの距離は 25 cm (10 インチ) 以上でなければなりません。ステアリングホイールを握ったときに、ドライバーの肘が軽く曲がるようにする必要があります。

- 乗員は常にシートベルトを正しく装着してなければなりません。

- 助手席シートは、無理な姿勢とならない範囲内でできる限り後方に設定してください。

⚠ 警告: マクラーレンオートモーティブはこの車両にチャイルドシートを装着することはお奨めしませんが、もし使用する場合は以下のガイドラインに従ってください。

- 身長 150 cm (4 フィート 11 インチ) 未満、または 12 歳未満のお子様は、適切なチャイルドシートで保護しなければなりません。
- 助手席シートにチャイルドシートを装着する場合は、シートを最後端の位置に設定してください。

マニュアルシート - 600LT および 600LT Spider 以外

マニュアルシートの前後位置調整



レバーを引き上げて好みの位置までシートを移動し、レバーを離してシートをロックします。

⚠ 警告: 運転する前に、必ずシートが確実にロックされていることを確認してください。

i 注意: フットウェル、シートの背後、下あるいは横に物や荷物などがいないことを確認してください。物が置かれているとシートを損傷するおそれがあります。

運転の前に シート

マニュアルシートの背もたれリクライニング調整

⚠ 警告: 怪我を負う危険性を最小限にするため、背もたれはできる限り垂直に近い角度に設定してください。

i 注意: シートの背もたれは、リアバルクヘッドに触れるまで後ろに倒すことはしないでください。時間の経過とともに損傷の原因となることがあります。



レバーを引き上げてシートの背もたれを必要な位置までリクライニングし、レバーを離します。

マニュアルシートの高さ調整



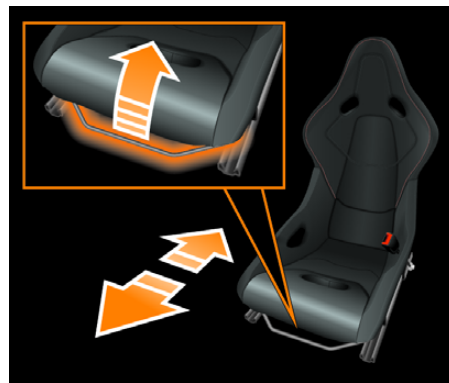
シートが好みの高さになるまでスイッチを上または下に押します。

i 注意: 高さ調整は運転席シートでのみ行うことができます。

レーシングシート

i 注意: レーシングシートは600LTおよび600LT Spiderの標準装備です。600LTおよび600LT Spiderの助手席は標準で固定式のシートとなっています。ただし、オプションでスライド可能なシートに変更可能です。

シートの前後位置調整



i 注意: シート位置は前後調整のみが可能です。

シートを調整するにはレバーを上げ、シートを好みの位置にスライドさせて、すべてのペダルに楽に足が届き、いっぱいまで踏むことができるようにしてください。

運転の前に シート

警告：運転する前に、必ずシートが確実にロックされていることを確認してください。

注意：フットウェルまたはシートのそばに物や荷物がないことを確認してください。物が置かれていたらシートが損傷したり、調整を完全に行えないことがあります。

シートの高さ / 傾き調整

シートの高さ / 傾き調整については、お近くのマクラレン代理店までお問い合わせください。

警告：シートの高さの調整は、必ずマクラレン代理店に依頼してください。

LT 超軽量 CF シート

シートの前後位置調整



注意：シート位置は前後調整のみが可能です。

シートを調整するにはレバーを上げ、シートを好みの位置にスライドさせて、すべてのペダルに楽に足が届き、いっぱいまで踏むことができるようにしてください。

警告：運転する前に、必ずシートが確実にロックされていることを確認してください。

注意：フットウェルまたはシートのそばに物や荷物がないことを確認してください。物が置かれていたらシートが損傷したり、調整を完全に行えないことがあります。

シートの高さ/傾き調整

シートの高さ/傾き調整については、お近くのマクラレン代理店までお問い合わせください。

警告：シートの高さの調整は、必ずマクラレン代理店に依頼してください。

運転の前に シート

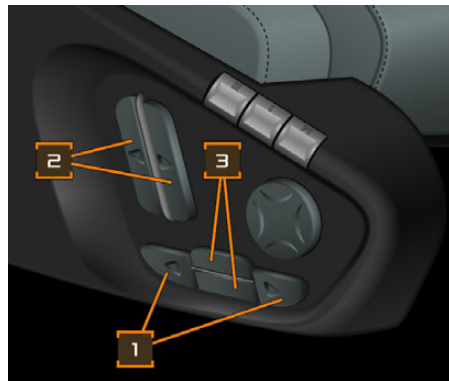
電動シート

電動シート調整

シート調整スイッチはシートベースの側面にあり、車両がアウェイク状態にある場合は使用可能です。車両の電气的状態, 2.2 ページを参照してください。

- i** 注意 : フットウェルまたはシートの背後、下あるいは横に物や荷物などがいないことを確認してください。物が置かれているとシートを損傷するおそれがあります。

前後位置調整



シートが目的の位置になるまでスイッチ (1) を押します。

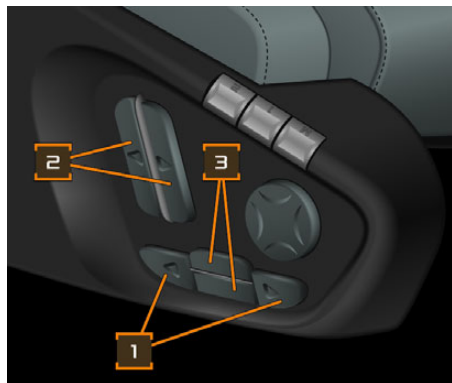
電動シートの背もたれリクライニング調整

- !** 警告 : 怪我を負う危険性を最小限にするため、背もたれはできる限り垂直に近い角度に設定してください。

- i** 注意 : 背もたれをリクライニングした場合、シートベースはリアバルクヘッドとの相対位置に応じて自動的に前方に移動します。シートベースを後方に移動した場合、背もたれをいっぱいまでリクライニングすると背もたれが自動的に上がり、リアバルクヘッドとの接触を防止します。

- i** 注意 : シートの背もたれは、リアバルクヘッドに触れるまで後ろに倒すことはしないでください。時間の経過とともに損傷の原因となることがあります。

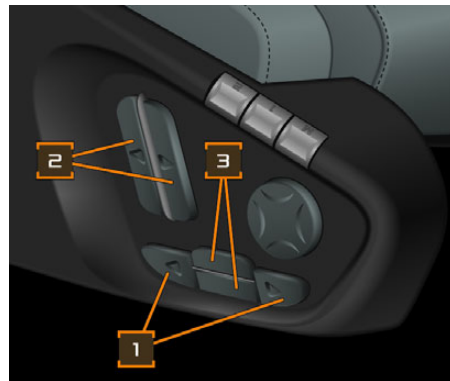
運転の前に シート



背もたれが目的の位置になるまでスイッチ (2) を押します。

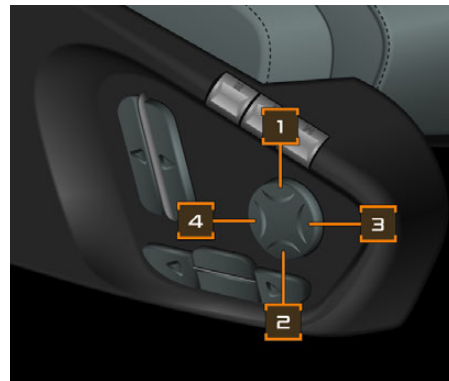
⚠ 警告: 助手席シートの下に物などがいないことを確認してください。物が置かれていると乗員分類システムが正常に機能しないおそれがあります。

電動シートの高さ調整



シートが目的の高さになるまでスイッチ (3) を押します。

電動シートのランバーサポート調整



ランバーサポートの位置は、(1) を押すと上がり、(2) を押すと下がります。

(3) を押してランバーサポートを膨張させるか、(4) を押して収縮させます。

運転の前に シート

メモリー位置の保存

個別のシート、ドアミラー、およびステアリングホイールの位置は、ドライバー 2 人分まで保存することができます。

i 注意: ドアミラーおよびステアリングホイールの位置は、運転席の「メモリー」ボタンを使用してのみ保存および呼び出すことができます。

i 注意: ステアリングホイールの位置は、電動ステアリングコラムが取り付けられている場合にのみ保存および呼び出すことができます。



シート、ミラー、ステアリングホイールを好みの位置に調整します。電動シート, 1.35 ページ、ステアリングホイールの電動調整, 1.39 ページ、外部ミラー, 1.50 ページを参照してください。

メモリー設定ボタン (1) を押しながら、同時にいずれかのメモリーポジションボタン (2) を押して設定を保存します。

メモリー位置の呼び出し

⚠ 警告: 車両が走行しているときはシート、ミラー、ステアリングホイールの位置を呼び出すことはできません。道路状態と交通状況に対応することができない場合があります。車両のコントロールを失い、事故の原因となる可能性があります。

i 注意: ドアミラーおよびステアリングホイールの位置は、運転席の「メモリー」ボタンを使用してのみ保存および呼び出すことができます。

i 注意: ステアリングホイールの位置は、電動ステアリングコラムが取り付けられている場合にのみ保存および呼び出すことができます。



必要な設定が保存されているボタン (2) を、シート、ドアミラーおよびステアリングホイールの調整が終わるまで押し続けます。

運転の前に シート

コンフォートイグジット

 **警告:** シートの動作によって手などを挟まれないように注意してください。

自動シートスライドが有効のときは、イグニッションをオフにして運転席ドアを開くと、運転席シートが後ろいっぱいまで移動し高さが最低位置になり、ステアリングホイールが内側に移動し最高位置になります。

これによって車両から簡単に降りることが可能になります。この機能のスイッチのオン/オフ方法はコンフォートエントリ / イグジット、3.23 ページを参照してください。

 **注意:** 電動ステアリングコラムが取り付けられている場合、ステアリングホイールは位置のみを変更します。

コンフォートエントリ

乗車後、ステアリングコラムの左側にあるコントロールレバーを使用して、運転席シートとステアリングホイールを直前の位置に戻すことができます。

 **注意:** 電動ステアリングコラムが取り付けられている場合、ステアリングホイールは位置のみを変更します。

この機能は、「(乗車/降車快適機能を使用できます。キャンセルするにはOKを押してください)」がインストルメントクラスターに表示されている時のみ使用できます。

車両はイグニッションオフ、運転席ドア閉、乗車/降車快適機能がONである必要があります。

1. コントロールレバーを手前に引いて、自動シートスライドを開始します。
2. 機能をキャンセルしたい場合は、コントロールレバーを操作するか、運転席ドアを開けます。「乗車 / 降車快適機能が復帰します。中止するにはレバーを操作するかドアを開いてください」メッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

 **注意:** この機能では、自動シートスライドを使用する前の位置にシートとステアリングホイールを戻します。前の位置が保存されたメモリー位置のいずれかでない限り、メモリー位置は使用されません。

3. レバーを使用する前に、シートまたはステアリングホイールを手動で調整すると、機能は失われ、次に自動シートスライドを使用するまで利用できなくなります。

 **注意:** 乗車 / 降車快適機能をキャンセルするには、エンジンを始動させるか、あるいはシートが元の位置に戻っている間にシートまたはステアリングコラムスイッチを押してください。

4. 自動シートスライドをキャンセルすると、この機能を使用してシートとステアリングホイールを前の位置に戻すことができなくなります。インストルメントクラスターのメッセージは消え、コントロールレバーは通常使用時の状態に戻ります。この機能は、次回自動シートスライドが使用されたときに利用可能になります。
5. シートとステアリングホイールが前の位置に戻ると、インストルメントクラスターのメッセージが消えて、プロセスが完了したことを確認する警告音が鳴ります。

オートヒートシート

オートヒートシートにはIRISの温度調節画面を使用してアクセスすることができます。オートヒートシート、4.10 ページを参照してください。

 **注意:** オートヒートシート機能は、エンジンが作動している場合にのみ使用可能です。

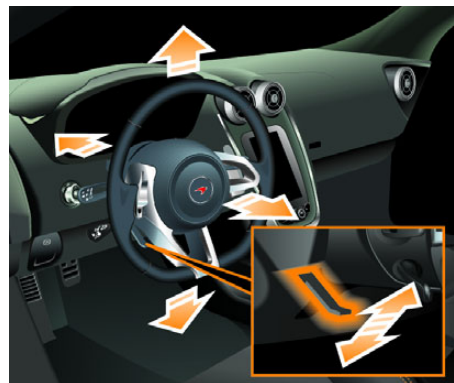
運転の前に

ステアリングホイールとステアリングコラム

ステアリングホイールの手動調整

⚠ 警告: ステアリングホイールの位置調整は必ず停車して行ってください。道路状態と交通状況に対応することができない場合があり、車両のコントロールを失い、事故の原因となる可能性があります。

ステアリングホイールは高さや前後位置を調整することができます。



レバー（拡大図）を下に押し、以下の条件を満たすようにステアリングホイールの位置を決めます。

- ステアリングホイールを握ったときに、腕が若干曲がった状態になること
- 両足を自由に動かすことができること
- インストルメントクラスターのすべての表示をはっきりと視認できること

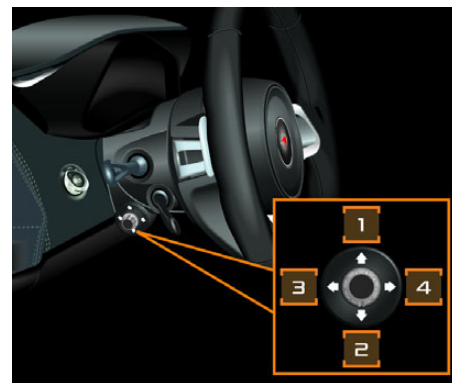
レバーを引き上げてステアリングホイールを固定します。運転する前に、レバーがロックされていることを確認してください。

ステアリングホイールの電動調整

⚠ 警告: ステアリングホイールの位置調整は必ず停車して行ってください。道路状態と交通状況に対応することができない場合があり、車両のコントロールを失い、事故の原因となる可能性があります。

ステアリングホイールは、車両がアウェイク状態の場合に、コラムコントロールスイッチを使用して高さや前後位置を調整することができます。車両の電气的状態, 2.2 ページを参照してください。

コラムコントロールスイッチはステアリングコラムの左側にあります。



1. 高さ: 上昇
2. 高さ: 下降

運転の前に

ステアリングホイールとステアリングコラム

3. リーチ: 遠
4. リーチ: 近

コラムコントロールスイッチを1と2の方向に移動すると、ステアリングホイールの高さを上下に調整できます。

コラムコントロールスイッチを3と4の方向に移動すると、ステアリングホイールの位置を前後に調整できます。

 注意: 「コラムコントロール」スイッチでは、ステアリングホイールの位置を一度に一方方向にしか調整できません。

コラムコントロールスイッチを使用して、次の状態になるようにステアリングホイールを調整します。

- ステアリングホイールを握ったときに、腕が若干曲がった状態になること
- 両足を自由に動かすことができること
- インストルメントクラスターのすべての表示をはっきりと視認できること

ステアリングホイールの自動調整

電動シートを装着している場合は、シートとミラーの位置を保存したときに電動ステアリングホイールの位置も保存されます。メモリー位置の保存, 1.37 ページを参照してください。

 **警告: ステアリングホイールの移動中はホイールやコラムに手を触れないようにしてください。**

 注意: 「コラムコントロール」スイッチを操作することで、あらゆる自動調整動作をキャンセルできます。

コンフォートエントリ / イグジット

コンフォートエントリ/イグジットが有効のときは、エンジンをオフにして運転席ドアを開くと、ステアリングホイールとコラムが内側にいっぱいまで移動し（ドライバーから遠ざかる方向）、一番上まで上がった状態になります。

ステアリングホイールとコラムは、ステアリングコラムの左側にあるコントロールレバーを使用して直前の位置に戻すことができます。コンフォートイグジット, 1.38 ページを参照してください。

 **警告: ステアリングホイールの移動中はホイールやコラムに手を触れないようにしてください。**

 注意: 「コラムコントロール」スイッチを操作することで、あらゆる自動調整動作をキャンセルできます。

ホーン

ホーンを操作するには、ステアリングホイールの中央を押します。

 注意: ホーンはイグニッションスイッチがオフのときでも作動します。

運転の前に 乗員の安全

シートベルト

シートベルトとチャイルドシートは衝突時の衝撃に対し乗員を拘束し、それによって車内衝突による負傷やむち打ち症の危険を最小限に抑制するための最も有効な手段です。

 **警告:** シートベルトは着用していないときや誤った着用をしたとき、あるいはシートベルトバックルに完全に締結されていないときは本来の機能を果たすことができません。怪我を防止するために、乗員全員が常に各々のシートベルトを正しく着用するようにしてください。

ベルトは以下の条件を満たすように装着してください。

- 骨盤のできる限り低い位置、すなわち腹部ではなく股関節部にかける
- 体に密着させる
- ねじれをなくす
- 肩の中央部を通る位置にかける
- ベルトが首と肩の間の鎖骨の中心を通るようにかける
- 肩ベルトを上方向に引き、ベルトを骨盤部に密着させる

乗員が使用しているシートベルトで他の物体を固定しないでください。

あまり厚手の衣類を着用するのは避けてください。

鋭い縁や壊れやすい物、特にそれらの物が乗員の衣類に付いていたりポケットに入っていたりする場合、その部分にはシートベルトをかけないでください。シートベルトが損傷したり、乗員が負傷したりするおそれがあります。

各シートベルトは一度に1人の乗員しか使用することはできません。

決してお子様を他の乗員の膝に座らせないでください。

身長 150 cm (4 フィート 11 インチ) 未満、または 12 歳未満のお子様は、適切なチャイルドシートで保護しなければなりません。チャイルドシートはメーカーの取扱説明書に従って装着してください。

 **警告:** 妊娠中の女性は、母親と胎児の最大限の安全のためにシートベルトを着用する必要があります。腰ベルトは腹部の下、肩ベルトは胸部中央から腹部側面を通るようにかけます。ベルトが緩んだりねじれたりしていないことを確認してください。

 **警告:** シートベルトが本来の保護水準を発揮するのは、シートバックレストを垂直に近い位置に設定し、乗員が真っ直ぐに座っている場合のみです。

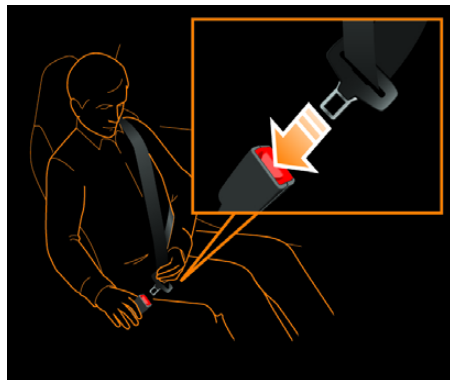
 **警告:** シートベルトやバックルが極端に汚れたり損傷したりしていると、シートベルトは正常に機能しません。ベルトラッチがバックルと完全に締結できることを確認してください。

シートベルトに損傷がないか、鋭い縁に当たっていたり引っかかっていたりしないかを定期的に点検してください。事故の際にベルトが裂け、乗員が怪我を負うおそれがあります。

ベルトに損傷がある場合や、重い負荷がかかった場合はシートベルトの点検を依頼してください。シートベルトの修理や交換は必ずマクラレン代理店に依頼してください。

運転の前に 乗員の安全

シートベルトの着用



1. 無理のない姿勢で、操作装置類に容易に手が届くようにシートを調整します。
2. シートベルトラッチを持ち、体の前を通します。その際、ベルトが首と肩の間の鎖骨の中心を通り、胸部から骨盤に至るようにつまみかけます。
3. ベルトを正しい位置に配置してラッチをバックルに差し込み、カチッと音がして締結したことが確認できるまで押し込みます。
バックルからラッチを引き、確実にラッチがはまり込んでいるか確認してください。

シートベルトテンショナー

シートベルトにはベルトテンショナーが組み込まれています。ベルトテンショナーは事故の際にシートベルトに張力をかけ、乗員を強く引っ張ります。

警告：助手席に乗員がいない場合は、ベルトラッチを助手席のシートベルトバックルに差し込まないでください。事故の際にベルトテンショナーが作動する可能性があります。

警告：ベルトテンショナーは誤った着座位置や間違った装着を補正することはありません。

ベルトテンショナーは乗員をバックレストの方向に引き戻しはしません。

ベルトテンショナーは正面衝突または追突が発生し、車両が急減速または急加速した場合に、ベルトラッチがシートベルトバックルに締結されていることを条件としてベルトごとに変動します。

ベルトテンショナーが変動するとパンという音がし、場合によっては少量の煤塵が放出され、補助拘束装置警告灯が点灯します。

警告：ベルトテンショナーが変動したら（または、変動したかどうか分からない場合は）、絶対に車両を運転しないでください。直ちに最寄りのマクラーレン代理店にご相談ください。

ベルトフォースリミッター

シートベルトにはベルトフォースリミッターが組み込まれています。ベルトフォースリミッターはフロントエアバッグに同調し、衝撃を受けた際にベルトにかけられた張力を徐々に解放し、乗員が受ける力を低減します。

運転の前に 乗員の安全

シートベルト警告灯



インストールメントクラスターのシートベルト警告灯と警告音が、車両の乗員に対し各々シートベルトを装着するように促します。ドライバーと乗員がシートベルトを着用するとシートベルト警告灯が消灯し、警告音が止まります。

補助拘束装置

エアバッグシステム

お客様のマクラーレンには以下のエアバッグが装備されています。

- 運転席フロントエアバッグ（ステアリングホイール内）
- 助手席フロントエアバッグ（ダッシュボード内）
- ドア内のサイドヘッドエアバッグ



警告: エアバッグは正しく着用したシートベルトの代用となるものではなく、シートベルトが提供する乗員保護の水準を高めるものです。



警告: エアバッグが正常に作動するのは、ステアリングホイール、助手席エアバッグカバー、ドアトリムが覆われていない場合のみです。



警告: 万一の事故の際に怪我を負う危険性を低減するため、以下の事項を遵守してください。

- ドライバーの胸部からエアバッグカバーまで、少なくとも 25 cm（10 インチ）以上の距離を確保してください。
- 車両が走行中はダッシュボード上にかがみ込まないでください。
- ダッシュボードに足を乗せないでください。

- ステアリングホイールはリムの外側を握ってください。ステアリングホイールの内側を握っていると、エアバッグが展開したときに怪我を負うおそれがあります。
- 乗員、特にお子様は、車内からドアに寄りかからないでください。
- 乗員とエアバッグの展開空間の間に他の物体がないことを確認してください。
- エアバッグは高速で展開するため、エアバッグの膨張によって怪我を負う危険性があります。

エアバッグの交換



警告: マクラーレンでは部品の動作寿命によってエアバッグが不作動となることがないように、15 年ごとにエアバッグを交換することをお奨めしています。

運転の前に 乗員の安全

エアバッグシステムの修正

障害のある方が車両を使用できるようにエアバッグシステムを修正する必要がある場合は、最寄りのマクラーレン代理店にご相談ください。マクラーレン代理店に関する詳しい情報は、サービス保証ガイドを参照してください。

フロントエアバッグ



運転席フロントエアバッグ（1）はステアリングホイールの正面に展開し、助手席フロントエアバッグ（2）はダッシュボードの正面上方に展開します。

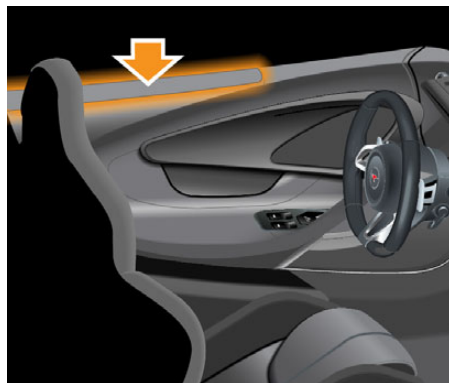
フロントエアバッグは、乗員が頭部および胸部に怪我を負う危険性をより低減できるとシステムが判断したときに展開します。

- i** 注意：助手席フロントエアバッグは、オーバーヘッドコンソールの「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯していないときだけ作動します。乗員分類システム - 助手席, 1.45 ページを参照してください。

サイドヘッドエアバッグ

! 警告：サイドヘッドエアバッグの作動時に乗員が怪我を負う危険性を低減するために、必ず次の事項をお守りください。

- 乗員とエアバッグの展開空間の間には物を置かない
- ドアにアクセサリー等を取り付けない
- 衣服のポケットに重い物や鋭い物体を入れておかない
- 乗員、特にお子様は、車内からドアに寄りかからないでください



サイドヘッドエアバッグ（左図で強調）は各ドアパネルの上部に組み込まれており、車両の衝撃が発生する側の乗員が頭部に怪我を負う危険性をより低減できるとシステムが判断したときに展開します。

- i** 注意：助手席側ヘッドエアバッグは、助手席に乗員がいなければ展開しません。

運転の前に 乗員の安全

乗員分類システム - 助手席

このシステムはシートベースに内蔵された容量性重量マットを使用し、同時に助手席シートベルトのシートベルトバックルが締まっているかを確認することで、助手席の乗員の有無を判定します。このシステムは、エアバッグが必ず大人用に展開するようにするために、助手席にチャイルドシートの幼児がいる場合や助手席に誰もいない場合は、助手席フロントエアバッグをオフにします。



エアバッグの状態はオーバーヘッドコンソールの「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯により表示されます。

「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、5秒後に消灯します。

この警告灯は、助手席に乗員がいないときやチャイルドシートが装着されているときは継続点灯します。

i 注意：「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯は、助手席に大人の乗員がいない限り常時点灯します。

「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯しているときは、助手席フロントエアバッグは非アクティブになります。助手席側サイドヘッドエアバッグおよびベルトテンショナーは、「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯していても常にアクティブです。

! 警告：チャイルドシートを装着しているのに「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯していない場合は、フロントエアバッグは非アクティブにはなっていません。助手席エアバッグが展開した場合、お様が重大な怪我を負うおそれがあります。

! 警告：乗員分類システムが正しく機能するように、マクラレーン（座席の下）に物を置かないことをお奨めしています。また、マクラレーン（座席の下）に毛布、クッション、あるいはシートカバー、ヒーター、マッサージ器などのアフターマーケット機器などを追加装備しないことをお奨めしています。

これらのアイテムは、乗員分類システムの性能に著しく影響します。McLaren は、シートカバー、ヒーター、マッサージ器などのアフターマーケット部品の取り付けはしないことを推奨しています。

! 警告：作動中の電子部品または 12 V のアクセサリソケットに接続されている電子部品は、絶対に助手席に置かないでください。乗員分類システムの動作に影響することがあります。

! 警告：乗員分類システムに何らかの液体（雨水を含む）がかかった場合、性能に影響することがあります。シートに乗員がいない場合でも「PASSENGER AIR BAG OFF（助手席エアバッグ OFF）」警告灯が点灯していないときは、チャイルドシートを取り付けたり乗員をシートに座らせたりしないでください。速やかに最寄りのマクラレーン代理店にご相談ください。

運転の前に 乗員の安全



警告: 先の尖ったものを助手席に置かないでください。シートクッションが破裂すると、乗員分類システムが損傷する恐れがあります。



警告: 乗員分類システムが正しく機能するように、チャイルドシートシステムの下には決して物（クッションなど）を置かないでください。チャイルドシートのベース全体が常にシートに接していなければなりません。チャイルドシートを正しく取り付けていない場合、万一の事故の際に本来の保護水準を提供できず怪我の原因になります。

エアバッグの展開

衝突が発生すると、補助拘束装置がエアバッグを展開して乗員を保護します。このシステムは、展開するエアバッグの数や、衝突の激しさに応じてエアバッグを膨張させる度合いを制御して、乗員に可能な限り最高の保護を提供します。

このシステムはセンサーを使用して、迅速に衝突の重大度と車両乗員数を評価します。これらすべての要素がわかると、システムは必要なエアバッグを展開し、インパクトゾーンの膨張圧を調整して乗員の安全を確保します。

事故後、エアバッグは膨張プロセスの後ほぼ即座に減圧を開始します。エアバッグを膨張させるために使われたガスはエアバッグの通気口から排出され、それによって乗員が衝撃によって重大な怪我を負う危険性を低減します。

エアバッグは乗員の動きを減速し、制限することによって、身体への負荷を低減します。ただし、エアバッグは正しく装着したシートベルトに取って代わるものではありません。



警告: エアバッグが展開するとパンという音がし、少量の微粒子が放出されることがあります。この騒音はお客様の聴覚に害を与えることはありません。また、微粒子は健康上危険なものではなく、火災の発生を示すものでもありません。この微粒子は、喘息やその他の呼吸器系の問題がある方の場合、一時的に呼吸困難を引き起こす可能性があります。呼吸困難を防止するには速やかに車外に出るか、ウィンドウを開けてください。



警告: エアバッグの作動後は、エアバッグの部品が高温になっていますので触れないでください。エアバッグの交換は、マクラーレン代理店に依頼してください。

正規外着座（OOP）

お客様の McLaren のエアバッグシステムは、OOP 状態の小さいお子様に対し的確に動作することが試験で確認済みです。OOP 状態は衝突によってエアバッグが展開した際に、小さいお子様がパッセンジャーシートの不適切な位置に座っていた場合に発生します。

補助拘束装置警告灯



補助拘束装置は、イグニッションスイッチがオンでエンジンが動作中のとき、定期的にセルフテストを実行します。

運転の前に 乗員の安全

インストルメントクラスターのこの警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、エンジンを始動してから5秒後に消灯します。

 **警告:** 以下のいずれかの事項が発生した場合は、直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

- イグニッションスイッチをオンにしても警告灯が点灯しない
- エンジン始動後 5 秒が経過しても警告灯が消灯しない
- エンジン始動後に警告灯が再び点灯する

安全機能

万一事故に巻き込まれた場合、お客様や救急隊員を支援するために以下の事象が発生します。

- ドアロックの解除
- ハザード警告灯の点灯
- 室内照明の点灯

場合により、燃料システムのスイッチがオフになります。

チャイルドパッセンジャー

 **警告:** お子様をチャイルドシートで安全に固定している場合でも、お子様だけを車内に残さないでください。お子様が車両の一部で思わぬ怪我をしたり、ドアを開け、暑さや寒さに長時間さらされて重傷を負ったり、命にかかわる傷害を受けるおそれがあります。

お子様がドアを開けた場合、それによって他人に怪我をさせたり、車両から抜け出して思わぬ怪我をしたり、通過する車両によって怪我をするおそれがあります。

チャイルドシートシステムを直射日光にさらしてはなりません。チャイルドシートシステムの金属部品でお子様が火傷をするおそれがあります。

重い物体や堅い物体をしっかりと固定せずに車内に置かないでください。

積荷を固定しなかったり、不適切な場所に置いたりすると、急ブレーキや急激な方向変更あるいは事故の際にお子様で怪我をする危険が増大します。

運転の前に 乗員の安全

チャイルドシートシステム

マクラレーンオートモーティブはこの車両にチャイルドシートを装着することはお奨めしませんが、もし使用する場合は以下のガイドラインに従ってください。

身長が 150 cm（4 フィート 11 インチ）未満または 12 才未満のお子様を同乗させるときは、その体重に合った適切なチャイルドシートにしっかり固定してください。詳細については、マクラレーン代理店にお問い合わせください。

現行の国および地域の法規の特殊要件を参照してください。



 **警告:** 助手席エアバッグが作動している場合は、チャイルドシートシステムを後ろ向きに固定しないでください。状態は「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯に表示されます。



 **警告:** 「PASSENGER AIR BAG OFF (助手席エアバッグ OFF)」警告灯が点灯していない場合、助手席ではチャイルドシートシステムを後ろ向きに使用してはなりません。助手席では、チャイルドシートシステムを前向きに使用してください。助手席側の警告ラベルで確認することができます。

 **警告:** 助手席にチャイルドシートを前向きに取り付ける場合は、助手席を完全に後方に移動し、高さを最も低い位置にする必要があります。手動の助手席は高さの調整ができません。

運転の前に 乗員の安全

 **警告:** チャイルドシートシステムを正しく取り付けしていない場合、事故や急ブレーキの際にお子様固定されず、怪我をするおそれがあります。チャイルドシートシステムを取り付けるときは、チャイルドシートの正しい使用に関するメーカーの指示に従ってください。

KISI チャイルドシート機能

お客様のマクラレーンには、シートベルトを一時的にロックしてチャイルドシートを助手席にしっかりと固定するように設計された、助手席側のオートマチックロックシートベルト、KISI システムが装着されています。

1. 助手席側シートベルトを完全に引き出します。KISI システムは、シートベルトを完全に引き出さない限り作動しません。

 **注意:** 車両を坂道に駐車させている場合、慣性ロックによりシートベルトが引き出せない場合があります。この状態が生じた場合は、シートベルトを少し緩めてから、慣性ロックにかからないように慎重にシートベルトを引き出します。

2. チャイルドシートメーカーの説明に従ってシートベルトをチャイルドシートに渡して、ベルトラッチをバックルにかみ合わせます。

3. 下部セクションが固定装置にしっかりと締め付けられ、上部セクションが収縮できるようにベルトを調整します。ベルトが収縮し、KISI システムはカチッと音をたてて固定されます。
4. シートベルトを可能な限り収縮したら、上部セクションを引っ張ってシートベルトがロックされていることを確認します。

 **注意:** シートベルトが完全に収縮すると KISI システムは解除され、通常のシートベルトとして装着できます。KISI システムは一度ロックを解除すると、次にチャイルドシートを使用するときにシートベルトを完全に引き出した状態からあらためて KISI システムを作動させる必要があります。

運転の前に ミラー

安全性



警告：運転の前に、道路や交通の状況を最も良く視認できるようにすべてのミラーを調整してください。

インテリアミラー



ミラー下部のスイッチ（2）を押して、インテリアミラーの自動調光機能を有効または無効にします。自動調光が有効な場合、インジケータライト（1）が点灯します。

有効な場合、ライトセンサー（3）が明るい光を検出すると内部ミラーが自動的に暗くなります。

リバースギアが選択された場合または周囲の光レベルが高い場合、自動調光機能は無効になります。

外部ミラー



警告：一部の市場では、外部ミラーに凸面鏡を採用しています。こうしたミラーは視野が広がりますが、鏡に映った像の大きさが小さくなります。これは、対象物が見かけよりも実際には近くにあることを意味します。

後続車までの距離を誤認し、事故の原因となることを防止するために、車線変更時は後続車までの実際の距離を確認してください。

ステアリングホイールとセンターコンソール間のダッシュボードに外部ミラーの調整つまみがあります。

運転の前に ミラー

ミラーの調整

1. イグニッションスイッチをオンにします。



2. 左側ミラーを調整する場合は調整つまみを左 (1) に、右側ミラーを調整する場合は右 (2) に回します。
3. 調整つまみを上下左右に動かし、ミラーを好みの位置に調整します。

外部ミラーを折りたたむ

1. イグニッションスイッチをオンにします。
2. ミラーを折りたたむには、調整つまみを (3) の位置に回します。
3. ミラーを展開するには、調整つまみを (3) 以外の位置に回します。

i 注意: スイッチが (3) の位置にあるときは、スイッチを動かすまでミラーは折りたたまれています。

外部ミラーの自動折りたたみ

車両をロックしたときに、外部ミラーが自動的に折りたたまれるように設定することができます。ミラーは車両のロックを解除したときではなく、ドアを開けたときに展開されます。自動折りたたみミラー, 3.23 ページを参照してください。

リバース時のミラーディップ

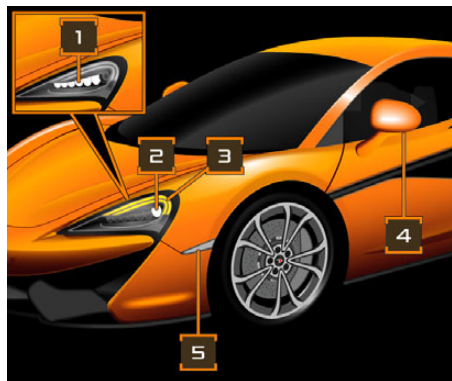
ギアをリバースにシフトしたときに、外部ミラーが下向きになるように設定することができます。これによって、車両後方の地面を確認できます。リバースミラーディップ, 3.24 ページを参照してください。

熱線入りミラー

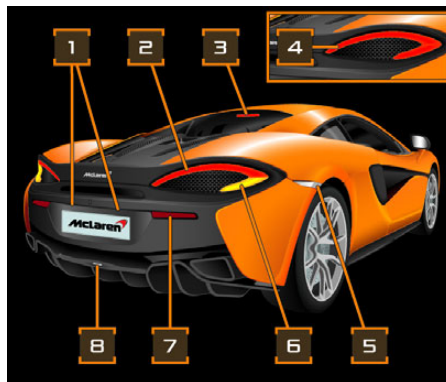
エンジン作動中に IRIS 画面のスイッチを押すと、外部ミラーのヒーターがオンになります。熱線入りミラー, 4.11 ページを参照してください。気温が 5°C (41°F) 以下になったときも、これらの熱線がオンになります。

運転の前に 照明

外部照明

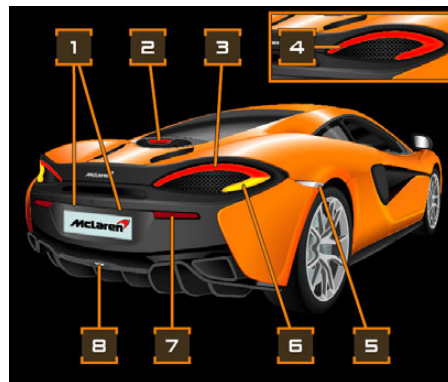


1. ヘッドランプハイビーム
2. ヘッドランプロービーム
3. 方向指示器/サイドランプ/デイトタイムランニングランプ（日本を除く）
4. サイド方向指示器
5. サイドマーカーランプ/ベゼル



Coupe

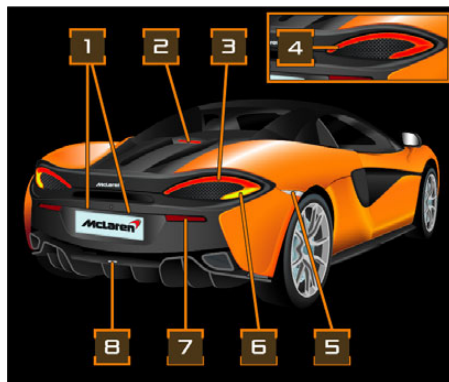
1. ナンブプレートランプ
2. ストップランプ
3. センターハイマウントストップランプ
4. テールランプ
5. サイドマーカーランプ/ベゼル
6. 方向指示器
7. リフレクター
8. リバースランプとリアフォグランプ



GT

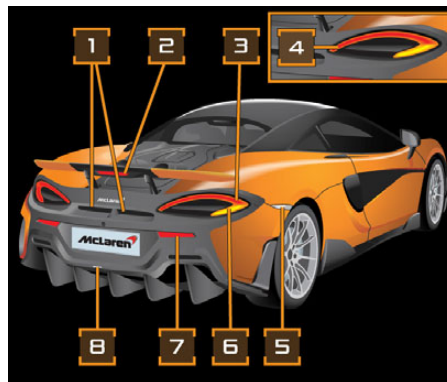
1. ナンブプレートランプ
2. センターハイマウントストップランプ
3. ストップランプ
4. テールランプ
5. サイドマーカーランプ/ベゼル
6. 方向指示器
7. リフレクター
8. リバースランプとリアフォグランプ

運転の前に 照明



Spider

1. ナンバープレートランプ
2. センターハイマウントストップランプ
3. ストップランプ
4. テールランプ
5. サイドマーカールamp/ベゼル
6. 方向指示器
7. リフレクター
8. リバースランプとリアフォグランプ



600LT および 600LT Spider

1. ナンバープレートランプ
2. センターハイマウントストップランプ
3. ストップランプ
4. テールランプ
5. サイドマーカールamp/ベゼル
6. 方向指示器
7. リフレクター
8. リバースランプとリアフォグランプ

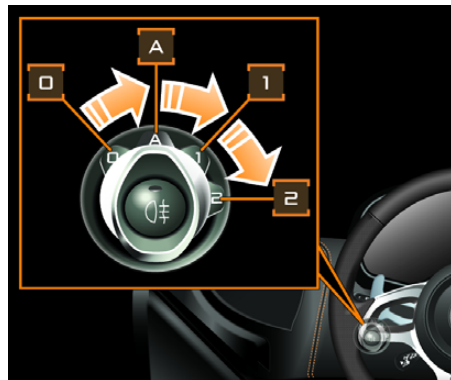
運転の前に 照明

ランプスイッチ

⚠ 警告：ランプは霧が発生しても自動的に点灯することはありません。

オートマチックランプコントロールはあくまでも補助機能であり、車両のランプを点灯する責任は常にドライバーが負います。

ランプスイッチはステアリングホイールと運転席ドアの間にあり、以下のポジションがあります。



(0) の位置で、デイトタイムランニングランプ（日本を除く）とテールランプは消灯します。

つまみを (A) の位置に回すと、オートマチックランプコントロールがオンになります。

つまみを (1) の位置に回すとサイドランプが、(2) の位置に回すとヘッドランプが点灯します。サイドランプ警告灯がインストルメントクラスターに点灯します。

オートマチックランプコントロール

周辺光が所定のレベルより下がると、サイドランプとロービームヘッドランプが自動的に点灯します。

オートマチックランプコントロールをオンにするには、ランプスイッチを (A) の位置に回します。

i 注意：ランプスイッチが (A) 位置に設定されているときに車両が雨を検知した場合、現在の外部ランプの照明レベルに関わらず、ロービームヘッドランプが自動的に点灯します。

i 注意：ランプスイッチが (A) 位置のときにフォグランプを点灯すると、周囲の光の条件にかかわらず、ロービームヘッドランプも点灯します。リアフォグランプを消灯すると、周囲の光の条件に応じて、ロービームヘッドランプも消灯します。

運転の前に 照明

サイドランプ

サイドランプおよびデイトタイムランニングランプ（日本を除く）は、ヘッドランプの外側に配された一連の発光ダイオードの組み合わせです。サイドランプはデイトタイムランニングランプよりも低輝度で点灯します。デイトタイムランニングランプ（日本を除く）、1.56 ページを参照してください。

サイドランプ、テールランプ、ナンバープレートランプは、ランプスイッチを（1）の位置に回すと点灯します。

 インストルメントクラスターのサイドランプ警告灯が点灯します。

ロービームヘッドランプ

ヘッドランプをオンにするには、ランプスイッチを（2）の位置に回します。

 **注意：**お客様のマクラーレンは、道路の左側または右側のどちらを走行しても同一のロービーム設定が適用されます。

ハイビームヘッドランプ



ハイビームに切り替えるには、ハイビームレバーを奥に押します。

 インストルメントクラスターのハイビームヘッドランプ警告灯が点灯します。

ロービームに戻すには、ハイビームレバーを手前に引きます。

パッシングランプ

ハイビームレバーを手前いっぱいに引きます。ハイビームレバーを引いている間だけハイビームヘッドランプが点灯します。

 インストルメントクラスターのハイビームヘッドランプ警告灯が点灯します。

運転の前に 照明

デイトタイムランニングランプ（日本を除く）

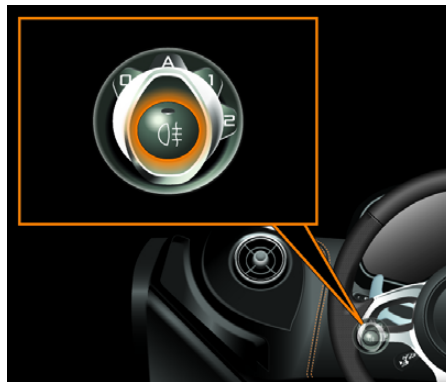
お客様のマクラーレンには、すべてのランプのスイッチがオフであっても、イグニッションスイッチをオンにすると自動的に点灯するデイトタイムランニングランプがテールライトとともに装備されています。サイドランプおよびデイトタイムランニングランプは、ロービームヘッドランプの外側に配された一連の発光ダイオードの組み合わせです。デイトタイムランニングランプはサイドランプよりも高輝度で点灯します。

リアフォグランプ

i 注意：リアフォグランプは、ロービームヘッドランプが点灯しているときのみ作動します。

ロービームヘッドランプのスイッチがオンまたはランプスイッチがポジション（A）になっていることを確認してください。

i 注意：ランプスイッチが（A）位置のときにリアフォグランプを点灯すると、周囲の光の条件にかかわらず、ロービームヘッドランプも点灯します。リアフォグランプを消灯すると、周囲の光の条件に応じて、ロービームヘッドランプも消灯します。

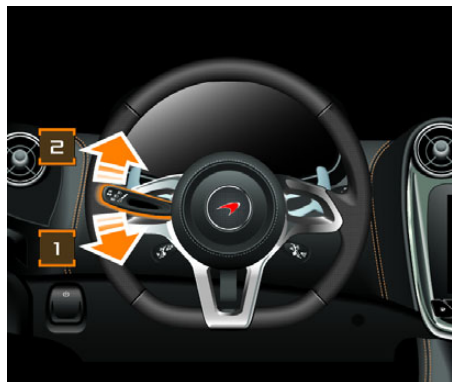


ランプスイッチの中央にある「フォグランプ」ボタンを押します。

0# インストルメントクラスターの警告灯とスイッチのランプがともに点灯します。

運転の前に 照明

方向指示器



左方向指示器をオンにするには、方向指示器 / ハイビームレバーを下 (1) に押します。

右方向指示器をオンにするには、方向指示器 / ハイビームレバーを上 (2) に押します。



インストルメントクラスターの対応する警告灯が点滅します。

レバーはステアリングホイールを直進位置に戻すと、元の位置に戻ります。

方向指示器 - 車線変更

高速道路で車線変更する際には方向指示器 / ハイビームレバーを抵抗が感じられる位置まで動かします。該当する方向指示器が3回点滅します。

照明に関する詳細についてはランプスイッチ , 1.54 ページを参照してください。

ハザード警告灯

ハザード警告灯はイグニッションスイッチがオフの場合も作動します。ハザード警告灯はエアバッグが作動したときには安全機能として自動的に点灯します。

ハザード警告灯の操作



1. 「ハザード警告灯」 ボタンを押します。
2. すべての方向指示器ランプとインストルメントクラスターの両方の方向指示器警告灯が点滅します。
3. ハザード警告灯をオフにするには、再度ハザード警告灯ボタンを押します。

運転の前に 照明

i 注意：ハザード警告灯が自動的にオンになった場合は、「ハザード警告灯」ボタンを1回押してハザード警告灯をオフにしてください。

パニックアラーム

パニックアラーム機能は、ホーンの鳴動と方向指示器ランプの点滅を繰り返すことによって注意を引くように設計されています。

パニックアラームはハザード警告灯ボタンを3秒以上押し続けることによって作動させることができます。

ホーンはパニックアラームが長時間作動し続けると停止しますが、方向指示器は点滅を続けます。ホーンはハザード警告灯ボタンを3秒以上押し続けることによって再び作動させることができます。

パニックアラームをオフにするには、「ハザード警告灯」ボタンを短く押します。

パーキングランプ



i 注意：パーキングランプはイグニッションスイッチがオフのときにのみ作動します。

1. パーキングランプをオンにするには、左側の場合は方向指示器 / ハイビームレバーを下に、右側の場合は上に、抵抗が感じられる位置まで押します。車両にロックがかかると、選択したパーキングランプが点灯します。
2. パーキングランプをオフにするには、左側の場合は方向指示器 / ハイビームレバーを下に、右側の場合は上に、抵抗が感じられる位置まで押します。すると、選択したパーキングランプがオフになります。

i 注意：この方法では、両側のパーキングランプを同時にオンにすることができ、また片側をオンにしたまま、もう一方をオフにすることもできます。

運転の前に ウォッシャーとワイパー

フロントウィンドウワイパー



1. フロントウィンドウワイパーオフ
2. 自動ワイパー
3. 低速ワイパー
4. 高速ワイパー

i 注意：雨天時以外はフロントウィンドウワイパーを作動させないでください。ワイパーを作動させると、ほこりなどによりワイパーブレードやフロントウィンドウに思いつけない傷が付くことがあります。

フロントウィンドウワイパーの操作

1. イグニッションスイッチがオンになっていることを確認してください。
2. ワイパーレバーを必要な位置に移動します。

i 注意：フロントウィンドウワイパーのスイッチがオンのときに車両が停止すると、フロントウィンドウワイパーは車両が動き出すまで自動的に間欠ワイパーに切り替わります。

自動ワイパー

インテリアミラーの裏側のフロントウィンドウに設置されているレインセンサーがウィンドウの水滴量を計測し、最適な速度でワイパーを作動させます。

自動ワイパーを選択するには、フロントウィンドウワイパーレバーを自動ワイパーポジション (2) に設定します。

ワイパーが拭き取り動作を 1 回行います。それ以降の拭き取り頻度は、フロントウィンドウの濡れ具合によって変わります。

自動ワイパーポジションは、雨模様もしくは降雨時以外は選択しないでください。

レインセンサーの感度の調整方法についてはワイパー感度, 3.25 ページを参照してください。

低速ワイパー

ワイパーを低速で動作させるには、ワイパーレバーを (3) の位置に設定します。

スイッチを切るには、レバーを (1) の位置に設定します。

高速ワイパー

ワイパーを高速で動作させるには、ワイパーレバーを (4) の位置に設定します。

スイッチを切るには、レバーを (1) の位置に設定します。

一回拭き取り

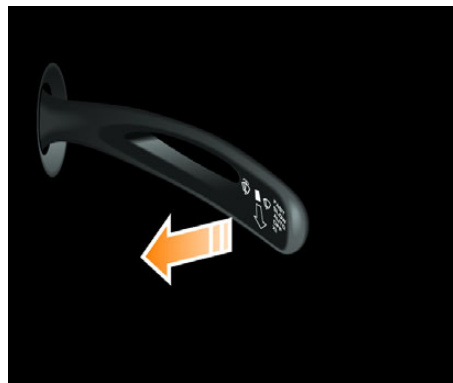


1. 低速で 1 回のみの拭き取りを行うには、ワイパーレバーを短く押して離します。ワイパーが 1 回低速動作します。ウォッシャーは作動しません。

運転の前に ウォッシャーとワイパー

2. 高速で 1 回のみの拭き取りを行うには、ワイパーレバーを下に押し続けます。レバーを離すまで、フロントウィンドウワイパーが連続高速拭き取りを実行します。

フロントウィンドウウォッシャー / ワイパー



ワイパーレバーを手前に引きます。

フロントウィンドウウォッシャー/ワイパーは、レバーを引いている間動作します。レバーを2秒以上引くと、ワイパーは高速で動作します。

レバーを離すと、ワイパーはその時点の動作サイクルを完了して収納位置に戻ります。一定時間後に、ワイパーはもう 1 回動作してフロントウィンドウに残ったウォッシャー液を拭き取ります。

i 注意: ウォッシャーノズルの位置は車両製造時に設定されており、調整の必要はありません。不具合が発生した場合は、マクラーレン代理店にご相談ください。

ワイパー停止位置:

通常の停止位置に加えて、別の位置が 2 つあります。

車両をアクセサリモードにします。

ワイパーコントロールレバーを手前に引くと、ワイパーはレバーを引くたびに次の停止位置に移動します。

冬季用停止

ワイパーを垂直に停止させて、豪雪時期のワイパーウォーム損傷のリスクを減らし、積もった雪を簡単に取り除けるようにします。

サービス停止

ワイパーを斜めに停止させて、ワイパーブレードを交換しやすくします。ワイパーブレードの交換, 5.31 ページを参照してください。

通常停止

ワイパーをフロントウィンドウの下端に沿って水平に停止させます。

運転の前に ノーズリフト

ノーズリフトの操作

警告：ノーズリフトをジャッキシステムとして使用しないでください。ノーズリフトを使用して車両の底部に入ると、重傷を負う可能性があります。

ノーズリフトを使用すると、現在の車高に応じて車両前面を昇降させることができます。

ノーズの車高を上昇させることができるのは、走行速度が 31 mph (50 km/h) 以下のときだけです。37 mph (60 km/h) を超えると、ノーズは自動的に下降します。

i 注意：インストルメントクラスターのノーズリフトアイコンがオレンジ色のときは、システムは利用できません。その場合は車両を高速では運転せず、速やかにマクラーク代理店にご連絡ください。

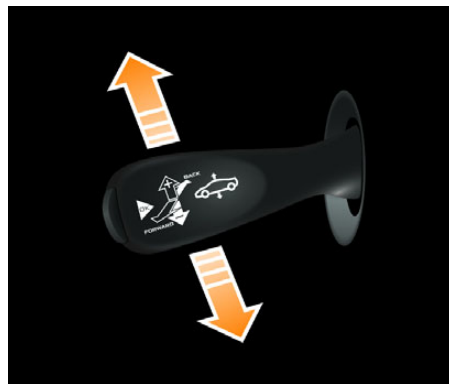
フロントサスペンションは長時間上げた状態を保つことができますが、時間が経つと緩んで下がる可能性があります。

ノーズを長時間上昇したままの位置にしておくと、次にエンジンを始動したときにシステムがリセットされ、ノーズが通常の車高に戻る場合があります。

走行中にノーズリフトを使用した場合、ステアリングの感覚がわずかに変化する場合があります。これは異常ではなく、車両の動作に影響を与えるものではありません。

ノーズリフトの操作はメニューで行えます。インストルメントクラスターディスプレイ、3.4 ページを参照してください。

メニューへのアクセス



ノーズリフトの操作は、エンジンが作動しドアが閉じられている状態で、ステアリングコラムの左側にあるメニューコントロールレバーを使用します。

i 注意：発進モードがアクティブの場合、ノーズリフトは使用できません。

i 注意：ドアが閉じている場合にのみ、ノーズリフトを下降させることができます。

メニューにすばやくアクセスするには、メニューコントロールレバーを 1 秒間上げたままにします。確認音が鳴ります。

または、メニュー構造を使用してノーズリフトにアクセスできます。詳しくは、インストルメントクラスターディスプレイ、3.4 ページを参照してください。

メニュー上で何も操作が行われないと、タイムアウト時間経過後にインストルメントクラスターがホーム画面に戻ります。

詳しくは、ノーズリフト、3.12 ページを参照してください。



運転操作装置

始動および走行	2.2
車両の電気的狀態.....	2.2
イグニッションのスイッチをオンにする.....	2.3
インストルメントと警告灯.....	2.4
シームレスシフトギアボックスのギア位置.....	2.6
パーキングブレーキ.....	2.8
ブレーキペダル.....	2.9
エンジンの始動/停止.....	2.10
走行.....	2.12
排気ガス温度監視.....	2.14
パーキングセンサー.....	2.14
リアビューカメラ（RVC）.....	2.16
シームレスシフトギアボックス	2.17
概要.....	2.17
ギア位置.....	2.17
アクセルペダル位置.....	2.18
マニュアル / オートマチックモード.....	2.18
ハンドリングとパワートレインコントロール	2.21
アクティブダイナミクスコントロール.....	2.21
「ACTIVE（アクティブ）」ボタン.....	2.21
ハンドリングコントロール.....	2.22
パワートレインコントロール.....	2.24
発進コントロール.....	2.26
走行安全システム	2.28
一般.....	2.28
アンチロックブレーキシステム.....	2.28
ブレーキアシストシステム.....	2.29
ブレーキディスクワイピング.....	2.29

ヒルホールドコントロール.....	2.30
ブレーキステア.....	2.30
電子制御ブレーキ予備充填.....	2.30
エレクトロニクススタビリティコントロール.....	2.31
タイヤ空気圧監視システム（TPMS）.....	2.34
クルーズコントロール	2.37
概要.....	2.37
クルーズコントロールの使用.....	2.37
クルーズコントロールの取り消し.....	2.38
クルーズ速度を上げる.....	2.39
クルーズ速度を下げる.....	2.39
保存した速度の呼び出し.....	2.40
アクティブスピードリミッター（ASL）	2.41
速度上限の設定.....	2.41
慣らし運転	2.42
慣らし運転.....	2.42
標準 / 道路での使用.....	2.42
サーキットでの使用.....	2.43
給油	2.44
燃料の給油.....	2.44
推奨燃料.....	2.46
冬季の走行	2.47
冬季の走行.....	2.47

運転操作装置

始動および走行

車両の電氣的状態

この車は以下に説明する基準に応じて、次の状態のうちひとつを発動します。

i 注意：ロック状態を除き、以下のどの状態からでもエンジンを始動することができます。スリープモードにあるときは、「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを2秒以上押す必要があります。

i 注意：バッテリーの残量が少なくなっていることを検知すると、エネルギーを節約するためにアウェイク状態になります。アクセサリーやイグニッションの使用は停止されますが、クランキングは行うことができます。これは、エンジンを始動してバッテリーの充電を開始できるようにするためです。

ロック

ローパワーモードにロックされます。

スリープ

ローパワーモードになりますが、ロックはされません。

アウェイク

スリープモードの状態ではドアを開けるか「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを押すと、この状態になります。

時刻、オドメーター、バッテリーの状態とフューエルゲージはインストルメントクラスターで確認できます。

2分間操作を行わないとスリープ状態に戻ります。

アクセサリー

アウェイクモードのときに「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを押すとこの状態になります。

ウィンドウとヒーター / エアコン調節ダイヤルが操作できるようになります。IRIS およびインストルメントクラスターメニューが使用可能になります。

15分間操作を行わないとスリープ状態に戻ります。

インストルメントクラスターメニューレバーの「OK」ボタンを押してもアクセサリーモードに切り替えることができます。この機能を利用するには、キーがコックピットエリア内にいる必要があります。

イグニッション

アクセサリーモードのときに「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを押すとこの状態になります。

i 注意：イグニッションオンの状態にはタイムアウトはありません。バッテリーが上がる可能性があるので注意してください。

クランキング

エンジンの始動 / 停止, 2.10 ページを参照してください。

パワーセービングモード

非常にまれな状況下で、車両が十分な電圧を供給することができない場合、パワーセービングモードが有効になります。

! 警告：パワーセービングモードが有効な場合、温度調節およびステアリングは低減効果で動作します。

i 注意：パワーセービングモードが有効な場合、「バッテリー管理有効 - オーナーズマニュアル参照」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

運転操作装置

始動および走行

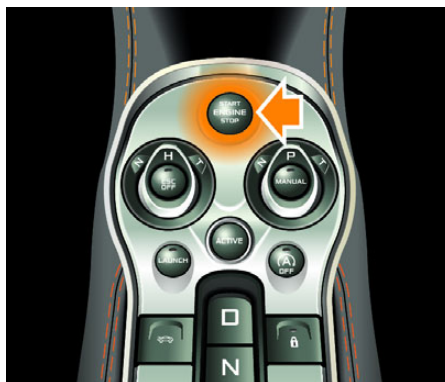
駐車日数



車両がロック解除されているか、イグニッションがオフになっているときは、「駐車日数」の残りがインストルメントクラスターに表示されます。これはエンジンを始動したり、バッテリーチャージャーに接続せずにバッテリーが放電するまで車両を駐車できる日数を示します。

イグニッションのスイッチをオンにする

1. リモコンキーが車内にあることを確認してください。



2. エンジンを始動せずにイグニッションスイッチをオンにするには、ブレーキペダルを踏まずに「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを押します。

- i** 注意 : 車両がアウェイクモードのときは、ブレーキペダルを解放して「START/STOP（始動 / 停止）」ボタンを2回押します。
3. イグニッションスイッチがオンになり、油温計、水温計、燃料計が作動し、セルフテストのためにいくつかの警告灯が点灯します。インストルメントクラスター全体が点灯します。

運転操作装置 始動および走行

インストルメントと警告灯

警告灯は点灯時の色によって分類されます。

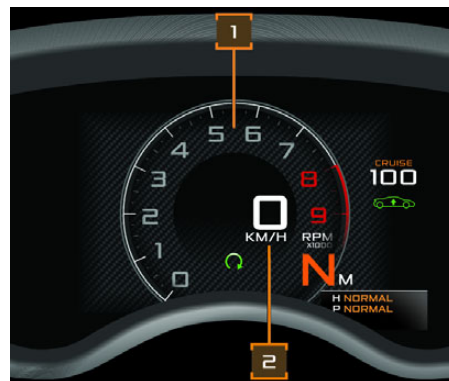
- 赤、オレンジ、黄色 - 故障が検知されたことを示します。赤ランプによって表示された故障は、オレンジや黄色による表示よりも重要度の高い故障です。
- 青、緑 - システムや機能の電源がオンになり動作中であることを示します。

警告灯

	タイヤ空気圧監視システム (TPMS) , 2.34 ページ
	方向指示器, 1.57 ページ
	シートベルト警告灯, 1.43 ページ
	リアフォグランプ, 1.56 ページ
	ハイビームヘッドランプ, 1.55 ページ
	サイドランプ, 1.55 ページ
	補助拘束装置警告灯, 1.46 ページ

	エレクトロニックスタビリティコントロール, 2.31 ページ
	方向指示器, 1.57 ページ
	エンジン警告灯, 2.13 ページ
	アンチロックブレーキシステム状態表示灯, 2.29 ページ
	ブレーキ警告灯, 2.9 ページ
	パーキングブレーキの状態, 2.8 ページ

メインインストルメントの概要



1. タコメーター , 3.2 ページ
2. スピードメーター , 3.3 ページ

運転操作装置

始動および走行

インストルメントクラスター - 左側

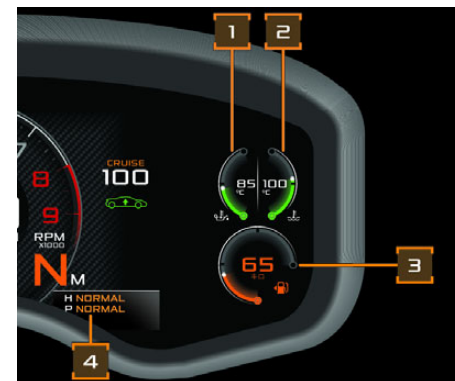


インストルメントクラスターの左側には、ドライバーに対する重要な情報が表示されます。



メニューはコントロールレバーを使って操作します。

インストルメントクラスター - 右側



1. オイル温度, 3.36 ページ
2. 水温, 3.36 ページ
3. 燃料残量および範囲, 3.37 ページ
4. ハンドリングコントロール, 2.22 ページ
パワートレインコントロール, 2.24 ページ

運転操作装置 始動および走行

シームレスシフトギアボックスのギア位置

ギアボックスはフルオートマチックまたはマニュアルモードで動作します。ドライバーがマニュアルモードを選択しない限りオートマチックモードが選択されます。マニュアル/オートマチックモード, 2.18 ページを参照してください。マニュアルモードがアクティブのときは、ギアチェンジはギアシフトパドルを用いて行います。ギアシフトパドル, 2.20 ページを参照してください。



i 注意: ドライブ、ニュートラル、リバースのうちどれが選択されているかを示すため、ボタンの文字が赤く点灯します。

ドライブ

D 7 速前進ギアをすべて利用できます。マニュアルモードが選択されていない限り、ギアチェンジはオートマチックになります。

ドライブを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時や渋滞時の運転操作が楽になります。

ニュートラル

N ギアは入りません。ブレーキを放すと、車両を押したり、けん引したり自由に動かすことができます。ニュートラルの詳しい使用法は回収のためのけん引, 5.45 ページを参照してください。

リバース

R 通常の? 況では、車? が静止しているときはリバースギアを選択します。駐車時にドライブからリバースにすばやく? 更し、再びドライブに? すという操作が必要な場合、6 mph (10 km/h) 以下の速度であれば走行したままリバースまたはドライブにギアチェンジすることができます。



注意: 速度が 6 mph (10 km/h) 以上のときにリバースまたはドライブを選択すると、トランスミッションはセルフプロテクション機能によりニュートラルに入ります。

ニュートラルはどの速度でも「N」ボタンを押すことで選択できます。

リバースを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時の運転操作を楽に行うことができます。

運転操作装置

始動および走行

ギアシフトパドル



シフトアップするには、右パドルを手前に引きします。シフトダウンするには、左パドルを手前に引きします。現在のギア位置がギア位置ディスプレイに表示されます。ギア位置インジケーター、3.35 ページを参照してください。

i 注意: 一体型パドルとセンターピボット構造により、どちらのパドルを使用してもシフトアップ、シフトダウンができます。

上述の方法以外にも、左パドルを押すことによってシフトアップ、右パドルを押すことによってシフトダウンすることができます。

ギアシフトパドルは選択したハンドリングおよびパワートレインプログラムに関係なく動作します。また、ギアチェンジの際にアクセルペダルを離す必要もありません。

! 警告: 安全のため、マニュアルモードの場合に限り、本車両はエンジン回転数をモニターし、必要に応じてオートマチックギアチェンジを行うことがあります。

! 警告: 滑りやすい路面では、エンジンブレーキを作動するためのシフトダウンはしないでください。

i 注意: オートマチックモードでパドルを操作した場合、ギアチェンジをしないまま8秒間が経過するとギアボックスはオートマチックモードに戻ります。

走行中に選択可能な最低ギアにすぐにシフトするには、パドルでダウンシフトを選択して押し続けます。そうすると、最適なギアに達するかパドルを離すまで、低いギアへ順番にシフトしていきます。

車速が6 mph (10 km/h) 以下の場合、またはギアを選択したまま停車した場合、パドルをシフトダウン方向に押し続けるとニュートラルになります。

運転操作装置 始動および走行

パーキングブレーキ

i 注意：急な下り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の方向に向けます。急な上り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の反対方向に向けます。

パーキングブレーキの状態

(P) パーキングブレーキ作動表示灯が点滅しているときは、パーキングブレーキの作動 / 解除がされなかったことを意味します。この問題を解決するには、再度パーキングブレーキの作動 / 解除操作を行ってください。パーキングブレーキの操作，2.8 ページを参照してください。

パーキングブレーキの操作



パーキングブレーキを作動させるには、スイッチを外側に引きます。これで、インストルメントクラスターの赤色パーキングブレーキ作動ステータスランプが点灯します。

i 注意：車両のパーキングブレーキは電子式であり、パーキングブレーキをかけたり外したりするときはスイッチを軽い力で切り替えるだけです。



パーキングブレーキを解除するには、ブレーキペダルを踏み込んだままパーキングブレーキスイッチを内側に押し込みます。これで、インストルメントクラスターの赤色パーキングブレーキ作動ステータスランプが消灯します。

! 警告：パーキングブレーキを手動で解除した場合、車両が動き出すことがあります。

i 注意：パーキングブレーキが手動で解除されない場合、前進および後退ギアを入れて車両を走行させると、以下の条件が満たされた場合に限り、自動的に解除されません。

- 運転席ドアが閉じられている場合
- 運転席シートベルトが締結されている

運転操作装置

始動および走行

-  注意: パーキングブレーキを手動でかけなかった場合、エンジンを切れば自動的に作動します。
-  注意: パーキングブレーキはイグニッションがオンになっていないと解除できません。パーキングブレーキは、車両がスリープモードのときを含め、イグニッションの状態にかかわらず作動させることができます。
-  注意: 車両走行中にフットブレーキが完全に故障した場合でも、パーキングブレーキをかけることにより減速することができます。

ブレーキペダル

-  警告: 運転席のフットウェルには物を置かないでください。フロアマットやカーペットが適切に固定されており、ペダル操作の妨げにならないことを確認してください。
- ペダルの間に物が挟まった場合、ブレーキやアクセルの操作ができず事故につながるおそれがあります。
-  警告: ブレーキシステムはエンジンが回転している間はサーボアシストが働いています。ブレーキはエンジンを停止しても機能しますが、強い力でペダルを踏まないとブレーキが利きません。
-  警告: ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。足を乗せているとブレーキがオーバーヒートして制動力が低下し、事故につながるおそれがあります。
-  警告: 走行中にブレーキ警告灯が点灯した場合は、安全に速やかに停車し、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

ブレーキディスクおよびパッド

-  警告: ブレーキパッドを新品に交換した場合は、なじむまで一定の時間がかかります。交換後 1,000 km (625 マイル) までは急ブレーキが必要になるような走行は避けてください。

ブレーキディスクおよびパッドの摩耗は、運転スタイルや走行条件によって変わります。

ブレーキ警告灯

-  ブレーキ警告灯はイグニッションスイッチをオンにするとシステムテストとして点灯します。それ以外のときにブレーキ警告灯が点灯した場合は故障を示します。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

運転操作装置 始動および走行

エンジンの始動 / 停止

⚠ 警告: 車両が閉じられた場所にあるときは決してエンジンをかけないでください。排気ガスには有害な一酸化炭素が含まれています。排気ガスを吸い込むと意識を失い死に至るおそれがあります。

i 注意: エンジンの始動時にアクセルペダルを踏み込まないでください。

エンジンの始動

1. リモコンキーが車内にあることを確認します。



2. ブレーキペダルを踏み、「START/STOP (始動/停止)」ボタンを押して放すとエンジンが始動します。
3. エンジンがクランキング中に再度「START/STOP (始動 / 停止)」ボタンを押すとクランキングが停止します。

エンジンの停止

⚠ 警告: 本車両のギアボックスにはギアをロックするパーキングポジションがありません。車両が動き出すのを防止する手段はパーキングブレーキのみとなります。

i 注意: エンジンの停止時にアクセルペダルを踏み込まないでください。

高速 / 高負荷走行後はすぐにエンジンスイッチを切らないでください。エンジンが標準動作温度に戻るまで2分間アイドルリングしてください。

i 注意: 急な下り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の方向に向けます。急な上り坂の斜面に駐車する場合は、フロントホイールを縁石の反対方向に向けます。

1. パーキングブレーキスイッチを外側に引いてブレーキをかけます。

i 注意: パーキングブレーキを手動でかけなかった場合、エンジンが停止すると自動的に作動します。自動パーキングブレーキは、運転席ドアを開けたままパーキングブレーキスイッチをオフの位置で押し続けると無効にすることができます。

2. ニュートラルを選択します。

運転操作装置

始動および走行



3. 「START/STOP (始動 / 停止)」ボタンを押します。エンジンが停止し、車両はアクセサリ状態になります。車両の電気の状態, 2.2 ページ を参照してください。イモビライザーがアクティブになります。

i 注意: 「START/STOP (始動 / 停止)」ボタンを 1 秒以上押し続けると車両は短時間アウェイク状態になり、それ以上何もしなければアクセサリ状態に戻ります。車両の電気の状態, 2.2 ページ を参照してください。

エコスタート - ストップシステム

このシステムは燃料消費と排気ガス排出量の削減が可能になる条件の場合、自動的にエンジンを停止し、必要に応じて再び始動させます。

自動的にエンジンを停止させるには、システムが次の条件を満たしている必要があります:

- ドライバーの存在を検出していること
- 走行速度が前回の停止から 6 mph (10 km/h) を超えていること
- エンジンが標準動作温度であること
- 車両バッテリーがフル充電されていること
- エアコンの要求が高すぎないこと
- 通常のパワートレインモードが有効であること

システムの操作



極低速で、ステータスアイコンがインストルメントクラスターに表示されます。

条件を満たしていない場合、アイコンはオレンジ色に点灯し、システムは使用できません。

すべての条件が満たされ、システムが使用可能な場合、アイコンは緑色に点灯します。

ブレーキペダルが踏み込まれた場合、システムは自動的にエンジンを停止し、車両は完全に停止します。

ブレーキペダルが解放されると、エンジンは自動的に再始動します。

運転操作装置 始動および走行

i 注意：エンジン停止中にパーキングブレーキがかかっている場合、ブレーキペダルを解放しても、エンジンは再始動しません。

ブレーキペダルを踏み込み、パーキングブレーキの解除後、ブレーキペダルを解放してオートマチックリスタートを実行します。

i 注意：エンジンは電気、エアコンまたはその他の車両需要を維持するためにブレーキペダルが解放される前に、自動的に再始動することができます。

停止



「エコスタート - ストップオフ」ボタンを押して、システムを停止させます。ボタンのライトが点灯し、インストルメントクラスターのステータスランプが消灯します。

システムを起動するには、もう一度ボタンを押します。

i 注意：エンジンが自動停止したときに「停止」ボタンが押されると、エンジンは再始動します。

i 注意：システムが停止していてもイグニッションをオンにすると、デフォルトで起動します。

走行

発進

! 警告：運転中は決してエンジンを停止しないでください。ステアリングやフットブレーキのアシスト機能が動かなくなります。ステアリングやブレーキの操作に大きな力が必要になるため、車両がコントロール不能になり事故につながるおそれがあります。

i 注意：エンジンが標準運転温度になるまではエンジン回転数をあまり上げないように走行してください。

i 注意：車速が約 9 mph (15 km/h) に達するとドアがロックされます。オートロックはインストルメントクラスターで設定できます。自動ドアロック, 3.23 ページを参照してください。

i 注意：駐車の際に切り返し操作が多い場合、ステアリングアシストは少し硬めに感じる場合があります。これは正常であって、オーバーヒートからステアリングシステムを保護するためです。

運転操作装置

始動および走行



環境：冷機状態から始動した場合、ギアチェンジが行われる回転数が暖機時よりも高くなります。触媒コンバーターが短時間で作動温度に達し、エンジン排出ガスを低減します。

1. エンジンが動作中にブレーキペダルを踏み続けます。
2. ドライブギアまたはリバースギアを選択するか、ギアシフトパドルを用いてシフトアップを行います。詳しい説明はギアシフトパドル，2.20 ページおよびギア位置，2.17 ページを参照してください。
3. ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを解除します。インストルメントクラスターの赤色ステータスランプが消灯します。



警告：パーキングブレーキを手動で解除した場合、車両が動き出すことがあります。



注意：パーキングブレーキが手動で解除されない場合、前進および後退ギアを入れて車両を走行させると、以下の条件が満たされた場合に限り、自動的に解除されます。

- すべてのドアが閉じている
 - 運転席シートベルトが締結されている
4. アクセルペダルを慎重に踏み込みます。

エンジン警告灯



エンジン警告灯はイグニッションスイッチをオンにすると点灯し、故障がなければエンジンを始動するとすぐに消灯します。

走行中にこの警告灯が点灯した場合はエンジンマネジメントの故障が検出され、エンジン性能が低下している可能性があります。安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

フェイルセーフモード

車両またはシステム性能を制限しないと車両にそれ以上の損傷が生じる可能性のある不具合を車両システムが検知すると、フェイルセーフモードが自動的に作動します。このモードで運転する場合は注意が必要です。直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

経済走行

燃費を改善するには、以下のことに気をつけてください。

- 停止した状態から走行を開始するときにはゆっくりと、滑らかに加速してください。
- マニュアルモードではできる限り早めにシフトアップし、エンジンが高回転になるのを避けてください。



シフトアップで最大限の省燃費性能を維持できるときは、ギアシフトインジケーター（GSI）が点灯します。



注意：市場によっては利用可能でない場合があるので、マクラーレン代理店にご相談ください。

- エンジンに高い負荷をかけたり極端に高回転にするのを避けてください。
- 不要時はエアコンのスイッチを切ってください。
- 渋滞しやすい場所の走行は避けてください。
- 全体的な道路や交通状況に合った運転スタイルを身につけてください。アクセルやブレーキをゆっくりと、滑らかに操作できるように時間に余裕を持たせてください。
- 信頼できる燃費追跡ウェブサイトを利用して燃費や燃料使用量を追跡記録してください。

運転操作装置

始動および走行

排気ガス温度監視

車両は常時、排気ガス温度を監視し、触媒コンバーターに過熱により生じる損傷が起こらないようにしています。

過剰な排気ガス温度が検出されると、インストールメントクラスターに警告が表示されます。

このメッセージを確認したら、直ちに車両の速度を落としてください。高いエンジン回転数と高いエンジン負荷（フルスロットル）を伴う車両操作を中断し、排気ガスの温度が下がるのを待ってください。このメッセージは温度が下がるまで点灯を続けます。

排気ガス温度が過剰なレベルのまま下がらないと、別の警告が表示され、フェイルセーフモードが起動します。車両を再度始動するまで、エンジン性能が制限されます。

i 注意：触媒コンバーターの過熱警告は、通常の走行中に表示されることはほとんどなく、極端な運転条件の結果起こります。高い排気ガス温度は例えば、長時間のサーキット走行、長時間高回転を維持し続けること、スロットル操作を急激に何度も変化させることなどによって引き起こされることがあります。

i 注意：高い排気ガス温度は触媒コンバーターに損傷を引き起こす可能性があるため、慎重な運転を行うことで避けなければなりません。

警告が引き続き表示される場合はマクラーレン代理店にご連絡ください。

パーキングセンサー



パーキングセンサーは、低速での運転操作時に障害物があるとドライバーに警告します。このシステムはフロントバンパー内の4個の超音波センサー、リアバンパー内の4個の超音波センサーおよび2個の音響器で構成されています。各音響器はピッチが異なり、障害物が車両のフロント側にあるのかリア側にあるのかを判別できます。

エンジン作動中にドライブが選択されている場合、フロントパーキングセンサーは自動的にオンになります。リアパーキングセンサーは、リバースギアを選択すると自動的に作動します。パーキングセンサーの周囲のランプが赤色で点灯する場合、パーキングセンサーが作動していることを示します。

運転操作装置

始動および走行

フロントバンパーの中央のセンサーの検知範囲は、約 1 m（3 フィート）です。リアバンパーのコーナーセンサーの検知範囲は、約 1.5 m（5 フィート）です。

検知範囲内に障害物があると、断続的なトーンが鳴ります。車両が障害物に近づくと、トーンの周期が短くなります。センサーから障害物までの距離が約 40 cm（1.5 フィート）以下になると、トーンが連続音になります。

 **警告：パーキングセンサーは、子供や動物などの動く物は至近距離まで近づかないと検知することができません。常に警戒を怠らず、必ずミラーを使用し、振り向いて後方を確認しながら操作を行ってください。**

 **注意：パーキングセンサーはあくまでも目安に過ぎず、運転の際にドライバーが障害物を目視確認する代わりとなるものではありません。パーキングセンサーは細い柱や、縁石などの地表近くの小さい障害物など、一部の障害物は検知できません。**

リアパーキングセンサーはリバースギア以外にシフトすると自動的にスイッチがオフになります。車速が 16 mph（26 km/h）を超えてドライブが選択されている場合、フロントパーキングセンサーは自動的にオフになります。ボタンの中央を押して、パーキングセンサーを手動で起動している場合、車速が 12 mph（20 km/h）に減速されると、フロントパーキングセンサーが再び起動されます。

ドライブまたはニュートラルの場合、ボタンの中央を押してパーキングセンサーを手動でオフにすることができます。リバースギアが選択されている場合、パーキングセンサーを手動でオフにすることはできません。手動でオフにすると、ボタンの周りのライトが消灯します。

システムを手動でオフにしても、リバースギアを選択するとフロントとリアのセンサーがオンになり、もう一度ドライブまたはニュートラルを選択するまで解除されません。

故障が検出された場合は長いハイピッチなトーンが鳴ります。センサーに泥や氷、雪などが付着している場合は取り除いてください。問題が解決しない場合はマクラーレン代理店にご連絡ください。

運転操作装置 始動および走行

リアビューカメラ（RVC）



リアビューカメラ（RVC）は、リアバンパーの中央に取り付けられています。この機能をアクティブにすると、ライブビデオフィードがインストルメントクラスターに表示されます。

i 注意：ビデオ画像がぼやけていたり不鮮明な場合は、水で湿らせた柔らかい布でレンズを慎重に清掃してください。

ライブビデオ画像には、色付きのグリッドが表示されます。このグリッドは車両のリアバンパーと障害物の距離を測るためのガイドとして使用できます。

赤色の固定ボックスは、車両後部から 40 cm（1.5 フィート）延長された範囲を示します。

黄色の可動ボックスはステアリングの角度に合わせて湾曲し、車両の現在の進路を示します。

i 注意：リアビューカメラはあくまでも目安に過ぎず、運転の際にドライバーが障害物を目視確認する代わりとなるものではありません。リアビューカメラは、周辺光や気象条件によっては一部の障害物を表示しない場合があります。

i 注意：ステアリング角の障害が発生している場合は、ステアリングガイドグリッドが表示されません。

RVC は、リバースギアを選択すると自動的にアクティブになり、前進ギアを選択してから 10 秒後に自動的にオフになります。また、前進车速が 10 mph（16 km/h）を超えると直ちにオフになります。



ステアリングコラムの左側にあるコントロールレバーを使用して、インストルメントクラスターメニューから RVC を選択すれば、RVC を手動で作動させることができます。

RVC を手動で作動させた場合は、レバーを前方に押しとオフにできます。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

概要

ギアボックスは7速デュアルクラッチシームレスシフトギアボックスを採用し、オートマチックまたはマニュアルモードで動作します。

ドライバーがマニュアルモードを選択しない限りオートマチックモードが選択されます。マニュアル/オートマチックモード, 2.18 ページを参照してください。

オートマチックモードでは、ギアボックスは次の条件に基づき最も適切なギアを選択し、ドライバーの運転スタイルに合わせてシフトポイントを自動的に最適化します。

- パワートレインコントロール, 2.24 ページ
- アクセルペダル位置, 2.18 ページ
- 車速
- ブレーキ踏み

i 注意: エンジンやギアボックスが暖まるまでは、高回転走行や高負荷走行は行わないでください。

滑りやすい路面を走行する際にリアホイールを長時間スピンさせないでください。ドライブトレインが損傷するおそれがあります。

ギア位置



ギア位置ボタンのいずれかを押してください。

i 注意: ドライブ、ニュートラル、リバースのうちどれが選択されているかを示すため、ボタンの文字が赤く点灯します。

ドライブ

 7速前進ギアをすべて利用できます。マニュアルモードが選択されていない限り、ギアチェンジはオートマチックになります。

ドライブを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時や渋滞時の運転操作が楽になります。

ニュートラル

 ギアは入りません。ブレーキを放すと、車両を押したり、けん引したり自由に動かすことができます。ニュートラルの詳しい使用法は 回収のためのけん引, 5.45 ページを参照してください。

リバース

 通常の状況では、車両が静止しているときはリバースギアを選択します。駐車時にドライブからリバースにすばやく変えし、再びドライブに戻すという操作が必要な場合、6 mph (10 km/h) 以下の速度であれば走行したままリバースまたはドライブにギアチェンジすることができます。

i 注意: 速度が 6 mph (10 km/h) 以上のときにリバースまたはドライブを選択すると、トランスミッションはセルフプロテクション機能によりニュートラルに入ります。

ニュートラルはどの速度でも「N」ボタンを押すことで選択できます。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

リバースを選択してブレーキを放すと、車両はアクセルペダルを踏まなくてもゆっくりと動き始めます。これにより、駐車時の運転操作を楽に行うことができます。



選択したギア（マニュアルモード）またはギア位置（オートマチックモード）がインストルメントクラスターに表示されます。

アクセルペダル位置

ドライバーの運転スタイルに応じ、シームレスシフトギアボックスのギアチェンジのパターンが変わります。

アクセルペダルを軽く踏むドライバーの場合は、低めのエンジン回転数でシフトアップが行われます。アクセルペダルを強く踏むドライバーの場合は、高いエンジン回転数でシフトアップが行われます。

キックダウン

キックダウンは自動モードの場合、迅速な加速を達成するよう設計されています。

抵抗が感じられる点からさらにアクセルペダルをいっぱい踏み込むと、ペダルがカチッとなるのが感じられます。ギアボックスが即座に選択可能な最低ギアにシフトダウンし、最大加速が行われます。ペダルから力を抜くとキックダウンが終了し、通常のギアチェンジパターンに戻ります。

注意：ペダルを緩く踏んだ場合でも、車速によってはギアボックスがシフトダウンすることがあります。

マニュアル / オートマチックモード

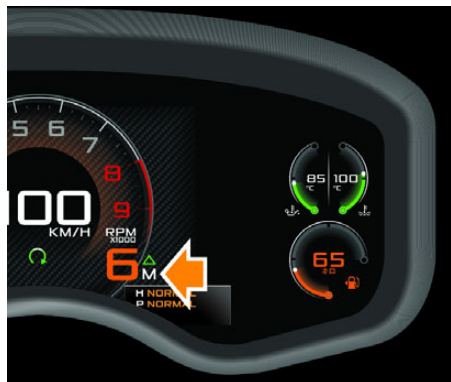


「ACTIVE（アクティブ）」ボタン（1）を押してアクティブダイナミクスパネルをオンにします。

「ACTIVE（アクティブ）」ボタンの周囲のHALOが点灯します。走行モードを切り替えた場合はそれぞれのボタンが点灯します。「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを再度押すことによって、選択した走行モードを随時非アクティブにできます。MANUAL マニュアルモードを選択するには「MANUAL（マニュアル）」ボタン（2）を押します。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス



ギアボックスモードインジケータには、Mと現在選択されているギアが表示されます。すべての前進ギアチェンジは、ギアシフトパドルを使用して行います。ギアシフトパドル, 2.20 ページを参照してください。

音が鳴るシフトインジケータは、最適なパフォーマンスを維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

設定オプションについては、ギアシフトモード (PSC), 3.22 ページを参照してください。



マニュアルモードで省燃費走行時には、シフトアップを行うことで最適な省燃費性能が維持できる場合にギアシフトインジケータ (GSI) が点灯します。要求される加速または原則がより高いギアに合わない場合は、GSI は点灯しません。経済走行, 2.13 ページを参照してください。

i 注意: 通常のパワートレインおよびハンドリングモードでのみ使用することができます。

i 注意: 市場によっては利用可能でない場合がありますので、マクラーレン代理店にご相談ください。

再度「MANUAL (マニュアル)」ボタンを押すとオートマチックモードに戻ります。



ギアボックスモードインジケータに A と表示されます。ギアチェンジはすべて自動的に行われますが、ギアシフトパドルを操作するとギアボックスは一時的にマニュアルモードになります。このモードは、ドライバーがマニュアルギアチェンジを続けている間アクティブになります (8秒以内)。ギアボックスモードインジケータに A/M と表示されます。ギア位置インジケータ, 3.35 ページを参照してください。

i 注意: マニュアルギアチェンジを行わずに 8 秒間が経過すると、ギアボックスはオートマチックモードに戻ります。

運転操作装置

シームレスシフトギアボックス

ギアシフトパドル



シフトアップするには、右パドルを手前に引きします。シフトダウンするには、左パドルを手前に引きします。現在のギア位置がギア位置ディスプレイに表示されます。ギア位置インジケター、3.35 ページを参照してください。

i 注意: 一体型パドルとセンターピボット構造により、どちらのパドルを使用してもシフトアップ、シフトダウンができます。

上述の方法以外にも、左パドルを押すことによってシフトアップ、右パドルを押すことによってシフトダウンすることができます。

ギアシフトパドルは選択したハンドリングおよびパワートレインプログラムに関係なく動作します。また、ギアチェンジの際にアクセルペダルを離す必要もありません。

! 警告: 安全のため、マニュアルモードの場合に限り、本車両はエンジン回転数をモニターし、必要に応じてオートマチックギアチェンジを行うことがあります。

! 警告: 滑りやすい路面では、エンジンブレーキを作動するためのシフトダウンはしないでください。

i 注意: オートマチックモードでパドルを操作した場合、ギアチェンジをしないまま8秒間が経過するとギアボックスはオートマチックモードに戻ります。

走行中に選択可能な最低ギアにすぐにシフトするには、パドルでダウンシフトを選択して押し続けます。そうすると、最適なギアに達するかパドルを離すまで、低いギアへ順番にシフトしていきます。

車速が6 mph (10 km/h) 以下の場合、またはギアを選択したまま停車した場合、パドルをシフトダウン方向に押し続けるとニュートラルになります。

車速が6 mph (10 km/h) 以下のときは、トンネルコンソールのニュートラルボタンを押すことでもニュートラルにすることができます。

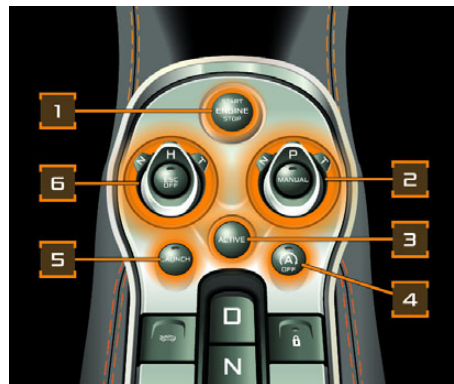
運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

アクティブダイナミクスコントロール

アクティブダイナミクスパネルのハンドリングコントロールスイッチとパワートレインコントロールスイッチを使用することにより、車両のハンドリング特性やパフォーマンス特性を調節することができます。

アクティブダイナミクスパネルには以下のボタンがあり、エンジンが動作中かイグニッションスイッチがオンになっている場合にのみ機能します。



1. エンジン「START/STOP（始動 / 停止）」ボタン。車両の電気的狀態，2.2 ページを参照してください。
2. パワートレインコントロール，2.24 ページ
マニュアル / オートマチックモード，2.18 ページ

3. 「ACTIVE（アクティブ）」ボタン，2.21 ページ
4. エコスタート - ストップシステム，2.11 ページ
5. 発進コントロール，2.26 ページ
6. ハンドリングコントロール，2.22 ページ
エレクトロニックスタビリティコントロール，2.31 ページ

「ACTIVE（アクティブ）」ボタン



「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを押して、アクティブダイナミクスパネルをオンにします。これにより起動、ハンドリングとパワートレインコントロールが有効になります。「ACTIVE（アクティブ）」ボタン、ハンドリングスイッチ、パワートレインスイッチが点灯します。

i 注意：アクティブダイナミクスパネルがオンの場合、現在のハンドリングとパワートレインモードはインストールクラスターにオレンジ色で表示されます。パネルがオフの場合、ハンドリングとパワートレインモードは白色で表示されます。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

i 注意: イグニッションスイッチをオフにすると、アクティブダイナミクスパネルのボタンもオフになります。ハンドリングとパワートレインコントロールの設定は保存されますが、コントロールを操作するには、次にイグニッションスイッチをオンにしたときに再度「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを押す必要があります。ボタンを押さなかった場合は、オートマチックギアチェンジに戻ります。

ハンドリングコントロール

ハンドリングコントロールスイッチは、次の車両特性に対して効果を発揮します。

- アダプティブダンピング
- ESC 設定

設定の選択



1. 「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを押してアクティブダイナミクスパネルのスイッチをオンにします。



2. ハンドリングコントロールを回して、以下の設定のいずれかを選択します。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

設定

N	ノーマル	最も柔らかいサスペンション設定となり、コーナリング時の優れたボディコントロールを保ちながらソフトな乗り心地を実現します。
S	スポーツ	固めのサスペンションとなり、安定感のある乗り心地と強化されたハンドリング特性を実現します。
T	トラック	最も固いサスペンションとなり、レーシングカー並みのハンドリングと走行特性を実現します。 エレクトロニックスタビリティコントロール警告灯が常時点灯します。

i 注意: インストルメントクラスターに表示される情報は、選択したハンドリングモードに応じて変化します。ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ, 3.35 ページを参照してください。

選択したモードは選択が変更、イグニッションがオフ、またはアクティブダイナミクスパネルが解除されるまで作動状態になります。

i 注意: 選択時に以下の条件がすべて満たされていないと、条件が満たされるまでそのモードになりません。

- 不具合条件が存在していないこと
- エレクトロニックスタビリティコントロールなど、車両のダイナミクス機能またはスタビリティ機能がアクティブになっていない
- 車両が走行中の場合は、ステアリングホイールが直進位置になっており、左右に旋回していない

アクティブダイナミクスパネルがオフの場合は、インストルメントクラスターのハンドリング表示に「Normal（標準）」と表示されます。詳しくは、ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ, 3.35 ページを参照してください。

i 注意: トラックハンドリングモードでも、エレクトロニックスタビリティコントロールシステムは動作しています。詳しい説明はエレクトロニックスタビリティコントロール, 2.31 ページを参照してください。

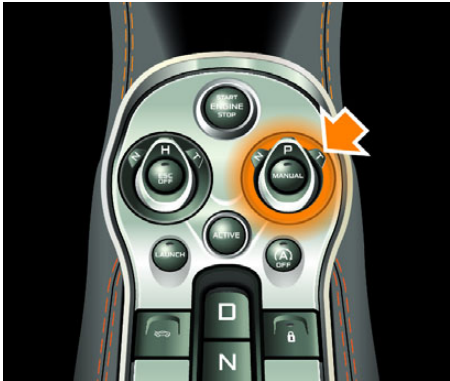
運転操作装置
ハンドリングとパワートレインコントロール

パワートレインコントロール

設定の選択



1. 「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを押してアクティブダイナミクスパネルのスイッチをオンにします。



2. パワートレインコントロールを回して、以下の設定のいずれかを選択します。

設定

N	ノーマル	ギアチェンジは車両の本来のパフォーマンスを損なうことなく、経済的に最適な方法で行われます。
S	スポーツ	ギアチェンジは高めのエンジン回転数で、シフトにかかる時間は短縮され、さらにシリンダーカットで向上されています。シリンダーカット, 6.21 ページを参照してください。
T	トラック	最も鋭敏なギアチェンジパターンです。ギアチェンジはスロットルレスポンスに応じて瞬時に行われ、シリンダーカットと慣性ブッシュによりさらに向上します。シリンダーカット, 6.21 ページと慣性ブッシュ, 6.21 ページを参照してください。

i 注意: インstrumentクラスターに表示される情報は、選択したパワートレインモードに応じて変化します。ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ, 3.35 ページを参照してください。

上記のギアチェンジパターンは、オートマチックモードを選択したとき以外は関係ありません。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

選択したモードは選択が変更、イグニッションがオフ、またはアクティブダイナミクスパネルが解除されるまで作動状態になります。

アクティブダイナミクスパネルがオフの場合は、インストルメントクラスターのパワートレイン表示に「Normal（標準）」と表示されます。詳しくは、ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ，3.35 ページを参照してください。

i 注意：公道でトラック設定を使用しないでください。トラック設定は、あくまでもハイパフォーマンスサーキット / オフロードのみでの使用を目的としています。

エコノミーモード



車両がいずれかのパワートレイン設定でオートマチックギアシフトを選択しているときは、穏やかに走行している限りトランスミッションは経済的なシフトパターンで動作します。これは、車速、アクセル、ブレーキおよび路面の勾配に基づいて決定されます。

現行のアクティブなシフトパターンに応じて、エコノミーモードが作動中には「NORMAL（標準）」、「SPORT（スポーツ）」または「TRACK（トラック）」の表示が緑色に変わります。その他の燃費節約方法についての情報は経済走行，2.13 ページを参照してください。

i 注意：アクティブダイナミクスパネルがオンの場合、現在のハンドリングとパワートレインモードはインストルメントクラスターにオレンジ色で表示されます。パネルがオフの場合、ハンドリングとパワートレインモードは白色で表示されます。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール

発進コントロール

発進コントロールは、停止状態から発進する際に最大の加速力が得られるように設計されています。

⚠ 警告: サーキット以外では発進コントロールを起動しないでください。発進コントロールを起動する前に、すべてのドア、ラゲッジルーム、サービスカバーが閉じられていること、周囲の状況が最大加速運転を行うために支障がないことを確認してください。

i 注意: 発進コントロールはオートマチックモード、マニュアルモードのいずれでも、またハンドリングモードやパワートレインモードにかかわらず動作しますが、アクティブダイナミクスパネルがアクティブになっていないと使用できません。

i 注意: 発進手順はどの時点でも以下のいずれかの操作によって中止できます。

- パーキングブレーキをかける
- 「ACTIVE (アクティブ)」ボタンを押して車両のダイナミクスパネルのスイッチをオフにする
- 発進ボタンを押して発進コントロールのスイッチをオフにする。

i 注意: 故障があった場合や発進手順を正しく実行しなかった場合は、インストールメントクラスターに「発進モード使用不可 - オーナーズマニュアルを参照」とい

う警告メッセージが表示されます。発進手順を繰り返し、正しく行われていることを確認してください。警告メッセージが消えない場合は、マクラーレン代理店にご連絡ください。

i 注意: 発進モードは以下の条件を満たしている場合にのみ使用できます。

- 両方のドアが閉まっている
- 通常車高およびノーズリフト機能非アクティブ
- 大気高度がエンジンパフォーマンスに悪影響を及ぼさない。
- 標準運転温度でのエンジンクーラント

発進コントロール手順

1. ステアリングホイールが直進位置になっていることを確認します。
2. ブレーキペダルを左足でしっかりと踏み、ローギアを選択します。



3. 「ACTIVE (アクティブ)」ボタンを押してアクティブダイナミクスパネルのスイッチをオンにします。

運転操作装置

ハンドリングとパワートレインコントロール



4. 「LAUNCH（発進）」ボタンを押します。

i 注意: ギアボックスモードインジケータでLが点滅します。詳しくは、マニュアル/オートマチックモード, 2.18 ページを参照してください。また、「発進モードアクティブ-フルスロットル待ち」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

5. 左足でブレーキペダルを踏みながら、右足でアクセルペダルをいっばいに踏み込みます。エンジン回転数が 3,000 rpm まで上昇します。

i 注意: 発進コントロールを中止するには、アクセルペダルを踏む前にブレーキペダルを解放するか、発進コントロールが非アクティブになるまで約 100 秒間待って

ください。「発進中止」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

i 注意: 「発進モード作動中-ブースト準備中」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。十分に昇圧したら、「発進モード作動中-ブースト準備完了」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

6. ブレーキペダルから左足を離すと、最大加速が得られるように発進コントロールシステムが発進コントロールを実行します。

i 注意: 発進コントロールを中止するにはアクセルペダルを離すか、発進コントロールが非アクティブになるまで約 5~10 秒間待ってください。発進が中止されたらアクセルペダルを離し、再度アクセルを踏んで走行を開始します。「発進中止」というメッセージがインストルメントクラスターに表示されます。

7. 発進コントロールは中止するまで手順を正しく実行することで動作します。

i 注意: 発進コントロール時にはオートマチックでギアシフトが行われ、トラクションが最適化されます。この操作は発進コントロールが中止されるまで続行されます。発進コントロールを中止するにはアクセルペダルを離すか、ブレーキをかけるか、ギアシフトパドルのいずれかを操作します。

運転操作装置

走行安全システム

一般

本章では以下の安全システムについて説明します。

- アンチロックブレーキシステム
- ブレーキアシストシステム
- ブレーキディスクワイピング
- ヒルホールド
- ブレーキステア
- 電子制御ブレーキ予備充填
- エレクトロニックスタビリティコントロール



警告：スピードを出し過ぎると、特にカーブや、濡れた、または凍結した路面の走行時に事故が発生する危険性が高くなります。先行車両との間には常に安全な車間距離を保ってください。

本章で説明する安全運転システムは物理法則を覆すものではありません。

必ず、道路の状況や天候条件に合わせた運転を行ってください。また、通行者や路上の物体から十分な距離を保ってください。



注意：冬季の条件下でアンチロックブレーキシステム、ブレーキアシストシステム、エレクトロニックスタビリティコントロールの効果を最大限に発揮させるためには、ウィンタータイヤやスノーソックスの使用が必要となることがあります。

アンチロックブレーキシステム

アンチロックブレーキシステムは、ブレーキングによるホイールのロックを防止します。これによって、ブレーキをかけながら車両を操舵することが可能になります。

アンチロックブレーキシステムは、路面の状況にかかわらず、車速が約 5 mph (8 km/h) 以上のときに作動します。滑りやすい路面ではブレーキを穏やかに踏んだときにも効果を発揮します。



警告：ポンピングブレーキは行わないでください。ブレーキペダルをしっかりと、一定の力で踏んでください。ポンピングブレーキを行うとブレーキの効果が低減します。

ブレーキをかけた際にアンチロックブレーキシステムが作動すると、ブレーキペダルから振動が伝わります。

アンチロックブレーキシステムが作動した場合は、ブレーキが必要なくなるまでブレーキペダルを踏み続けてください。



警告：必ず、周囲の道路状況や天候条件に合わせた運転を行ってください。通行者や路上の物体から十分な距離を保ってください。

運転操作装置

走行安全システム

アンチロックブレーキシステム状態表示灯



システムが故障した場合は状態表示灯が点灯します。車両を運転しないでください。速やかにマクラレーン代理店にご連絡ください。



警告: アンチロックブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキアシストシステムやエレクトロニクススタビリティコントロールも非アクティブになります。

アンチロックブレーキシステムが故障した場合は、ブレーキをかけた際にホイールがロックするおそれがあります。これによって停止距離が長くなり、またハンドル操作が利かなくなる可能性があります。

ブレーキアシストシステム

ブレーキアシストシステムは急ブレーキを踏んだ状況で作動します。急ブレーキを踏むと、ブレーキアシストシステムによりブレーキの踏力が自動的に増大し、停止距離が短縮されます。

非常ブレーキが必要なくなるまで、ブレーキペダルをしっかりと踏み続けてください。アンチロックブレーキシステムがホイールのロックを防止します。

ブレーキペダルを離すとブレーキは通常どおり作動します。ブレーキアシストシステムは非アクティブになります。



警告: ブレーキアシストシステムが故障した場合でもブレーキは作動します。ただし、制動力が自動的に増大されることはないため、停止距離が長くなる可能性があります。

ブレーキディスクワイピング

ブレーキディスクワイピングは、フロントウィンドウワイパーのスイッチをオンにすると自動的に作動します。この機能は強雨時にブレーキディスクに水分が付着するのを防止し、ブレーキ性能を改善します。

運転操作装置

走行安全システム

ヒルホールドコントロール

坂道で車両を停止するためにブレーキペダルが踏まれた場合、この機能はペダルを離した後、2秒間ブレーキをかけ続け、スムーズな発進をアシストします。

ブレーキステア

ブレーキステアはトルクベクトリングディファレンシャル効果を実現しますが、軽量化と応答速度の改善のためにブレーキシステムに組み込まれています。

トルクベクトリングによって、ディファレンシャルがリアの各ホイールに伝達する力の量を変化させ、最適な安定性とトラクションを実現します。

コーナリング時に車両がアンダーステアになりつつあることを検知すると、システムはリアの内輪に軽くブレーキをかけます。これによって車両のヨーレートが増大し、車両のアンダーステアに対する抵抗が増します。横方向のGも増大し、ハンドリング特性が向上します。

ドライバーがコーナーからの立ち上がりでスロットルを開け過ぎると、リアの内輪の速度が増し、ブレーキステアが作動しなければ車両が不安定になるおそれがあります。この状況でも、ブレーキステアが再びリアホイール内側に軽くブレーキをかけることによって、トラクションと走行安定性を回復します。

電子制御ブレーキ予備充填

アクセルペダルが急に離された場合、電子ブレーキ予備充填機能が即座にブレーキパッドをディスクに触れさせ、素早いブレーキングを可能にします。

運転操作装置

走行安全システム

エレクトロニックスタビリティコントロール

エレクトロニックスタビリティコントロール (ESC) は、走行安定性およびタイヤと路面間のトラクションを監視します。

エレクトロニックスタビリティコントロールは、ホイールがスピンを始めるか車両が滑り始めるとこれを検知し、個々のホイールにブレーキをかけるとともにエンジン出力を制限して車両を安定させます。また、濡れた路面や滑りやすい路面での発進の際にもアシストを行い、ブレーキング時の車両の安定性を向上させます。

 **注意:** エレクトロニックスタビリティコントロールは推奨指定タイヤの使用時に限り正常に作動します。

エレクトロニックスタビリティコントロールはエンジンを始動するとすぐ自動的にアクティブになります。

 **警告:** エレクトロニックスタビリティコントロール警告が点灯した場合、エレクトロニックスタビリティコントロールを解除しないでください。道路や交通状況に合わせた運転を行ってください。

トラクションコントロールシステム

トラクションコントロールシステムはエレクトロニックスタビリティコントロールに欠かさない部分です。

トラクションコントロールシステムはホイールのスピンを防止するためにトルクを低減します。ホイールのスピンを止めるためにさらに介入が必要な場合はリアホイールに個別にブレーキがかかります。トラクションコントロールシステムは個々の駆動輪にブレーキをかけてスピンを防止します。これにより、滑りやすい路面でも加速が可能になります。

 **警告:** スピードを出し過ぎている場合、トラクションコントロールシステムが事故の危険性を低減することはできません。トラクションコントロールシステムは物理法則を覆すものではありません。

エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにする

 **警告:** エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにすると、車両がスリップする危険性が高まります。道路や交通状況に合わせた運転を行ってください。

 **警告:** サーキット走行時、周囲の状況が適切である場合をのぞいて、エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにしないでください。

 **注意:** エレクトロニックスタビリティコントロールを非アクティブにすると、以下の状態が発生します。

- 「ESC OFF」警告灯の点灯
- 「ESC OFF」ボタンの点灯
- エレクトロニックスタビリティコントロールによる走行安定性の改善が行われません
- エンジンのトルク制限解除および駆動輪のスピン
- アンチロックブレーキシステムはアクティブのままです

運転操作装置 走行安全システム

ダイナミック ESC モード

エレクトロニックスタビリティコントロールのレベルは、現在アクティブなハンドリングモードに対応し、ドライバーの要求に合わせてさまざまなダイナミックモードに調節することができます。

エレクトロニックスタビリティコントロールのダイナミックモードは車速に関わらず選択できます。

スポーツハンドリングモードまたはトラックハンドリングモードがアクティブであることを確認してください（ハンドリングコントロール, 2.22 ページ参照）。



スポーツダイナミックモード

1. スポーツハンドリングモードを選択します。
エレクトロニックスタビリティコントロールはデフォルトでオンになっています。
2. 「ESC OFF」 ボタンを短く押して**スポーツダイナミックモード**をアクティブにします。
このモードでは、デフォルトの ESC オンモードに比べてよりダイナミックな自由度が得られます。
「ESC DYN」 がインストルメントクラスターに表示されます。

トラックダイナミックモード

1. トラックハンドリングモードを選択します。
エレクトロニックスタビリティコントロールはデフォルトでオンになっています。
2. 「ESC OFF」 ボタンを短く押して、**トラックダイナミックモード**をアクティブにします。このモードでは、**スポーツダイナミックモード**よりもさらにダイナミックな自由度が得られます。
「ESC DYN」 がインストルメントクラスターに表示されます。

ESC オフ

1. スポーツハンドリングモードまたはトラックハンドリングモードを選択します。
2. ダイナミック ESC モードになっていない場合、「ESC OFF」 ボタンを短く押して、ダイナミック ESC モードをアクティブにします。

3. 「ESC OFF」 ボタンを 2 秒間押し続け、その後 5 秒以内にもう一度押すと、エレクトロニックスタビリティコントロールが非アクティブになります。

インストルメントクラスターに「ESC OFF」と表示され、「ESC OFF」ボタンのランプが点灯します。

運転操作装置 走行安全システム

エレクトロニックスタビリティコントロールを再びアクティブにする

エレクトロニックスタビリティコントロールを再びアクティブにすると、インストルメントクラスターにあるエレクトロニックスタビリティコントロールオフ警告灯が消灯します。

i 注意: エレクトロニックスタビリティコントロールはイグニッションスイッチをオフにし、次にオンにすると再び自動的にアクティブになります。

再アクティブ手順



エレクトロニックスタビリティコントロールを再びアクティブにするには、以下のいずれかを実行します。

- 「ESC OFF」ボタンを短く押して、ボタンのランプを消灯させます。
- ハンドリングコントロールの設定をノーマルに変更します。
- イグニッションスイッチをオフにし、再びオンにします。

運転操作装置 走行安全システム

タイヤ空気圧監視システム (TPMS)

寒冷時に走行する場合は必ず各タイヤを点検し、車両に貼付されたステッカーもしくはタイヤ空気圧ラベルに記載された車両メーカーの推奨空気圧になるように調整する必要があります。(車両のタイヤのサイズが車両のステッカーもしくは空気圧ラベルに記載されたサイズと異なる場合は、ご自分で適切な空気圧を判断する必要があります。)

特定の状況では、空気漏れではない場合でも、タイヤ空気圧監視システム (TPMS) の圧力警告が表示される可能性があります。これは、タイヤ空気圧を設定した場所と車両を走行させる場所との温度差に原因がある場合があります。例えば、エアコンが作動している場所または暑い車庫で空気圧を設定してから外を走行すると、走行開始からしばらくしてタイヤ空気圧警告が表示されることがあります。外気温が極度に変動した場合、または季節的な温度変化によって、警告が表示されることもあります。

 **警告: タイヤ空気圧の警告を無視しないでください。すぐにタイヤ空気圧を点検し、必要場合は McLaren 代理店にお問い合わせください。**

タイヤ空気圧監視システムの概要



タイヤ空気圧監視システムは、タイヤの空気圧が低下したときや、タイヤ温度が許容水準を超えたときに警告を発します。

このシステムは各タイヤバルブに配されたセンサーと車内に配されたレシーバを使用し、タイヤの空気圧と温度を監視します。センサーとレシーバ間の通信は無線周波 (RF) 信号によって行います。

 **注意:** タイヤ空気圧監視システムは、車内または車両の近くで無線送信機 (無線式ヘッドホン、トランシーバーなど) を使用すると干渉を受けることがあります。

 **注意:** タイヤ空気圧監視システムは、車両が 6 mph (10 km/h) を超えて走行していると送信を開始します。この情報は最大 2 分遅延してインストルメントクラスターに表示されます。

タイヤ空気圧監視システムの動作

 タイヤ空気圧の低下が検知されると、インストルメントクラスターに関連するエラーメッセージが表示されるとともに、タイヤ空気圧監視システム警告灯が点灯します。

速やかに車両を停止し、すべてのタイヤを点検し、推奨空気圧まで空気を入れてください。タイヤ空気圧, 5.36 ページを参照してください。この警告灯は、タイヤの空気圧を適正な空気圧にすると消灯します。

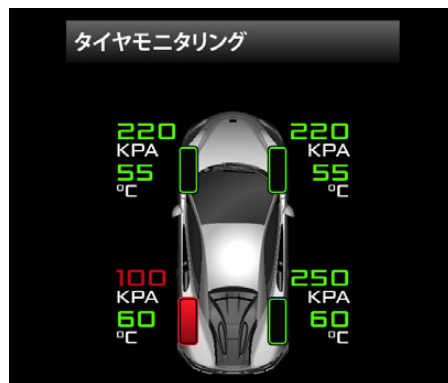
運転操作装置 走行安全システム

極端に空気圧が不足したタイヤで走行を続けるとタイヤがオーバーヒートし、タイヤの破損につながります。空気圧不足は燃費を悪くし、タイヤトレッドの寿命を短縮させ、車両のハンドリングや停止性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

警告: TPMS はタイヤの適切なメンテナンスに取って代わるものではありません。空気圧不足が TPMS 空気圧不足警告灯を点灯させるほどではない場合であっても、適正な空気圧を維持するのはドライバーの責任です。

タイヤはすべて、冷えている間に毎週点検し、タイヤ空気圧ラベルに記載の推奨空気圧になるように調整する必要があります。

インストルメントクラスターの「車両情報」画面に移動して、現在のタイヤ空気圧を表示します。車両情報, 3.9 ページを参照してください。



このディスプレイには、4本のタイヤそれぞれの空気圧が表示されます。空気圧の値が緑色で表示されている場合は何もする必要はありません。赤字で表示されている場合はすぐ、該当するタイヤが適正な空気圧になるまで空気を入れてください。

タイヤ空気圧の減少の考えられる原因に関してタイヤを点検してください。

警告: インストルメントクラスターに表示されるタイヤの空気圧は、圧力計で計測するよりも正確です。タイヤ空気圧監視システムは、タイヤの空気圧の手動による点検や、摩耗や損傷の点検の代わりとなるものではありません。このシステム

は空気圧不足を警告するためのものであり、タイヤの空気を入れるものではありません。

タイヤ空気圧監視システムにはタイヤの損傷を警告する機能はありません。タイヤの状態を定期的に点検してください。

警告: 頻繁に空気圧不足警告が発生する場合は、マクラーレン代理店にタイヤの点検を依頼してください。空気圧が不足したタイヤで走行を続けるとタイヤがオーバーヒートし、タイヤの破損につながります。

環境: タイヤの空気圧不足は燃費を悪化し、タイヤトレッドの寿命を短縮させ、車両のハンドリングやブレーキ性能に悪影響を及ぼす可能性があります。

環境: 少なくとも週に1回はタイヤ空気圧を点検してください。

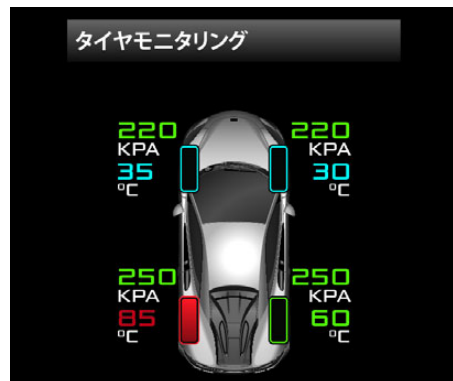
タイヤ温度監視システムの動作

タイヤ温度の上昇が検知されると、タイヤ温度監視システムがインストルメントクラスターにエラーメッセージを表示します。

運転操作装置

走行安全システム

インストルメントクラスターの「車両情報」画面に移動して、現在のタイヤ温度を表示します。車両情報, 3.9 ページを参照してください。



このディスプレイには、4本のタイヤそれぞれの現在の温度が表示されます。温度が青色で表示された場合、タイヤはまだ最適な動作温度に達していません。温度が緑色で表示された場合、何もする必要はありません。赤色で表示された場合、タイヤの安全な動作温度を超えています。安全な温度になるまで、すなわち温度が緑色で表示されるようになるまで減速するか車両を停止してください。

タイヤの温度の上昇の考えられる原因に関してタイヤを点検してください。

運転操作装置

クルーズコントロール

概要

警告: クルーズコントロールをアクティブにしたときは道路や交通状況に特に注意し、常に周囲の状況に対し安全な速度で走行してください。

ワインディングロードや滑りやすい路面、あるいは霧や強雨、降雪時など視界が悪い状況では決してクルーズコントロールを使用しないでください。

クルーズコントロールを使用すると、ドライバーはアクセルペダルを使用せずに一定の速度を維持することができます。これは、一定の速度を長時間維持できる高速道路走行時に便利な機能です。



クルーズコントロール機能はすべて、ステアリングコラムの右側にあるクルーズコントロールレバーで操作します。

クルーズコントロールの使用



クルーズコントロールをアクティブにするには、設定したい速度まで加速してレバーを短く上に押します。設定された速度がインストルメントクラスターに表示されます。

i 注意 : クルーズコントロールは車速が 20 mph (30 km/h) を超えないと作動しません。

アクセルペダルを踏むことにより、随時速度を上げることができます。アクセルペダルを離すと、車両はクルーズ速度に戻ります。

運転操作装置

クルーズコントロール

⚠ 警告: クルーズコントロールを使用していることを常に意識し、長時間クルーズコントロールの設定速度を超えて走行しないでください。この状況でアクセルペダルを離した場合、予想したペースで車両が減速しないことがあります。

クルーズコントロールの取り消し



クルーズコントロールレバーを短く奥に押します。

クルーズコントロールがキャンセルされます。インストルメントクラスターのインジケータは消灯しますが、直前に設定していた速度が保存されます。

i 注意: 保存されている前回の速度は、エンジンスイッチをオフにするとクリアされます。

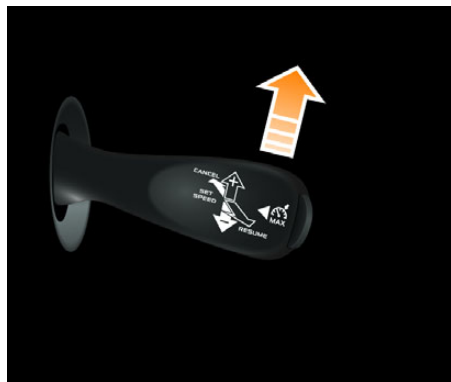
また、フットブレーキを踏んだ場合やニュートラルを選択した場合、あるいはアクティブスピードリミッターを選択した場合にもクルーズコントロールがキャンセルされます。

i 注意: エレクトロニックスタビリティコントロールがホイールスピンまたは車両のスリップを検知した場合、またはエレクトロニックスタビリティコントロールのスイッチをオフにした場合、クルーズコントロールは自動的に取り消されます。

運転操作装置

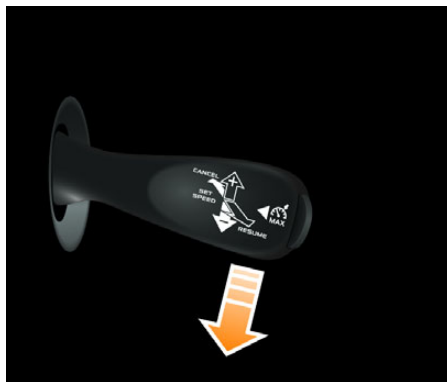
クルーズコントロール

クルーズ速度を上げる



- レバーを短く上に押すと、車速が 1 mph (1 km/h) 刻みで上がります (選択した単位によります。距離表示単位, 3.16 ページを参照してください)。
- または、レバーを上押し続け、設定したい速度に達したらレバーを離します。
- または、新たに設定したい速度まで加速し、レバーを上押しします。

クルーズ速度を下げる



- レバーを短く下に押すと、車速が 1 mph (1 km/h) 刻みで下がります (選択した単位によります。距離表示単位, 3.16 ページを参照してください)。
- または、レバーを下押し続けると車両が減速するので、設定したい速度に達したらレバーを離します。

i 注意: クルーズコントロールレバーを使用して減速した場合、減速を早めるためにギアボックスがシフトダウンする場合があります。

ギアチェンジパドルを使用してシフトダウンした場合は、クルーズコントロールは停止しません。

運転操作装置

クルーズコントロール

保存した速度の呼び出し



警告：保存した速度は、周囲の道路や交通状況に合わない限り呼び出さないでください。急加速は危険です。



クルーズコントロールレバーを手前に軽く引きます。

クルーズコントロールは保存した前回の速度に車速を調整します。

運転操作装置

アクティブスピードリミッター (ASL)

速度上限の設定

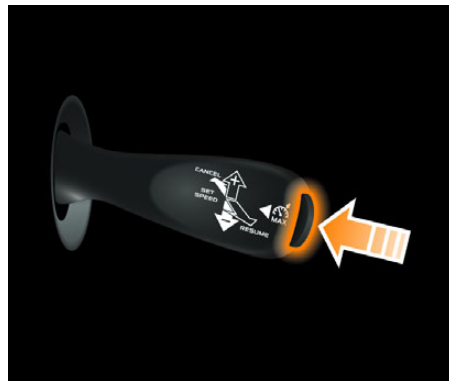
 **警告:** 速度制限を適切に順守することはドライバーの責務です。

 **警告:** ASL 機能は急な下り坂など、一定の状況下においては車両が速度上限を超えることを許容することがあります。

 **注意:** 車両が停止しているときでも ASL をアクティブにすることができます。速度上限はデフォルトの速度である 20 mph (30 km/h) に設定されます。

ドライバーは ASL コントロールから速度上限を設定することができます。

速度の選択



1. クルーズコントロールレバー端部のボタンを押して ASL モードを選択します。
2. 車両を最大許容速度まで加速または減速します。
3. レバーを短く上に押し、設定する ASL 速度上限を選択します。



4. 速度上限がインストルメントクラスターに表示されます。

 **注意:** スロットルペダルを所定の位置以上に踏み込むことで、ASL をオーバーライドできます。

運転操作装置

慣らし運転

慣らし運転

新車時、または以下のいずれかの部品を交換したときは、以下の説明に従って慣らし運転を行ってください。

エンジンおよびギアボックス

625 マイル (1,000 km) 走行まで：

- 様々な道路とエンジン回転数で走行してください。
- 道路の制限速度の範囲内で、もしくは 150 mph (240 km/h) 以下で走行してください。
- レーストラックでの走行禁止
- エンジンに過剰な負荷をかけないでください（フルスロットルでの走行）。
- 2,000 rpm 未満のエンジン回転数での走行は避けてください。
- 一定の速度や負荷で長時間走行することは避けてください。
- キックダウンは使用しないでください。
- シフトダウンによって強いエンジンブレーキをかけないでください。
- 高速走行や高負荷走行後は 2 分以上経過するまでエンジンを停止しないでください。
- 10 分以上エンジンをアイドリングしないでください。

625 マイル (1,000 km) の慣らし運転期間が終了したら、徐々にフルパフォーマンスで使用するようになります。

 **注意：**慣らし運転中にエンジンやギアボックスの使用制限を守らない場合、早期摩耗や損傷が発生する可能性があります。

 **注意：**慣らし運転に関する説明は、エンジンまたはトランスミッションの交換後の最初の 1,000 km (625 マイル) にも適用されます。

 **環境：**この助言は燃費の向上にも役立つものであり、慣らし運転後の通常の運転スタイルにも取り入れることをお勧めします。

ブレーキ

新しいブレーキには、初期のなじみ期間が必要です。最初の 1,000 km (625 マイル) までは急ブレーキを避けてください。

標準 / 道路での使用

- 高回転および高負荷走行を行う前にエンジンを暖機してください。エンジンが完全に動作温度に達するまではエンジン回転数が 5,000 rpm を超えないようにしてください。
- 高回転/高負荷走行後は、2 分以上経過するまでエンジンを停止しないでください。
- 10 分以上エンジンをアイドリングしないでください。

運転操作装置 慣らし運転

サーキットでの使用

 注意: 慣らし運転中にサーキット走行は行わないでください。

サーキット走行を行う場合は、事前にマクラーレン代理店にご相談ください。マクラーレンでは、サーキット走行の前後に車両を点検に出すよう推奨しています。

運転操作装置 給油

燃料の給油

 **警告:** 燃料は高い引火性があります。燃料を取り扱う際には火気、裸火、喫煙および携帯電話の使用は禁止されています。給油の前にエンジンを停止してください。

 **警告:** 燃料および気化した燃料は、健康を害するおそれがあります。気化した燃料を吸い込んだり、燃料が皮膚や衣服に付着したりしないように注意してください。

フューエルフィラーフラップは左側リアにあります。車両のロック、ロック解除に連動して自動的にロックまたはロック解除されます。

 **注意:** 車両がロックされているときに給油口フラップを無理に開けようとしないでください。フラップやロックメカニズムが損傷するおそれがあります。

 **注意:** 給油口フラップはエンジンを停止しないとロック解除されません。

ガソリンスタンドの給油機による給油

1. エンジンを停止します。



2. フューエルフィラーフラップの後端を押します。ラッチが解除されます。

3. フラップを開けます。

 **注意:** この車には給油口キャップはありません。

4. 給油口にノズルを挿入して給油します。推奨燃料については推奨燃料, 2.46 ページを参照してください。

5. ポンプのノズルがオフになった後は、タンクへの給油を続けしないでください。

6. ノズルを取り外します。

7. フューエルフィラーフラップを閉じます。ラッチが掛かる音がします。

運転操作装置 給油

燃料フィラーパイプを使用した給油

i 注意：燃料フィラーパイプはガソリンスタンドの給油機以外から燃料タンクに給油する場合にのみ使用してください。

1. エンジンを停止します。



2. フューエルフィラーフラップの後端を押します。ラッチが解除されます。
3. フラップを開けます。

i 注意：この車には給油口キャップはありません。



4. ラゲッジルームから燃料フィラーパイプを取り出します。燃料フィラーパイプ , 5.13 ページを参照してください。
5. フィラーネックに燃料フィラーパイプを挿入します。
6. 燃料フィラーパイプにノズルを挿入して給油します。推奨燃料については推奨燃料 , 2.46 ページを参照してください。
7. 燃料を入れ過ぎないでください。



警告：燃料がこぼれたり溢れたりしないように注意してください。こぼれた燃料はすぐに拭き取ってください。

8. ノズルを取り外します。

9. 燃料フィラーパイプを取り外し、よく拭いてラゲッジルームに収納します。
10. フューエルフィラーフラップを閉じます。ラッチが掛かる音がします。

運転操作装置

給油

推奨燃料

エンジンの性能を最大に引き出すためには、EN 228 規格に適合した 98 RON/88 MON 無鉛ガソリンを使用してください。

98 RON/88 MON が入手できない地域では、EN 228 規格に適合したオクタン価が 95 RON/85 MON 以上の無鉛プレミアムガソリンを使用してください。



注意: 給油する燃料の品質に関する情報は給油機に表示されています。



注意: 給油機燃料が無鉛ガソリンに関する EN 228 の要件を満たしていない場合や燃料添加剤を使用した場合、エンジンが摩耗・損傷する可能性が高くなります。

誤った燃料の使用によって生じた損傷は車両保証の対象外となります。



注意: この車両は 10 % を超えるエタノールを含有する燃料の使用には適しません。

E85 燃料（85 % エタノール含有）は使用しないでください。この車両は 10 % を超えるエタノールを含有する燃料の使用が必要な装置を装備していません。E85 燃料を使用すると、エンジンと燃料システムに深刻な損傷が発生します。

運転操作装置

冬季の走行

冬季の走行

冬のはじめに、マクラレン代理店で車両を点検することを推奨します。この点検には以下の項目が含まれています。

- 不凍液 / 防錆剤濃度の点検
- フロントウィンドウクリーニングシステムの高濃度ウォッシャーフルードの補充
- バッテリーの点検
- タイヤ交換

ウィンタータイヤ

気温が 7°C (45°F) 以下のときや、雪道または凍結路の走行時はウィンタータイヤを使用してください。アンチロックブレーキシステムとエレクトロニックスタビリティコントロールの効果を最大限に発揮させるためには、ウィンタータイヤを装着する必要があります。

安全なハンドリング特性を維持するために 4 輪とも同一メーカーおよびトレッドのウィンタータイヤを使用してください。インストールメントクラスターの「車両設定」でタイヤの種類を変更します。タイヤの種類, 3.25 ページを参照してください。

ウィンタータイヤは非対称ではなく回転方向が指定されているため、タイヤのサイドにある回転方向マークに合わせて装着する必要があります。



注意: マクラレン指定のウィンタータイヤのみを使用してください。



警告: トレッドの深さが 4 mm 未満になったウィンタータイヤはただちに交換してください。そのようなタイヤは十分なグリップが得られないため冬季使用には不適切であり、使用した場合事故につながるおそれがあります。



注意: ホイールの交換は、必ずマクラレン代理店で行ってください。ジャッキを不適切に使用した場合、車両を損傷するおそれがあります。

装着したウィンタータイヤに指定されている最高速度に関する助言や情報はマクラレン代理店にお問い合わせください。ASL システムを使用して車両の最大速度を制限してください。速度上限の設定, 2.41 ページを参照してください。

スノーソックス

マクラレンは、マクラレン車用として認定されたスノーソックスのみの使用を推奨します。スノーソックスを装着する場合は、以下の点に注意してください。

- スノーソックスは必ずリアホイールにのみ、かつ左右両方に装着してください。
- メーカーの取付説明書に従います。

30 mph (50 km/h) の最大許容速度を超えないでください。雪道での走行が終わったら速やかにスノーソックスを取り外してください。



インストルメント

概要	3.2
概要	3.2
タコメーター	3.2
スピードメーター	3.3
インストルメントクラスターディスプレイ	3.4
概要	3.4
ホーム画面	3.7
トリップコンピューター	3.8
車両情報	3.9
ノーズリフト	3.12
設定	3.16
ナビゲーション	3.27
メッセージ - Coupe、GT、Spider、 600LT および 600LT Spider	3.28
メッセージ - Spider および 600LT Spider のみ	3.30
ディスプレイウィンドウ	3.32
ギア位置インジケーター	3.35
ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ	3.35
エレクトロニクススタビリティ コントロール	3.35
オイル温度	3.36
水温	3.36
燃料残量および範囲	3.37

インストルメント 概要

概要

インストルメントはイグニッションをオンにするとアクティブになります。イグニッションのスイッチをオンにする、2.3 ページを参照してください。

警告: ディスプレイまたは車両の電気系統が故障している場合、インストルメントディスプレイにメッセージは表示されません。直ちにマクラレン代理店にご相談ください。このような状況での車両の使用は危険です。

タコメーター



タコメーターディスプレイは、ノーマルパワートレインおよびハンドリングモードのときにインストルメントクラスターの中央に表示されます。ディスプレイの赤色の数字はエンジンの最高 RPM を表しています。

スポーツ、トラックパワートレインまたはハンドリングモードが選択されている場合、タコメーターのスタイルは選択したモードを合わせ変更されます。ディスプレイウィンドウ、3.32 ページを参照してください。

i 注意：最高 RPM は動的であり、特定の条件下で低下します。例えば、エンジンオイルが通常の動作温度未満である場合、またはニュートラルギアが選択されている場合です。

i 注意：エンジンを長時間最高回転数もしくはそれに近い回転数で動作させないでください。最高 RPM に達するとエンジンを保護するために燃料供給が遮断されます。

シフトライト

トラックパワートレインまたはハンドリングモードを選択すると、シフトライトが表示されます。シフトライトは、4 つの LED から成る次の 3 つのグループ（緑色グループ、赤色グループ、青色グループ）になっています。各グループはエンジン回転数が増加すると点灯します。青色グループが点灯するポイントを超えてエンジン回転数が増加すると、急加速できません。

インストールメント 概要

スピードメーター



ノーマルパワートレインおよびハンドリングモードの場合、スピードメーターはインストールメントクラスターの中央にデジタル表示されます。

スポーツ、トラックパワートレインまたはハンドリングモードが選択されている場合、スピードメーターのスタイルは選択したモードを合わせ変更されます。ディスプレイウィンドウ，3.32 ページを参照してください。

i 注意：スピードメーターは、単位をマイルからキロメートルに変更すると、mph から km/h に切り替わります。距離表示単位，3.16 ページを参照してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

概要

警告は、インストールメント画面のポップアップウィンドウに表示されます。

保存されているメッセージは、イグニッションがオンのときに随時見ることができます。エラーメッセージ, 3.9 ページを参照してください。

警告: 車両が走行中にメニューを操作・閲覧しようとすると、道路や交通状況に対する注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。

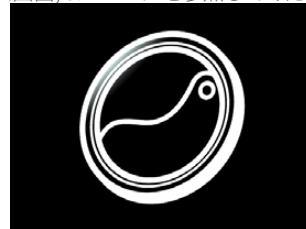
警告: 警告メッセージを無視しないでください。適切な対応を怠ると、怪我を負ったり車両が損傷するおそれがあります。



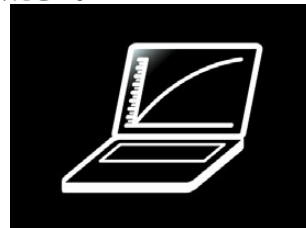
ステアリングコラムの左側にあるコントロールレバーを使用することにより、メニュー構造を操作することができます。

お使いのマクラーレンのモデルにより、以下のカテゴリーがあります。

ホーム画面, 3.7 ページを参照してください。



トリップコンピューター, 3.8 ページを参照してください。



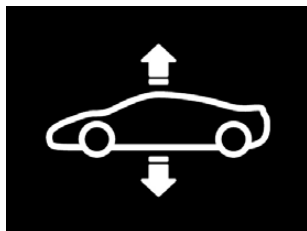
車両情報, 3.9 ページを参照してください。



インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

ノーズリフト, 3.12 ページを参照してください。



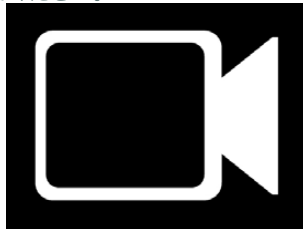
設定, 3.16 ページを参照してください。



ナビゲーション, 3.27 ページを参照してください。



リアビューカメラ (RVC) , 2.16 ページを参照してください。

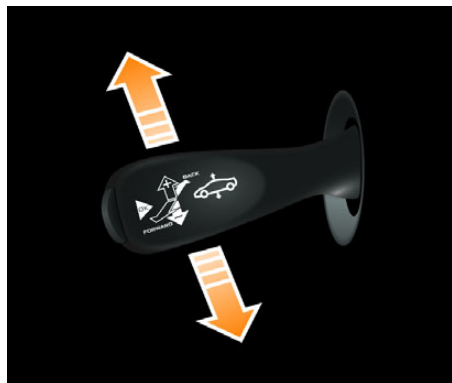


カテゴリーを移動する

1. コントロールレバーを上または下に動かし（スクロール+または-）選択する項目をハイライトさせます。
2. レバーを手前（FORWARD）に引いて選択した項目に入ります。
3. 次に、一覧の中から見たいトピックを選び、コントロールレバーを上または下に動かして（スクロール+または-）目的のトピックをハイライトさせます。
4. 構造内の次のメニューに移動するには、レバーを手前（FORWARD）に引きます。
5. 各構造の最後に情報の表示または設定を変更できる画面があります。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ



6. 必要な機能を選択するか設定を行った場合は、コントロールレバー端部の「OK」を押して確認します。

「OK」ボタンを押した場合にのみ設定を変更できます。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

ホーム画面

ホーム画面の内容やレイアウトの変更方法は、言語, 3.17 ページを参照してください。



ホーム画面には次の機能が表示されます。

時計

現在の時刻が表示されます。詳細については、デフォルト設定を復元, 3.26 ページを参照してください。

温度

 **警告 : 表示された温度が氷点よりも高い場合であっても、路面が凍結している可能性があります。常に運転スタイルと速度を天候状況に合わせる必要があります。**

温度は現在の外気温です。外気温の変化が表示されるまでに若干の時差があります。

外気温が 3 °C (37 °F) より下がると低温警告メッセージが表示され、メッセージが表示された後で温度の表示色が変わります。

外気温が 0 °C (32 °F) より下がると凍結警告が表示されます。

オドメーター

オドメーターは車両が走行した積算距離を表示します。

ジャーニートリップ

今回の走行距離を表示します。詳細については、トリップコンピューター, 3.8 ページを参照してください。

トリップ

トリップメーターのリセット後に走行した距離を表示します。詳細については、トリップコンピューター, 3.8 ページを参照してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

トリップコンピューター

トリップコンピューターは、トリップ情報またはジャーニートリップ情報を表示することができます。

トリップ



最後のトリップリセット以降の距離、平均速度および平均燃料消費を表示します。

表示される時間は、前回のトリップメーターリセット後にエンジンが動作していた時間です。

この情報をゼロにリセットするには、コントロールレバー端部の「OK」ボタンを2秒間押ししてください。

ジャーニートリップ



現在の走行の距離、平均速度および平均燃料消費を表示します。

表示される時間は、今回エンジンが動作していた時間です。

この情報をゼロにリセットするには、コントロールレバー端部の「OK」ボタンを2秒間押ししてください。

この情報はエンジンのスイッチをオフにして約2時間以上経過した場合もゼロにリセットされます。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

車両情報

概要



車両情報画面では以下の項目を選択できます。

- 整備間隔, 3.9 ページ
- エラーメッセージ, 3.9 ページ
- タイヤ監視, 3.10 ページ
- オイルの状態, 3.10 ページ
- バッテリーの状態, 3.10 ページ
- 車両識別, 3.11 ページ

整備間隔

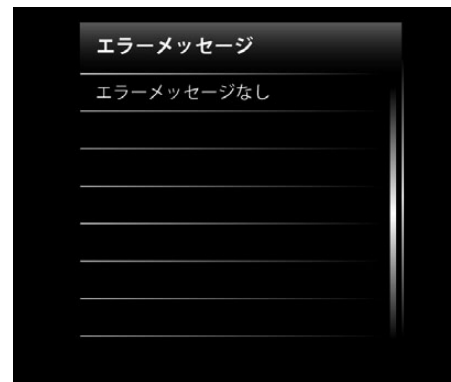


整備日まで約 30 日または 625 マイル (1,000 km) になると、上記画面が表示されます。

それ以降、イグニッションスイッチをオンにするたびに、減少していく時間 / 距離とともにこのメッセージが表示されます。整備を受けると、マクラーレン代理店がこの画面をリセットします。

整備の期限を過ぎると、期限を超過した距離がこの画面に表示されます。

エラーメッセージ

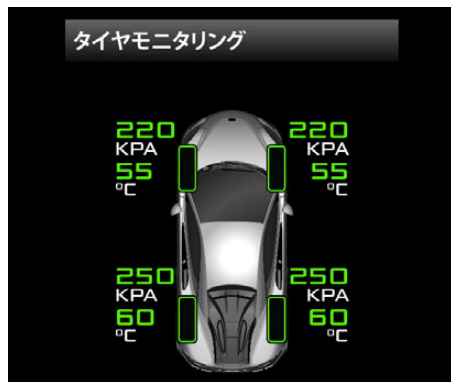


この画面はログに記録されたエラーメッセージがないことを確認します。

ログにエラーが記録されている場合は、この画面にエラーメッセージとメッセージをスクロールするための矢印が表示されます。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

タイヤ監視



このディスプレイには4本のタイヤそれぞれの空気圧および温度が表示されます。数値およびタイヤが緑色で表示されている場合、何もする必要はありません。アンバー色または赤色の文字で表示されている場合、速やかにタイヤを検査し、空気圧を調整してください。

タイヤを点検し、減圧または温度上昇の原因を確認してください。

オイルの状態



オイルのレベルを示すゲージがオイル温度とともに表示されます。

エンジンオイルレベルの点検方法については、エンジンオイルの点検、5.2 ページを参照してください。

バッテリーの状態



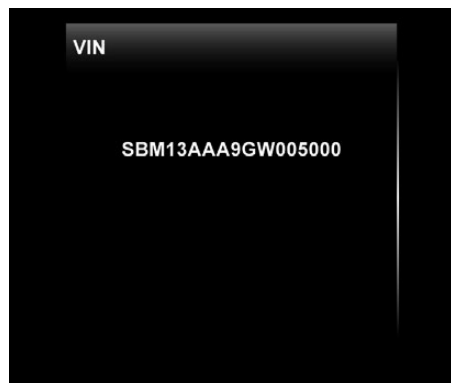
バッテリーの充電状態を示すゲージが表示されます。

バッテリーを充電するには、バッテリーの充電、5.15 ページを参照してください。

エンジンを始動したりバッテリーを充電したりせずに駐車できる時間の長さについては、駐車日数、2.3 ページを参照してください。

インストールメント インストールメントクラスターディスプレイ

車両識別



車両識別番号を表示します。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

ノーズリフト

i 注意：インストールメントクラスターのノーズリフトアイコンがアンバー色になっている場合、または車両リフト障害メッセージがインストールメントクラスターに表示された場合、システムは使用できません。その場合は車両を高速では運転せず、速やかにマクラレーン代理店にご連絡ください。

ノーズリフトメニューには、次の情報が表示されます。

- ノーズリフト - 上昇, 3.13 ページ
- ノーズリフト - 下降, 3.14 ページ

ノーズリフトを選択すると、確認音が鳴ります。

ノーズリフトを使用すると、現在の車高に応じて車両のノーズを昇降させることができます。

ノーズの車高を上昇させることができるのは、走行速度が 31 mph (50 km/h) 以下のときだけです。37 mph (60 km/h) を超えると、ノーズは自動的に下降します。

i 注意：フロントサスペンションは長時間上げた状態を保つことができますが、時間が経つと緩んで下がる可能性があります。

ノーズを長時間上昇したままの位置にしておくと、次にエンジンを始動したときにシステムがリセットされ、ノーズが通常の車高に戻る場合があります。

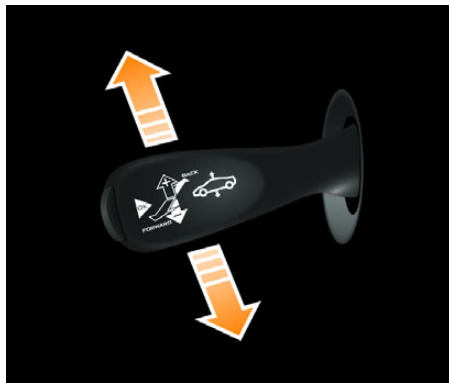
走行中にノーズリフトを使用した場合、ステアリングの感覚がわずかに変化する場合があります。これは異常ではなく、車両の動作に影響を与えるものではありません。

i 注意：ノーズリフトの昇降中は、車両のハンドリングモードは使用できません。

i 注意：発進モードがアクティブの場合、ノーズリフトは使用できません。

i 注意：エンジンがエコスタート-ストップシステムによって停止されている間にノーズリフトが要求された場合、エンジンは自動的に再始動されます。

メニューへのアクセス



エンジンが作動中であれば、ステアリングコラム左側にあるメニューコントロールレバーを使用してノーズリフトメニューにアクセスすることができます。

i 注意：車両リフトの昇降中は、車両のハンドリングモードは使用できません。

i 注意：発進モードがアクティブの場合、ノーズリフトは使用できません。

メニューにすばやくアクセスするには、メニューコントロールレバーを 1 秒間上げたままにします。確認音が鳴ります。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

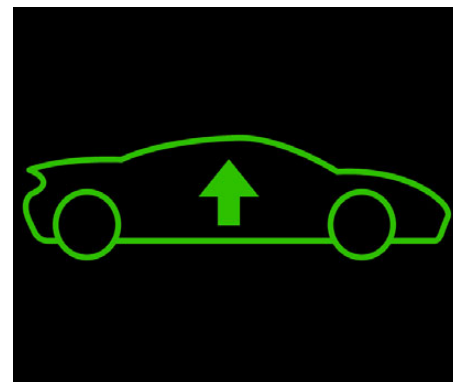
メニュー上で何も操作が行われないと、タイムアウト時間経過後にノーズリフト画面がホーム画面に戻ります。ホーム画面に戻るまでの時間を設定するには、言語, 3.17 ページを参照してください。

ノーズリフト - 上昇

- i** 注意: 車両が通常の高さの場合、車両前部の上昇オプションのみ使用できます。
- i** 注意: ステアリングホイールを過度に回すと、ノーズリフトの開始が遅れます。
- i** 注意: 車両を運転する前には、必ずディスプレイのノーズリフトアイコンを確認してください。



ノーズリフトが有効になる前に、エンジンが作動している必要があります。車両のノーズを上昇させるには、ノーズリフトメニュー（メニューへのアクセス, 3.12 ページを参照）を選択して、メニューコントロールレバーを上方に動かします。



上昇する音が鳴り、ノーズの高さの変更を確認することができます。「車両上昇中」というメッセージがインストールメントクラスターに表示され、ノーズリフトアイコンが点滅します。

車両の上昇中にエンジンを停止するとシステムは停止し、エンジンが再始動したときのみ上昇を継続します。

上昇から下降へ変更するには、メニューコントロールレバーを下方に動かします。車両のノーズは下降を始め、インストールメントクラスターに変更を確認する情報が表示されます。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

ノーズが完全に上昇すると、確認音が鳴ります。「車高上昇」というメッセージがインストルメントクラスターに表示され、車両が上昇状態にある間、ノーズリフトアイコンが点灯します。

その後操作を行わないと、タイムアウト期間経過後に、車両上昇テキスト表示が終了します。ホーム画面に戻るまでの時間を設定するには、言語, 3.17 ページを参照してください。

ノーズリフト - 下降

-  注意: 停止している間に車両の前方を下げるには、エンジンが作動し、運転席のドアが完全に閉じていなければなりません。
-  注意: ノーズが上昇状態のときは、ノーズを下降させるオプションのみ使用できます。
-  注意: ノーズの下降中は、車両を高速で運転しないでください。ノーズの下降が始まると、下降の音が鳴ってノーズリフトメニューがインストルメントクラスターに表示され、システムのコントロールが可能になります。
-  注意: 車両を運転する前には、必ずインストルメントクラスターのノーズリフトアイコンを確認してください。

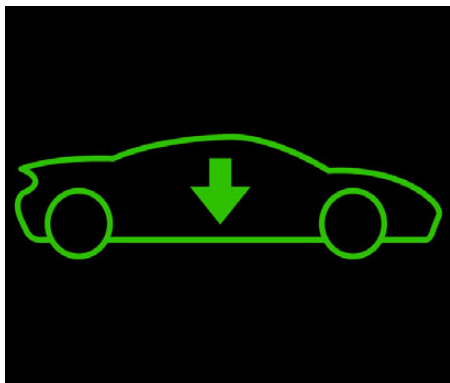


車両のノーズを上昇させるには、ノーズリフトメニュー（メニューへのアクセス, 3.12 ページを参照）を選択して、メニューコントロールレバーを下方に動かします。

下降する音が鳴り、ノーズの高さの変更を確認することができます。「車両下降中」というメッセージがインストルメントクラスターに表示され、ノーズリフトアイコンが点滅します。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ



下降から上昇へ変更するには、メニューコントロールレバーを上方に動かします。ノーズは上昇を始め、インストールメントクラスターに変更を確認する情報が表示されます。

ノーズが下降すると、確認音が鳴ります。「車高標準」というメッセージがインストールメントクラスターに表示され、ノーズリフトアイコンが消えます。

その後操作を行わないと、タイムアウト期間経過後に、車両下降テキスト表示が終了します。ホーム画面に戻るまでの時間を設定するには、言語, 3.17 ページを参照してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

設定

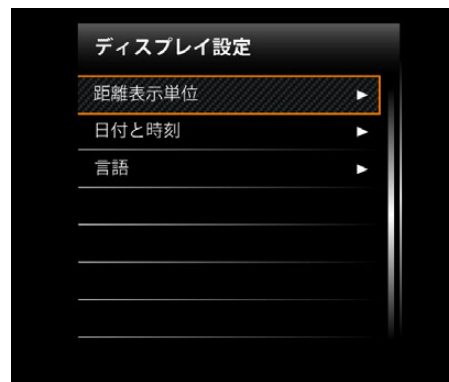
概要



設定画面から以下の項目を選択できます。

- ディスプレイ設定, 3.16 ページ
- 照明, 3.18 ページ
- 車両, 3.19 ページ
- デフォルト設定を復元, 3.26 ページ

ディスプレイ設定



ディスプレイ設定では以下の項目を選択できます。

- 距離表示単位, 3.16 ページ
- 日付と時刻, 3.17 ページ
- 言語, 3.17 ページ

距離表示単位



単位画面では以下の測定単位を設定できます。

距離 - マイルまたは km を選択します。

速度 - mph または km/h を選択します。

温度 - °C または °F を選択します。

圧力 - kPa, bar, または psi を選択します。

燃料消費 - MPG, km/ リットルまたは L/100 km を選択します。

車両の設定は購入した国や地域によって異なります。これらの単位はいつでも個別に変更することができます。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

i 注意: この機能はトリップコンピューターの単位も設定します。

日付と時刻



日付を設定する前に時刻を設定してください。
コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

i 注意: 時刻表示は 12 時間または 24 時間形式に設定することができます。

i 注意: 日付の表示は DD/MM/YYYY または MM/DD/YYYY に設定できます。

言語



この画面では使用する言語を設定します。
以下の選択肢があります。

- 英語 (英国)
- 英語 (米国)
- アラビア語
- 中国語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- ロシア語
- スペイン語
- ポルトガル語

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

- 中南米スペイン語
- ポーランド語
- 韓国語
- タイ語
- トルコ語
- ハンガリー語
- オランダ語

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

車両で使用できない言語については、インストールメントクラスターに「非対応」と表示されません。マクラーレン代理店にご相談ください。

照明



外部照明, 3.18 ページまたは室内照明, 3.19 ページを選択します。

外部照明



車両をロックおよびロック解除した際に、外部照明を点灯したままにしておく時間を設定することができます。

インストールメントクラスター画面で「乗車照明」または「降車照明」を選択し、目的の時間を設定して、コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択内容を確定します。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

室内照明



照明レベルを調整するには、次のいずれかを選択します。

- スイッチ照明
- フットウェル照明

スイッチ照明にすばやくアクセスするには、コントロールレバーを押し下げます。確認音が鳴ります。

ゲージが表示されます。コントロールレバーを上または下に移動して（「SCROLL+」または「SCROLL-」）、希望の輝度レベルをハイライト表示します。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

ルームライトを選択し、コントロールレバーを手前に引いて、オプションの「オン」または「オフ」に切り替えます。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

車両

以下の項目を選択できます。

- インテークサウンドジェネレータ（ISG）（装着の場合）、3.20 ページ
- バレットモード、3.21 ページ
- リバースセレクトトーン、3.22 ページ
- ギアシフトモード（PSC）、3.22 ページ
- ナビゲーション、3.23 ページ
- 自動ドアロック、3.23 ページ
- 自動折りたたみミラー、3.23 ページ
- 自動アラーム、3.23 ページ
- 速度制限、3.23 ページ
- ドアロック解除、3.23 ページ
- コンフォートエントリ / イグジット、3.23 ページ
- サイレントロック、3.24 ページ
- リバースミラーディップ、3.24 ページ
- タイヤの種類、3.25 ページ
- ワイパーモード、3.25 ページ
- ワイパー感度、3.25 ページ

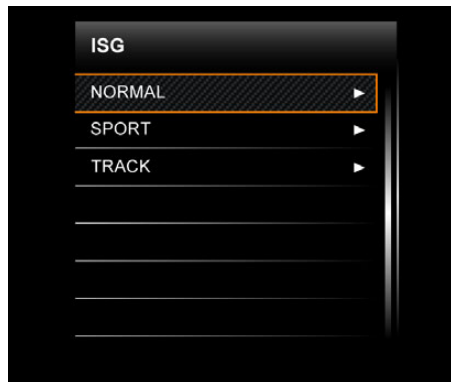
インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

インタークサウンドジェネレータ (ISG) (装着の場合)

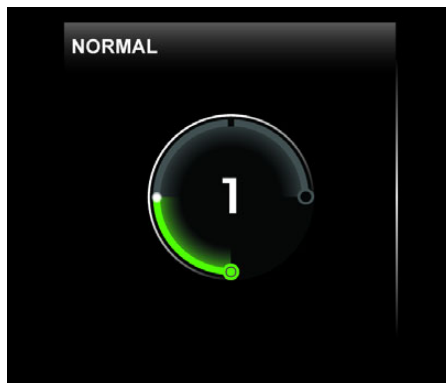
選択したパワートレインモードごとに、キャビンに入ってくる音量を調整することができます。

⚠ 警告: 車両が走行中にメニューを操作・閲覧しようすると、道路や交通状況に対する注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。



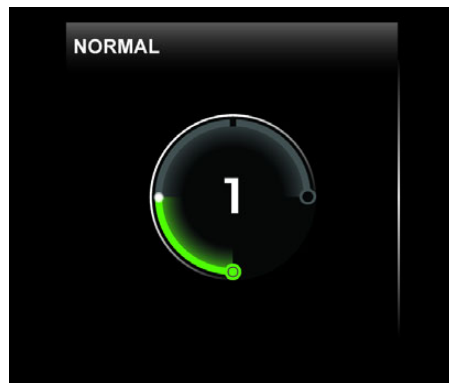
3つの異なるパワートレインモードがISGメニューに表示されます。

変更したいモードを選択すると、そのモードの現在のISGの音量を表すゲージが表示されます。



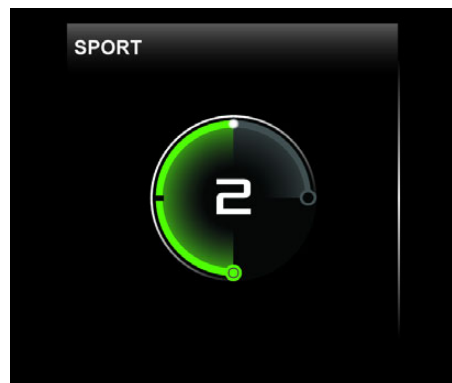
メニューレバーを上下に動かし（スクロール+または-）、選択したパワートレインモードを希望する音量に合わせます。コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

各モードのデフォルト設定は以下のとおりです。

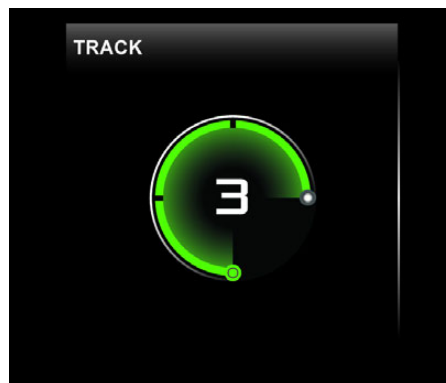


ノーマル - レベル 1

インストールメント インストールメントクラスターディスプレイ



スポーツ - レベル 2



トラック - レベル 3

i 注意: これらは各モードのデフォルト設定ですが、各パワートレインモードには、どの音量設定でも適用できます。

バレットモード



バレットモードをオンにすると、車速は 35 mph (55 km/h) に制限され、アクティブダイナミクスパネルは無効になって、ラゲッジルーム、グローブボックス、センターコンソール収納ボックスおよびサービスカバーもロックされたままになり、インストールメントクラスターに確認メッセージが表示されます。

バレットモードをオンにするには、「車両」メニュー画面で「バレットモード」を選択した後、PIN 番号を入力する必要があります。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

PIN を入力するには、最初の数字の入力を求めるメッセージがインストールメントクラスターに表示されるまでコントロールレバーを上または下に押し、次にコントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確定します。番号を入力するたびに、番号がアスタリスクで表示されます。

この手順を繰り返して PIN 全体を入力します。



工場で設定された PIN 番号は、0000 です。初めてバレットモードをオンにする場合は、この PIN を使用します。この PIN はできるだけ早い機会に変更してください。



バレットモードに入ってから 5 秒間、上記と同じ手順に従って新しい PIN を入力することで PIN を変更することができます。

「バレットモード ON」が表示されているときは、PIN 番号を入力してバレットモードをオフに切り替えます。

リバースセレクトトーン

「オン」を選択した場合、リバースギアが選択されていることを示して、音が鳴ります。「オフ」を選択した場合、音は鳴りません。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

ギアシフトモード (PSC)

PSC は音が鳴るシフトインジケーターで、マニュアルギアボックスモードでフルスロットルの加速中に、最適なパフォーマンスを維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

「オフ」を選択した場合、PSC 機能は無効になります。

「スポーツおよびトラック」を選択した場合、パワートレインまたはハンドリングモードがスポーツまたはトラックの場合に PSC がアクティブになります。

「トラックのみ」を選択した場合、パワートレインまたはハンドリングモードがトラックの場合にのみ PSC がアクティブになります。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

ナビゲーション

「ディスプレイオン」を選択した場合、ルート案内がIRISを使用して開始された際に、進路変更ごとの最新案内がインストールメントクラスターに表示されます。ナビゲーション、3.27ページを参照してください。

「ディスプレイオフ」を選択した場合、進路変更ごとの案内はインストールメントクラスターに表示されません。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

i 注意: このオプションはIRISのナビゲーションシステムの動作に影響はありません。

自動ドアロック

購入時の車両は自動ドアロックがオンに設定されています。

この車両のドアは走行を開始すると自動的にロックされます。

自動ドアロックをオフに切り替えると、ドアは手動でロックしない限り車両が走行を開始した後もロックされません。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

自動折りたたみミラー

「オン」を選択した場合、車両をロックするとドアミラーが折りたたまれ、ドアを開けると展開されます。「オフ」を選択した場合、ミラーは走行位置のままとなります。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

自動アラーム

自動アラームを選択した場合、すべてのドア、ラゲッジルームリッド、およびサービスアクセスパネルを完全に閉じて、車両のロックを30秒間解除したままにすると、自動的に車両がロックされ、アラーム機能が作動します。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

速度制限

「オン」を選択したときは、現在の道路の速度制限が取得できる場合は、それがインストールメントクラスターに表示されます。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

ドアロック解除

「運転席」を選択した場合、リモコンキーまたはドアボタンで車両のロックを解除すると、運転席ドアのロックのみが解除されます。

「両方」を選択した場合、リモコンキーまたはドアボタンで車両のロックを解除すると、両方のドアのロックが解除されます。

「運転席」または「両方」のどちらを選択しても、すべてのドアがロックされます。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

コンフォートエントリ / イグジット

コンフォートエントリ / イグジットが「オン」の場合、イグニッションスイッチをオフにして運転席ドアを開けると運転席シートが後方いっばいに移動し、高さが最低位置になります。シートメモリー - このオプションに連動して、レバーリターンが作動します。詳しくは、コンフォートエントリ、1.38ページを参照してください。

コンフォートエントリ / イグジットが「オフ」の場合、運転席シートは移動しません。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

サイレントロック

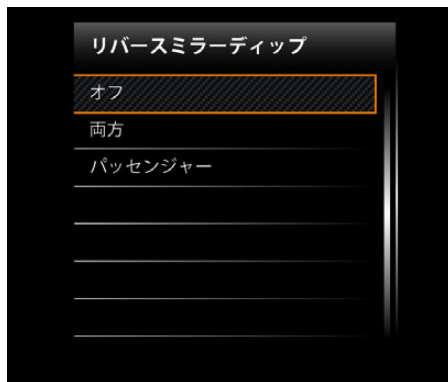
「オン」を選択した場合、キーレスエントリーシステムを使用してロックまたはロック解除した際の方向指示器による表示が無効になります。

「オフ」を選択した場合、車両のロックまたはロック解除の際に、その方法にかかわらず方向指示器が必ず点滅します。

その他のロックおよびロック解除機能はアクティブのままです。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

リバースミラーディップ



「オフ」、「両方」または「パッセンジャー」を選択します。

「オフ」- リバースギアにシフトしてもミラーディップは行われません。

「両方」- リバースギアにシフトすると両方のミラーが下向きになります。

「パッセンジャー」- リバースギアにシフトすると助手席側のミラーが下向きになります。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

リバースギアへのシフトに連動したミラーのディップ量を設定するには：

1. イグニッションスイッチをオンにします。
2. クラスターのミラーディップセクションで「両方」または「パッセンジャー」を選択します。
3. ブレーキを踏んでリバースギアにシフトします。
4. 設定したい位置にミラーを調整します。ミラーの調整, 1.51 ページを参照してください。
5. ギアをリバース以外にします。

次にリバースギアにシフトしたときには、車両が自動的にミラーを事前に設定したオフセット分だけ標準位置から移動させます。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

タイヤの種類



この画面は、使用できるすべてのタイヤタイプを表示します。車両に装着されているタイヤを選択してください。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

ワイパーモード

「自動」または「時間指定」を選択します。

「自動」を選択すると、「自動」位置でのワイパーの動作は雨滴センサーによって制御されます。

「時間指定」を選択すると、「自動」位置でのワイパーの動作は間欠ワイパーになります。間欠ワイパーの遅延時間の設定方法はワイパー感度, 3.25 ページを参照してください。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

ワイパー感度



現在のワイパー感度設定がゲージで表示されます。コントロールレバーを上下に動かし（スクロール+または-）、ワイパー動作に対する希望の設定を行います。この設定は雨滴センサーの感度レベルに適用され、断続的なワイパー作動時間の遅延には影響しません。

コントロールレバー端部の「OK」ボタンを押し続けて選択を確認してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

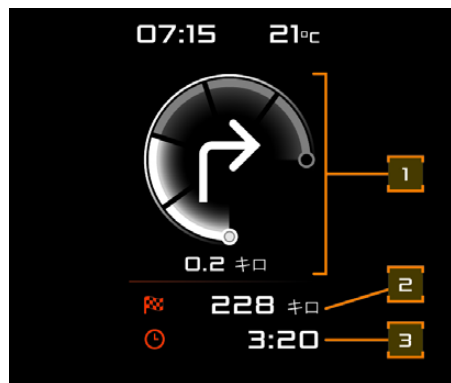
デフォルト設定を復元



「デフォルト設定を復元」を選択した後、コントロールレバーの端の「OK」ボタンを押し続けてデフォルトに戻ることを確認してください。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

ナビゲーション

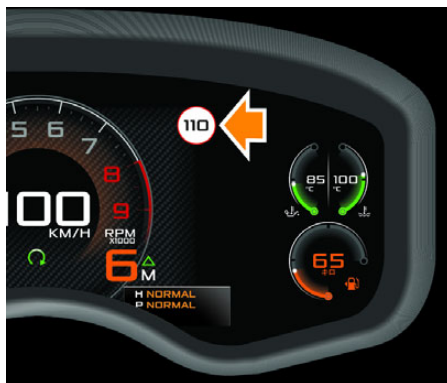


ルート案内が IRIS を使用して開始された場合、進路変更ごとの最新案内がインストルメントクラスターに表示されます。

進路変更ごとの表示には、次の情報があります。

1. 次の進路方向と距離
2. 目的地までの残りの合計距離
3. 目的地までの残りの合計時間

i 注意：目的地を IRIS で設定していない場合、コンパスと現在の道路名のみが表示されます。



可能な場合、現在の道路の速度制限がインストルメントクラスターに表示されます。

i 注意：この速度制限はあくまで参考であり、一時的または新しい速度制限が設定されている可能性があるため、必ず現地の速度制限情報を確認してください。

i 注意：進路変更および速度制限表示は個別にオフにできます。設定、3.16 ページを参照してください。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

メッセージ - Coupe、GT、Spider、 600LT および 600LT Spider

 **警告: 警告メッセージを無視しないでください。適切な対応を怠ると、怪我を負ったり車両が損傷するおそれがあります。**

インストルメントクラスターにオーナーズマニュアルを参照するように指示するメッセージが表示されることがあります。下記の表は、それらのメッセージが表示されたときにどうすべきかを示します。

メッセージ	メッセージ
ESC をオフにできません	ESC の停止条件が満たされていません。エレクトロニックスタビリティコントロール, 2.31 ページを参照してください。
ESC 低減不可	ESC の低減条件が満たされていません。エレクトロニックスタビリティコントロール, 2.31 ページを参照してください。
エンジンオイルレベル上昇	エンジンオイルの点検, 5.2 ページを参照してください。
エンジンオイルレベル低下	エンジンオイルの点検, 5.2 ページを参照してください。
ガラスウォッシャー液が少なくなっています	フロントウィンドウウォッシャーフルードを補充してください。フロントウィンドウウォッシャー, 5.10 ページを参照してください。
ギア選択不可 フロントラゲッジがラッチされていません	ギアを選択しようとする前に、フロントラゲッジルームを確実にラッチしてください。 フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。
キーの電池残量低下	リモコンキーの電池の交換, 5.30 ページを参照してください。
キーバッテリーの残量が極めて低いです	リモコンキーの電池の交換, 5.30 ページを参照してください。
クラッチ温度が高いです	この車は極端な条件のもとで走行が行われました。このような条件は、極度の坂道発進や急加速の繰り返し、急な上り坂での長時間に渡る低速走行によって生じることがあります。その結果、ギアボックスがエンジントルクを制限することがあります。 車両を停止し、ニュートラルギアでエンジンを数分間アイドリングしてください。
クラッチの温度が高すぎます	この車は極端な条件のもとで走行が行われました。このような条件は、極度の坂道発進や急加速の繰り返し、急な上り坂での長時間に渡る低速走行によって生じることがあります。その結果、ギアボックスがエンジントルクを制限することがあります。 車両を停止し、ニュートラルギアでエンジンを数分間アイドリングしてください。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

メッセージ	メッセージ
ステアリングフルードが少なくなっています	パワーステアリングフルードを補充してください。パワーステアリングフルード, 5.8 ページを参照してください。
対処法	車両が十分な電圧を供給することができない場合、パワーセービングモードが有効になります。室内温度制御とステアリングは低減効果で作動します。パワーセービングモード, 2.2 ページを参照してください。
発進モード使用不可	発進が可能な条件が満たされていません。発進コントロール, 2.26 ページを参照してください。
発進モード中止	発進コントロール, 2.26 ページを参照してください。
ブレーキフルードが少なくなっています	ブレーキフルードを補充してください。ブレーキフルード, 5.9 ページを参照してください。
左前輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
左前輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
左後輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
左前輪タイヤ圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
左後輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
左後輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右前輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右前輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右前輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右後輪タイヤの温度が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右後輪タイヤの空気圧が高すぎます	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。
右後輪タイヤの空気圧が低くなっています	車両を停止して、ホイールとタイヤを点検してください。ホイールとタイヤの点検, 5.35 ページを参照してください。

インストールメント

インストールメントクラスターディスプレイ

メッセージ - Spider および 600LT Spider のみ

インストールメントクラスターにはルーフに関するメッセージも表示され、オーナーズマニュアルを参照するように指示します。下記の表には、メッセージの意味と、必要に応じて取るべき処置を記載しています。

メッセージ	メッセージ
車両を減速してルーフ操作ボタンを放してからもう一度押します	このメッセージは、開 / 閉サイクル中に車両速度が 25 mph (40 km/h) を超えた場合に表示されます。減速して、希望する方向にルーフスイッチを操作してください。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。
電圧不足 - エンジンを始動	このメッセージは、車両バッテリーの残量が少なくなったときに表示されます。エンジンを始動し、バッテリーを充電してください。ルーフスイッチを希望する方向に操作してください。McLaren 代理店にご相談ください。
ドアを開いて操作を完了	このメッセージは、ルーフのコントロールユニットがドアの状態を確認できない場合に表示されます。ドアのステータスが確認できるまで、ルーフの操作は行えません。McLaren 代理店にご相談ください。
トノー開	このメッセージは、トノーが開サイクルを完了したときに表示されます。トノーカバー - Spider モデル , 1.24 ページを参照してください。
トノーが空であることを確認	このメッセージは、ルーフが上昇状態で、ルーフまたはバックライトスイッチが下降（開）位置に押し下げられているときに、トノーカバーを開けた場合に表示されます。スイッチを離してメニューコントロールレバーの「OK」を押すことにより、トノーエリアが空であることを確認し、空でない場合は、操作中にリトラクタブルルーフまたはバックライトが損傷するおそれがあることを承諾します。該当するスイッチを押すと、ルーフまたはバックライトが下降（開）を始めます。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページとバックライト - Spider モデル , 1.22 ページを参照してください。
トノーサイクル操作を続行	このメッセージは、トノーカバーが開 / 閉サイクル中に、中間位置で停止した場合に表示されます。トノースイッチを、希望する方向に操作してください。トノーカバー - Spider モデル , 1.24 ページとリトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

メッセージ	メッセージ
トノー動作中	このメッセージは、トノーカバーの開 / 閉サイクルの間に表示されます。トノーカバー - Spider モデル , 1.24 ページを参照してください。
トノー閉	このメッセージは、トノーが閉サイクルを完了したときに表示されます。トノーカバー - Spider モデル , 1.24 ページを参照してください。
油圧システムが過熱しています	このメッセージは、ルーフの油圧システムの温度が高くなり過ぎた場合に表示されます。安全に操作できるレベルに油圧システムの温度が下がるまで、ルーフは操作できません。McLaren 代理店にご相談ください。
ルーフ開	このメッセージは、ルーフが収納（開）サイクルを完了したときに表示されます。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。
ルーフサイクル操作を続行	このメッセージは、ルーフが開 / 閉サイクル中に、中間位置で停止した場合に表示されます。ルーフスイッチを希望する方向に操作してください。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。
ルーフ動作中	このメッセージは、ルーフの開 / 閉サイクルの間に表示されます。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。
ルーフ不具合	このメッセージは、動作に不具合があった場合に表示されます。ルーフは操作できません。McLaren 代理店にご相談ください。
ルーフ閉	このメッセージはルーフが上昇（閉）サイクルを完了したときに表示されます。リトラクタブルルーフ - Spider モデル , 1.19 ページを参照してください。
ルーフを操作するには外気温が低すぎます	このメッセージは、外気温が -10°C (14°F) より低い場合に表示されます。安全に操作できるレベルに外気温が上昇するまで、ルーフは操作できません。ルーフの動作温度 , 1.20 ページを参照してください。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

ディスプレイウィンドウ

ノーマルモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がノーマルモードの場合、上図のセンターディスプレイが表示されます。

インストルメントクラスターの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。スポーツモード, 3.33 ページとトラックモード, 3.34 ページを参照してください。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

スポーツモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がスポーツモードの場合、上図のセンターディスプレイが表示されます。

インストルメントクラスターの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。ノーマルモード, 3.32 ページとトラックモード, 3.34 ページを参照してください。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

トラックモード



ディスプレイウィンドウには、車両のコントロール設定および現在のパフォーマンス値が表示されます。車両がトラックモードの場合、上図のセンターディスプレイが表示されます。

インストルメントクラスターの中央部分に表示される情報は、選択したモードによって異なります。ノーマルモード、3.32 ページとスポーツモード、3.33 ページを参照してください。

シフトライトの詳細については、シフトライト、3.2 ページを参照してください。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

ギア位置インジケータ



ギアインジケータは現在選択しているギア位置を表示します。ニュートラル、ギア1～7、またはリバース。インジケータは、オートマチックまたはマニュアルモードが選択されているかどうかに応じて、「A」または「M」が表示されます。

ギア位置インジケータはインストルメントクラスターの中央には、スピードメーターとスワップ位置、車両がスポーツまたはトラックモードの場合に移動します。スポーツモード、3.33 ページとトラックモード、3.34 ページを参照してください。

詳しくは、マニュアル/オートマチックモード、2.18 ページを参照してください。

ハンドリングおよびパワートレインディスプレイ



選択しているハンドリングおよびパワートレインモードを表示します。利用可能な各種設定に関する詳しい説明は、アクティブダイナミクスコントロール、2.21 ページを参照してください。

i 注意：「ACTIVE（アクティブ）」ボタンを押していない（アクティブダイナミクスパネルがオフの）場合、ハンドリングおよびパワートレインディスプレイはともに「Normal（標準）」と白字で表示されます。

すべての前提条件が満たされていないと、モードを切り替えることはできません。

エレクトロニックスタビリティコントロール



選択しているエレクトロニックスタビリティモードを表示します。利用可能な各種設定に関する詳しい説明は、アクティブダイナミクスコントロール、2.21 ページを参照してください。

インストルメント インストルメントクラスターディスプレイ

オイル温度



オイル温度は、インストルメントクラスターの右側にカラーゲージ形式で表示されます。

エンジンを始動するとまず、ゲージは青く表示されます。エンジンが暖まるにつれて、その色が標準温度を示す緑色に変化します。

ゲージがオレンジに変わったときは高温を示し、過熱時はゲージが赤く変わって表示します。

ゲージが高温のオレンジを示した場合は標準温度になるまで減速してください。温度が上昇を続けゲージが赤くなった場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

安全に速やかに車両を停止し、直ちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

水温



水温は、インストルメントクラスターの右側にカラーゲージ形式で表示されます。

エンジンを始動するとまず、ゲージは青く表示されます。エンジンが暖まるにつれて、その色が標準温度を示す緑色に変化します。

ゲージがオレンジに変わったときは高温を示し、過熱時はゲージが赤く変わって表示します。

インストルメント

インストルメントクラスターディスプレイ

ゲージが高温のオレンジを示した場合は標準温度になるまで減速してください。温度が上昇を続けゲージが赤くなった場合、インストルメントクラスターに警告メッセージが表示されます。

安全に速やかに車両を停止し、マクラーレン代理店にご連絡ください。

燃料残量および範囲



燃料残量

燃料残量は、インストルメントクラスターの右側にカラーゲージ形式で表示されます。

このゲージが緑であれば、タンクには約 11 リットル（2.4 UK ガロン）以上の燃料が残っています。

このゲージがオレンジに変われば、タンクに残っている燃料は約 11 リットル（2.4 UK ガロン）未満です。

このゲージが赤に変われば、タンクに残っている燃料は約 5 リットル（1.1 UK ガロン）未満です。

到達可能距離（燃料）

到達可能距離は、次回の給油が必要になるまでの予想航続距離です。



快適機能と便利機能

ウィンドウ	4.2
安全性	4.2
開閉	4.2
クライメートコントロール	4.4
概要	4.4
調節ダイヤル	4.4
動作モード	4.5
「A/C」（画面）ボタン	4.6
曇り取り/デフロスト	4.6
温度調整ダイヤル	4.7
内気循環モード	4.8
フロアー速度調節ダイヤル	4.8
エアディストリビューション設定	4.9
オートヒートシート	4.10
熱線入りミラー	4.11
システムキャリブレーション	4.11
インテリア機能	4.12
室内照明	4.12
乗車照明	4.12
降車照明	4.13
MSO 指定カラーパノラミックルーフ	4.13
収納ネット	4.13
収納ボックス	4.15
カップホルダー	4.17
オーナー文書	4.17
サンバイザー	4.18
アクセサリ電源ソケット	4.18
USB ソケット	4.19

快適機能と便利機能 ウィンドウ

安全性

⚠ 警告: ウィンドウの開閉時は手などを挟まれないように注意してください。体の一部をウィンドウに触れたまま操作しないでください。ウィンドウの動きによって挟まれるおそれがあります。挟み込みの危険がある場合はウィンドウの動作を止めてください。

開閉

⚠ 警告: リモコンキーはエンジンを始動可能にする他、車両のその他の機能を有効にする場合も使用します。

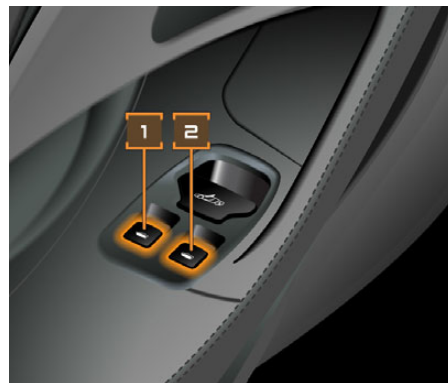
車両を離れる際は、気づかぬうちにウィンドウが作動して怪我の原因になるのを防止するため、リモコンキーを携帯してください。

運転席ドアコンソールには両側のウィンドウのスイッチがあります。助手席ドアコンソールには助手席ウィンドウのスイッチがあります。

スイッチ (1) または (2) を引きます。スイッチを引いている間はウィンドウが閉じ続けます。

ウィンドウを完全に開いたり閉じたりするには、スイッチ (1) または (2) をいっぱいを押すかまたは引いて離します。

i 注意: ウィンドウの開閉操作を停止するには、該当するスイッチを押すか引きます。



1. 運転席ウィンドウスイッチ。
2. 助手席ウィンドウスイッチ。

スイッチ (1) または (2) を押します。ウィンドウはスイッチを押している間だけ開きます。

快適機能と便利機能

ウィンドウ

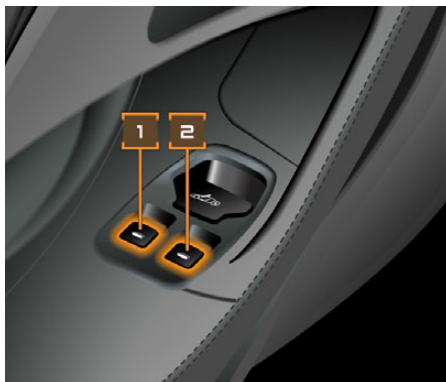
i 注意: 車両がアクセサリーモードの場合、ウィンドウコントロールは使用できません。「START/STOP (始動 / 停止)」ボタンでエンジンを停止した直後にアクセサリーモードに入れ、ウィンドウがまだ開いている場合、ウィンドウコントロールは次の状態になるまで利用することができます。

- ウィンドウが完全に閉じている状態
- 車両がスリープモードに入っている状態
- ドアが開いている状態

ウィンドウのリセット

バッテリーが放電してしまった場合や取り外した場合、あるいは挟み込み防止機能が作動した後ではウィンドウをリセットする必要があります。

両方のドアが閉じており、イグニッションスイッチがオンになっていることを確認します。



スイッチ (1) および (2) をウィンドウが開くまで下に押し、全開後さらに5秒間スイッチを押し続けます。

ウィンドウが完全に閉じるまで両方のスイッチを上引き、完全に閉じた後さらに5秒間引き続けます。

ウィンドウのリセットが完了しました。

この方法で問題が解決しない場合は、直ちにマクラレン代理店にご連絡ください。

挟み込み防止機能

⚠ 警告: 車内にお子様だけを残さないでください。ウィンドウが作動し、怪我を負うおそれがあります。

挟み込み防止機能は障害物や抵抗を検出すると、ウィンドウを閉じる動作を停止します。

挟み込み防止機能が作動した場合は、再び操作を行う前にウィンドウとウィンドウ開口部を点検し、障害物があれば取り除いてください。ドアを閉じる際に挟み込み防止機能が作動した場合はドアを閉じる, 1.11 ページを参照してください。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

概要

このシステムはオートマチックモードによる動作と、マニュアルによる設定の調節ができます。

コンビネーションフィルターによって車内に侵入する粉塵や汚染の量を低減しています。

警告: 暖房や冷房の推奨設定に従ってください。ウィンドウが曇ると道路や交通状況を確認できなくなり、事故につながるおそれがあります。

注意: クライメートコントロールシステムはドアやウィンドウを閉じた方が効率良く動作します。ただし、暑い場所に長時間駐車した場合は、短時間ウィンドウを開けて換気を行ってください。

注意: 室温センサーはステアリングホイールとセンターコンソールの間に設置されています。このセンサーへの空気の流れを妨げないでください。妨げた場合、クライメートコントロールシステムのパフォーマンスが低下します。

注意: 車両のイグニッションスイッチをオフにしても、現在の室内温度制御設定は保持されます。

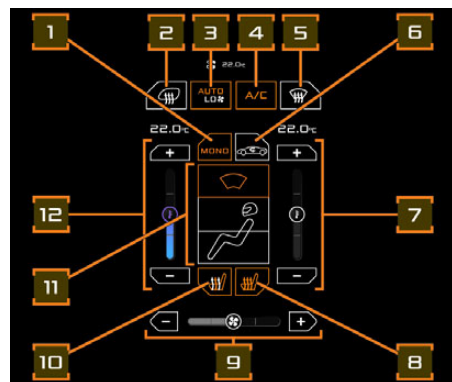
調節ダイヤル



クライメートコントロールシステムはセンターコンソールにあるタッチスクリーンを使用して操作します。ボタンを押すと、室内温度制御画面がオンになります。

快適機能と便利機能 クライメートコントロール

クライメートコントロール



1. 「MONO」 ボタン
2. 「熱線入りミラー」 ボタン
3. 「AUTO/AUTO LO」 ボタン
4. 「エアコン (A/C)」 ボタン
5. 「曇り取り」 ボタン
6. 「内気循環」 ボタン
7. 温度調節 - 右側
8. 「ヒートシート」 ボタン - 右側
9. ブロアー速度調節ダイヤル
10. 「ヒートシート」 ボタン - 左側
11. 「エアディストリビューション」 ボタン
12. 温度調節 - 左側

動作モード

オートマチックモード

オートマチックモードでは、クライメートコントロールシステムは様々なブロアー速度と内気循環およびエアディストリビューションを組み合わせ、設定された室温を維持します。

コントロールパネルでは、色によって動作状態が示されます。

- オレンジはオンになっていることを示します。
- 白はオフになっているが、使用可能であることを示します。
- グレーは、使用できないことを示します。

オートマチックモードをオンにするには「AUTO」ボタンをタッチします。

ボタンのランプが点灯し、車両の左右両側のエアディストリビューション、温度およびブロアー速度が自動的に調節されます。

AUTO モードでは、ブロアー速度やエアディストリビューションを調節する必要はありません。システムが設定された温度を維持するために必要な調節を行います。

それでもクライメートコントロールシステムのエアディストリビューションを変更したい場合は、希望するボタンをタッチしてください。これでシステムは AUTO ファンモードになります。

これは、ブロアー速度スライダーの色によって示されます。ブロアーがオートマチックコントロールになっている場合、バーはグレーで表示され、スライダーが自動的に移動します。この場合、システムはブロアー速度を調節して、設定温度を維持します。また、AUTO LO というモードもあります。AUTO LO 機能はファンを低速で動作させ、キャビン希望する温度に維持します。これにより、自動機能を保ちながらクライメートコントロールシステムから発せられる騒音レベルを低減します。

AUTO LO をオンにするには、AUTO モードで、「AUTO」ボタンを一度押します。「AUTO LO」シンボルが白からオレンジに変わります。

AUTO に戻るには、「AUTO」ボタンを一度押します。

AUTO LO がアクティブなときにブロアー速度を調整すると、デフォルトでマニュアルモードが選択されます。その後、「AUTO」ボタンを押すと AUTO LO モードが再度アクティブになります。「AUTO」ボタンをもう一度押すと、AUTO モードが選択されます。

必要に応じ、システム設定をマニュアルで調節できます。マニュアルモード, 4.6 ページを参照してください。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

マニュアルモード

室温をマニュアルで調節するには、温度調整ダイヤル, 4.7 ページを参照してください。

ブローア速度をマニュアルで調節するには、ブローア速度調節ダイヤル, 4.8 ページを参照してください。

MONO モード

MONO モードにより、運転席側で行った室温設定の変更を、自動的に助手席側の室温設定に適用することができます。

画面上の「MONO」ボタンをタッチすると、ボタンが点灯し、運転席側の室温設定が自動的に助手席側に適用されます。

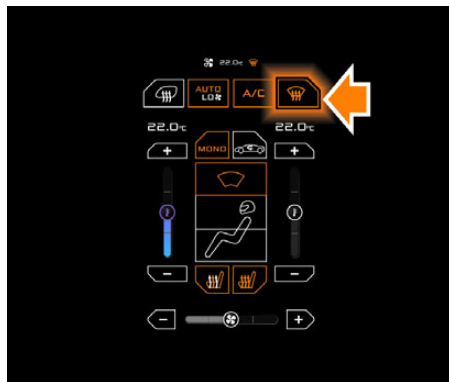
ドライバーは「MONO」ボタンを1回タッチすることで随時 MONO モードを終了できます。その後、画面上の「MONO」ボタンが消えます。

「A/C」(画面) ボタン

A/C により、さらに温度を下げたり、除湿効果を高めたりすることができます。これは最大冷却およびデフロストモードで使用されます。

「A/C」画面ボタンはオン / オフスイッチとして使用します。

曇り取り / デフロスト



画面の曇り取り機能をアクティブにするには、「曇り取り」ボタンをタッチします。機能がアクティブになると、ボタンが点灯し、画面の上部にアイコンが表示されます。エアコンのスイッチがオフになっていた場合はオンになります。ブローアが最高速度で動作し、エア温度が「HI」に設定されます。

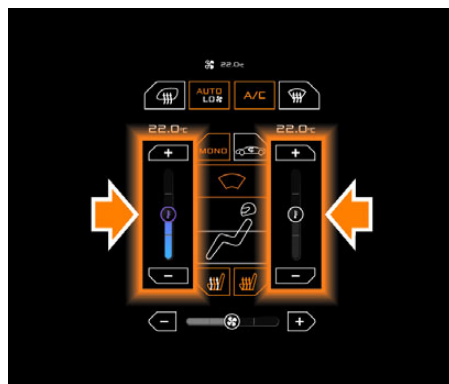
- i** 注意: ブローア速度を手動で遅くすることもできます。ブローア速度調節ダイヤル, 4.8 ページを参照してください。
- i** 注意: 曇り取りモードを選択しているとき、内気循環は使用できません。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

曇り取りモードを終了するには、もう一度「曇り取り」ボタンをタッチします。ボタンのアイコンが消灯し、温度とブローア速度が元の設定に戻ります。

温度調整ダイヤル



温度を上げるには「+」ボタンをタッチし、下げるには「-」ボタンをタッチします。または、温度調節スライダーをタッチし、ドラッグして目的の設定にします。

i 注意：温度は 16～28℃（61～83°F）の範囲で 0.5℃（1°F）刻みで調節できます。「+」ボタン（温度上昇）または「-」ボタン（温度下降）をタッチして、目的の温度に設定します。

最高温度に設定するには、「HI」と表示されるまで「+」ボタンをタッチし続けます。AUTO モードでは、クライメートコントロールシステムによって室温が最高に、ブローア速度が最大に設定され、空気がフットウェルに吹き出されます。

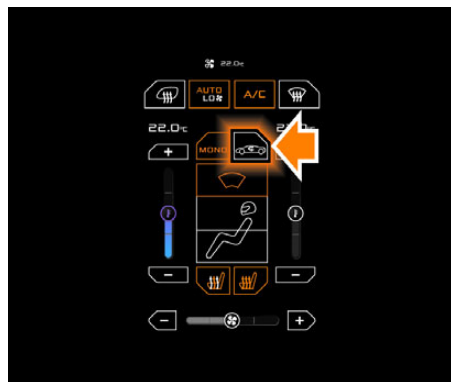
最低温度に設定するには、「LO」と表示されるまで「-」ボタンをタッチし続けます。AUTO モードでは、クライメートコントロールシステムによって室温が最低に、ブローア速度が最大に設定され、空気がセンターエアイベントから吹き出されます。

設定された温度が、タッチスクリーンの運転席側および助手席側コントロールの上に表示されます。

i 注意：「LO」が選択された状態で、エアコンをオフにすることはできません。

快適機能と便利機能 クライメートコントロール

内気循環モード



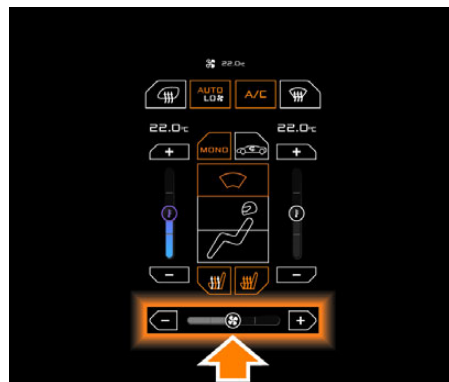
不快な臭いやガスが車内に入ってきたときは内気循環を選択します。外気が車内に取り込まれなくなります。

警告：外気温が低い場合は、内気循環モードを長時間使用しないでください。ウィンドウが曇り、視界が失われる可能性があります。結果として、道路や交通状況への注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。

i 注意：ウィンドウの曇りを防止するため、エアコンのスイッチをオンにしてください。

内気循環をアクティブにするには、「内気循環」ボタンをタッチします。タッチスクリーンのボタンが点灯します。内気循環をオフにするには、再度ボタンをタッチします。ボタンが消灯します。

ブロアー速度調節ダイヤル



i 注意：エンジンが冷えた状態で始動したときはエンジンを暖まるまでブロアー速度が制限され、空気はフロントウィンドウに吹き出されます。

イグニッションによってはブロアー速度が制限されることがあります。

i 注意：エンジンが暖まった状態で再始動した場合は、ブロアーが低速で動作することがあります。これによってベントから暖かい空気を取り除き、その後要求された設定までブロアー速度が上がります。

快適機能と便利機能

クライメートコントロール

ブローア速度を上げるには「+」ボタンをタッチし、下げるには「-」ボタンをタッチします。または、「ファン」アイコンをタッチして、目的の設定にドラッグします。

オートマチックモードになっている場合にブローア速度を調節すると、「AUTO」ボタンが消えます。

オートマチックモードに戻るには、「AUTO」ボタンを押します。

エアディストリビューション設定



エアディストリビューションは「エアディストリビューション」ボタンを使用して設定できます。

空気をフロントウィンドウに吹き出すには、画面上部を押します。センターエアベントから吹き出すには、画面中央部を押します。フットウェルベントから吹き出すには、画面下部を押します。

3つのすべての領域、任意の2つの領域の組み合わせ、あるいは1つの領域をいつでも選択できます。

エアディストリビューション領域を押すと、画面のアイコンが点灯します。

ダッシュボードエアベント



ベントが開くか閉じるまで、いずれかの方向に4分の1回転させます。

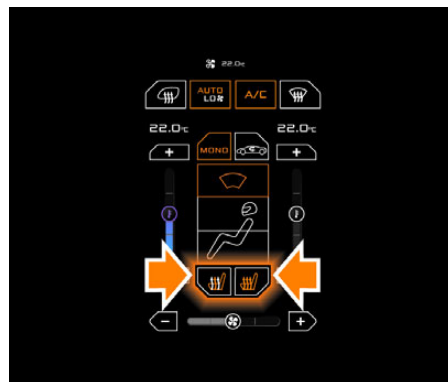
快適機能と便利機能

クライメートコントロール

オートヒートシート

 警告：負傷の危険性を防止するために、シート温度を随時確認してください。

 警告：オートヒートシートは選択したレベルに応じた最適の温度になっても、自動的に電源が切れるようにはなっていません。好みの温度 / 加温時間に達したら、必ずオートヒートシート機能のスイッチを切ってください。



シートヒーターを低い温度設定に切り替えるには、ボタンを1回タッチします。ボタンのアイコンが部分的に点灯します。高い温度設定に切り替えるには、再度タッチします。ボタンのアイコンが完全に点灯します。

スイッチをオフにするには、ボタンを再度タッチします。ボタンのアイコンが消灯します。

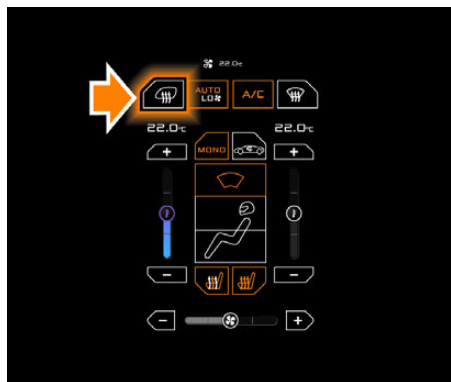
シートヒーターはスイッチを切らない限り作動し続けます。

 注意：シートヒーターは、エンジンが作動している場合にのみ使用可能です。シートヒーターを使用できない場合、ボタンがグレイアウトされて表示されます。

 注意：シートヒーターは、エンジンがエコスタート-ストップシステムによって停止されたときに自動的にオフになりますが、エンジンが再始動すればヒーターも再開します。エコスタート-ストップシステム, 2.11 ページを参照してください。

快適機能と便利機能 クライメートコントロール

熱線入りミラー

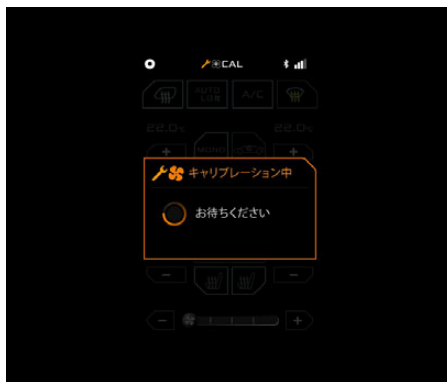


⚠ 警告 : 熱線を作動させる前に、ミラーやウィンドウに付着した氷や雪を取り除いてください。視界が遮られるとドライバーや周囲の者にとって危険です。

外部ミラーを加熱するには、ボタンをタッチします。ボタンのアイコンが点灯します。スイッチをオフするには、ボタンを再度タッチします。ボタンのアイコンが消灯します。

熱線入りミラーは、外気温に応じて設定時間が経過すると自動的にオフになります。

システムキャリブレーション



クライメートコントロールシステムは、最適なシステムパフォーマンスを維持するために、定期的にリキャリブレーションを行うことがあります。このサイクル中は、ディスプレイに「キャリブレーション中」というメッセージが表示され、システムの操作ができなくなります。

キャリブレーションは1分以内に終了し、完了するとディスプレイの「キャリブレーション中」メッセージが消えます。

「キャリブレーション中」メッセージが消えない場合は、マクラレン代理店にお問い合わせください。

快適機能と便利機能 インテリア機能

室内照明



1. 左側リーディングランプオン/オフ/調光タッチパッド
2. 室内照明オン/オフタッチパッド
3. 右側リーディングランプオン/オフ/調光タッチパッド

すべての室内照明を点灯させるには、タッチパッド (2) をすばやく押します。

i 注意: 車両を離れる際は、すべての室内照明が消灯していることを確認してください。

室内照明を消灯させるには、タッチパッド (2) をもう一度押します。

リーディングランプ

リーディングランプを点灯させるには、目的のランプのタッチパッド (1) または (3) を押します。

リーディングランプを調光するには、タッチパッド (1) または (3) を目的の明るさになるまで押し続けます。

それぞれのリーディングランプを消灯させるには、タッチパッド (1) または (3) をもう一度押します。

車内灯

McLaren のインテリアには以下の場所に照明があります:

- ドアを開けた際の運転席および助手席のフットウェル
- センターコンソール (オーバーヘッドライトパネル内のランプにより照明)。イグニッションをオンにすると点灯します
- インテリアドアハンドル。イグニッションをオンにすると点灯します

車内灯はドアを閉じるかイグニッションをオンにしてから1分後に消灯します。

ラゲッジルームランプはラゲッジルームを開けると点灯します。

乗車照明

乗車照明は、車両に近づいたときの視界と安全性を改善します。

車両のロックを解除すると、ヘッドランプとテールランプが一定時間、またはイグニッションスイッチをオンにするまで点灯します。

乗車照明の点灯時間の設定方法は外部照明, 3.18 ページを参照してください。

快適機能と便利機能

インテリア機能

降車照明

降車照明は、ヘッドランプとテールランプを一定時間点灯し、車両を離れる際の視界と安全性を改善します。

降車照明の点灯時間の設定方法は外部照明，3.18 ページを参照してください。

降車照明は、方向指示器レバーを手前に3回瞬間的に引くことによって作動させることができます。車両はアウェイク状態で、イグニッションがオフである必要があります。

降車照明が作動中に方向指示器レバーを引くと、1回引く度に15秒ずつ時間が延長されます。

車両から降車してロックし、設定した作動時間が過ぎると、降車照明が消灯してこの機能は使用できなくなります。再度作動させるにはインストルメントクラスターでオンにするか、方向指示器レバーを使用して手動で作動させます。

MSO 指定カラーパノラミックルーフ



タッチパネルを使用して、目的の色調レベルを選択します。

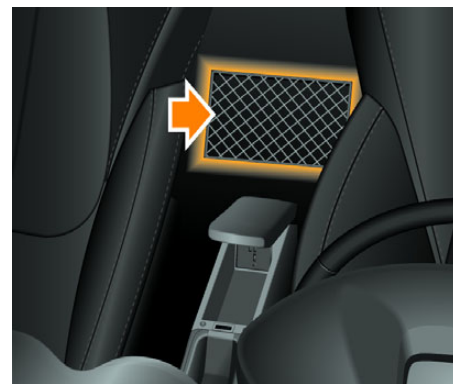
月の記号の方向にタッチすると、色調レベルが下がります。

太陽の記号の方向にタッチすると、色調レベルが上がります。

収納ネット

バルクヘッド収納ネット

警告: 固定していない物品を車内に置かないでください。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。



小物の収納のための収納ネットがシート間のバルクヘッドの上に設けられています。

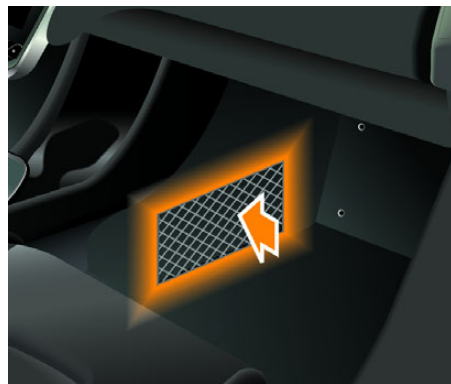
i 注意: 収納ポケットに収納可能な最大重量は1 kg (2.2 lbs) です。

快適機能と便利機能

インテリア機能

⚠ 警告：重量物や先が尖ったもの、壊れやすいものを運搬する際は、収納ネットは使用しないでください。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

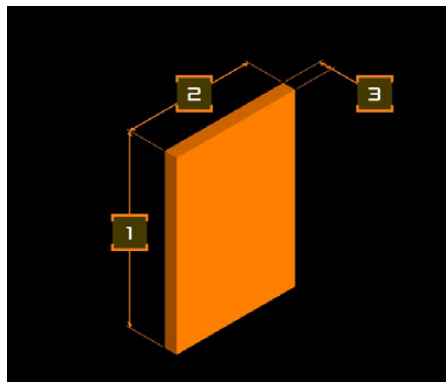
助手席側フットウェル収納ネット



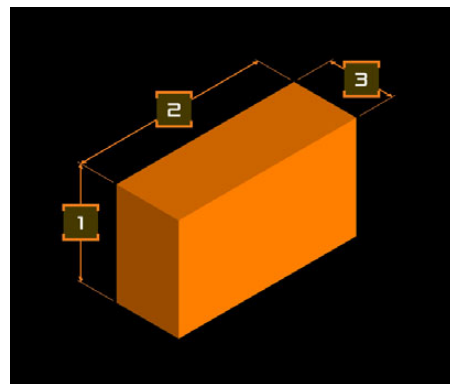
小物を収納するために、助手席側フットウェルに収納ネットが設けられています。

i 注意：助手席側に収納できる最大アイテムサイズは以下のとおりです。

- 最大アイテムサイズ 1 - 高さ 250 mm x 幅 200 mm x 厚さ 20 mm。
- 最大アイテムサイズ 2 - 高さ 100 mm x 幅 200 mm x 厚さ 70 mm。



助手席側フットウェル収納ネットの最大アイテムサイズ 1 - 高さ 250 mm (1) x 幅 200 mm (2) x 厚さ 20 mm (3)。



助手席側フットウェル収納ネットの最大アイテムサイズ 2 - 高さ 100 mm (1) x 幅 200 mm (2) x 厚さ 70 mm (3)。

⚠ 警告：前述の寸法より大きいアイテムを助手席側収納ネットに入れないでください。人身事故の原因となったり、乗員拘束システムの正しい動作を妨げたりする場合があります。

快適機能と便利機能

インテリア機能

警告：重量物や先が尖ったもの、壊れやすいものを運搬する際は、収納ネットは使用しないでください。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

収納ボックス

グローブボックス-600LT および 600LT Spider 以外



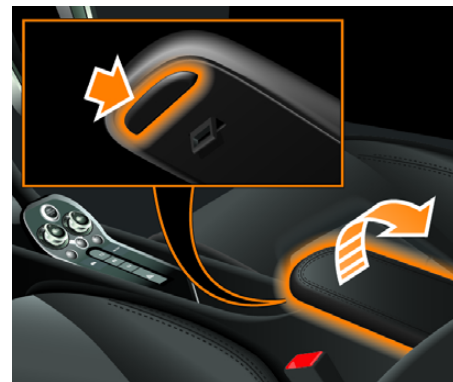
小物を収納するために、ダッシュボードの助手席側にグローブボックスが取り付けられています。

グローブボックスはダッシュボード上部の「リリース」ボタンを押すと、自動的に下がって開きます。閉じるには、しっかりとグローブボックスを押し上げ、確実にラッチされていることを確認します。

i 注意：車両がロックされているか、パレットモードがオンになっている場合、グローブボックスはロックされており、「リリース」ボタンは無効になります。

警告：グローブボックスは中に物品を収納しているときは閉じておく必要があります。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

センターコンソール収納ボックス



小物を収納するために、センターコンソールに収納ボックスが設けられています。

リッドの下側にある「リリース」ボタンを押し、持ち上げて開きます。閉じるには、しっかりとリッドを押し下げ、確実にラッチされていることを確認します。

快適機能と便利機能

インテリア機能

i 注意: 車両がロックされているか、パレットモードがオンになっている場合、収納ボックスはロックされており、「リリース」ボタンは無効になります。

! 警告: 収納ボックスは中に物品を収納しているときは閉じておく必要があります。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

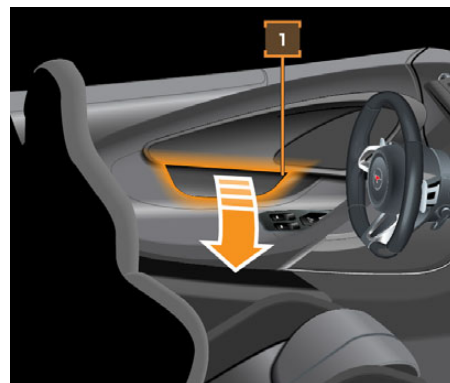


USB と 3.5 mm 補助オーディオ入力ソケットが収納ボックス内に設けられています。USBソケット, 4.19 ページを参照してください。

i 注意: 車両を離れる際には必ず収納ボックスを閉じてください。開けたままにした場合、インテリアモーションセンサー（搭載されている場合）が機能しません。

i 注意: シート後部はラゲッジやその他の個人的物品を収納するようには設計されていません。

ドア収納ボックス - 600LT および 600LT Spider 以外



小物を収納するために、各ドアに収納ボックスが取り付けられています。

リッド前面の端を引いて開け、押し戻せば閉まります。

! 警告: 収納ボックスは中に物品を収納しているときは閉じておく必要があります。急ブレーキや急な進路変更時、事故発生時に乗員が飛び出した物品により怪我を負うおそれがあります。

快適機能と便利機能

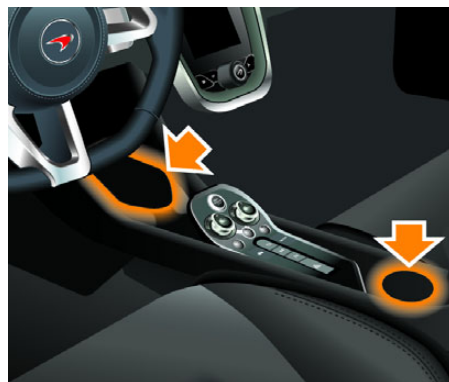
インテリア機能

警告： 警告：物品が落ちる危険性があるため、ドアが開いているときに収納ボックスを開けないでください。

シート収納ポケット

小物を収納するために、運転席前面の端にポケットが取り付けられています。

カップホルダー



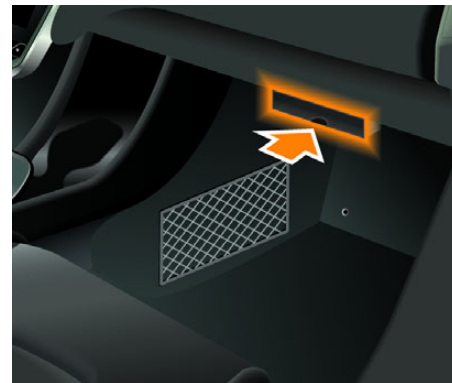
ドライブの際は、蓋付き飲み物の容器を安全で便利に収納できるカップホルダーを利用してください。

警告： 車両走行中に飲み物を飲むと注意が散漫になり、事故につながるおそれがあります。

オーナー文書

McLaren 車には以下の文書が備え付けられています：

- ・ サービスおよび保証ガイド - 問題発生時の対処方法と連絡先が記載されています。
- ・ IRIS ユーザーガイド - マクラーレン車両に搭載されている IRIS システムの全機能の正しい操作方法に関する情報が記載されています。



これらの文書は、助手席側のダッシュボード下のスロットに収納することができます。

快適機能と便利機能 インテリア機能

サンバイザー



運転の際に直射日光から目を守るためには、サンバイザーを下ろしてください。

バニティミラー

この個人用ミラーを使用するには、サンバイザーのパネルをスライドさせます。

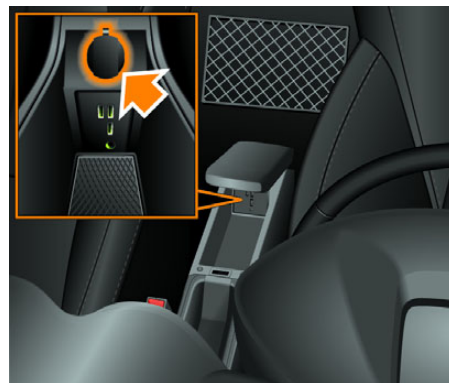
アクセサリ電源ソケット



ラゲッジルームソケット

ラゲッジルームにあるアクセサリソケットの最大負荷電流は20 アンペアで、このソケットのみがマクラーレンのバッテリーチャージャーを接続するために使用することができます。

i 注意：車両から電力の供給を受ける機器は、エンジンをかけている場合を除き、このソケットに接続したまま長時間放置しないでください（マクラーレンのバッテリーチャージャーを除く）。バッテリーの過放電の原因となります。



インテリアアクセサリ 12Vソケット

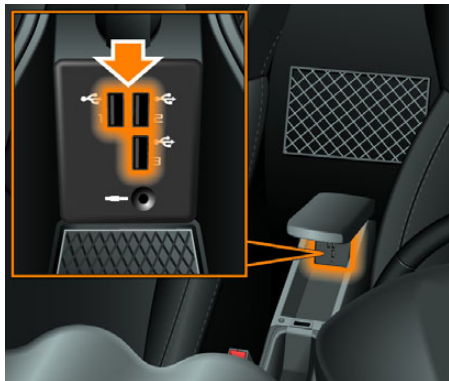
インテリアアクセサリ 12Vソケットは、センターコンソールの収納ボックス内側にあり、最大負荷電流は15 アンペアです。

i 注意：バッテリーチャージャーをインテリアアクセサリソケットに接続しないでください。

快適機能と便利機能 インテリア機能

USB ソケット

メディア USB ソケット



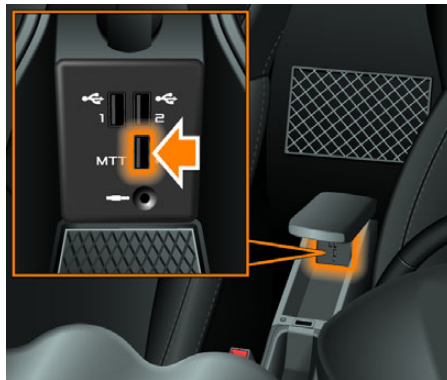
メディア USB ソケットは、センターコンソールの収納ボックス内側にあります。

USB フラッシュドライブ、iPod および IRIS システムに互換性のある他の MP3 プレーヤーを接続するために、3つのメディア USB ソケットを使用することができます。

これらのソケットは、互換性のある携帯電話やメディアデバイスを充電するために使用することもできます。

i 注意: お客様の車両にマクラーレントラックテレメトリ (MTT) が装備されている場合、USB ソケット 3 は MTT 専用ソケットに置き換わります。

マクラーレントラックテレメトリ USB ソケット



マクラーレントラックテレメトリ (MTT) USB ソケットは、メディア USB ソケットとともに、センターコンソールの収納ボックス内側にあります。

MTT アプリケーションからのビデオおよびテレメトリデータは、このソケットに接続された USB フラッシュドライブに保存されます。

i 注意: MTT アプリケーションは、このソケットに接続された USB フラッシュドライブに以前保存したファイルを自動的に上書きします。



メンテナンス

フルードの補充.....	5.2	照明.....	5.25
エンジンオイル	5.2	車両のランプ	5.25
ギアボックスオイルレベル	5.5	マニュアルでロックを解除しドアを開ける	5.26
クーラント	5.6	ロック解除 - 放電したバッテリー	5.26
パワーステアリングフルード	5.8	車両の始動	5.28
ブレーキフルード	5.9	車内からドアを開ける - 放電したバッテリー	5.28
フロントウィンドウウォッシャー	5.10	ラゲッジルームを開ける - 放電したバッテリー	5.29
非常用装備.....	5.11	リモコンキーの電池の交換	5.30
非常用装備の安全性	5.11	ウォッシャーとワイパー.....	5.31
ラゲッジルーム装備 - 600LT および 600LT Spider 以外	5.11	ワイパーブレードの交換	5.31
ラゲッジルーム装備 - 600LT および 600LT Spider	5.11	ホイールとタイヤ	5.33
三角表示板	5.12	ホイールとタイヤ	5.33
救急キット	5.12	タイヤがパンクした場合	5.37
タイヤシーラント	5.13	車両のお手入れ	5.39
けん引フック	5.13	McLaren 車の洗車	5.39
燃料フィルターパイプ	5.13	インテリアのクリーニング	5.41
サービスカバー取り外しツール	5.14	車両カバー	5.42
消火器	5.14	車両のリフト	5.43
バッテリーの点検と保守	5.15	車両のリフトポイント	5.43
バッテリーの安全性	5.15	McLaren アシスタンス.....	5.44
バッテリーの充電	5.15	McLaren アシスタンス	5.44
他車両からのブースト始動	5.16	交換用バッテリー	5.44
ヒューズ.....	5.19	故障時	5.44
ヒューズの交換	5.19	回収のためのけん引	5.45
メインヒューズボックス	5.19	海外での走行	5.46
セカンダリヒューズボックス	5.21	海外での走行	5.46
バッテリーヒューズボックス	5.22		

メンテナンス フルードの補充

エンジンオイル

このエンジンは、運転方法にもよりますが、625 マイル (1,000 km) につき約 0.1 リットルのオイルを消費します。車両が新しいうちや、高回転で走行することが多い場合は、オイルの消費量はこれよりも多くなることがあります。

オイルの消費量は、数千マイルあるいは数千キロメートルを走行した後でないと、測定することはできません。

i 注意: 潤滑油添加剤はエンジンやギアボックスを損傷するおそれがあります。添加剤によって生じた損傷は車両の保証の範囲外となります。詳しい情報はマクラーレン代理店から入手できます。

エンジンオイルの点検

エンジンオイルレベルは手作業で点検しなければなりません。レベル点検や警告が自動的に行われることはありません。

手作業によるエンジンオイルレベルの点検手順は以下のとおりです。

1. 以下の条件を満たしていることを確認します。
 - 車両が静止状態で、水平な地面に置かれている。
 - ニュートラルを選択し、フットブレーキを（左足で）踏んでいる。

i 注意: オイルレベル点検中は常にフットブレーキを踏んでいる必要があります。



2. オイルレベルはインストルメントクラスターの車両情報セクションに表示されます。車両情報, 3.9 ページを参照してください。
3. エンジンを始動し、エンジン回転数を 2,000 rpm に 40 秒間保ちます。エンジンオイル温度が 70°C (158°F) になるまで待ちます。

i 注意: スロットルペダルを完全に踏み込んでも、電子制御によりエンジン回転数は 2,000 rpm に抑制されます。

4. タイマーが「0」になると、オイルレベルが説明とともにインストルメントクラスターに表示されます。

メンテナンス フルードの補充

- i** 注意：ディスプレイ上の線は、オイルレベルの読み取り後 19 秒間の最大オイルレベルを示しています。



5. エンジンオイルが目標オイルレベル未満の場合、次の手順に従ってオイルを補充します。

- i** 注意：オイルレベル点検が完了して結果が表示されたら、システムのテストを終了してください。そのままテストを続けると、オイルに空気が混入し、誤った値が返される可能性があります。オイルレベル点検を終了するには、スロットルペダルを放し、メニューレバーを後ろに動かして車両情報メニューに戻ります。

エンジンオイルの補充

- !** 警告：サービスカバーが開いていると、エンジンが停止していても怪我を負う危険性があります。

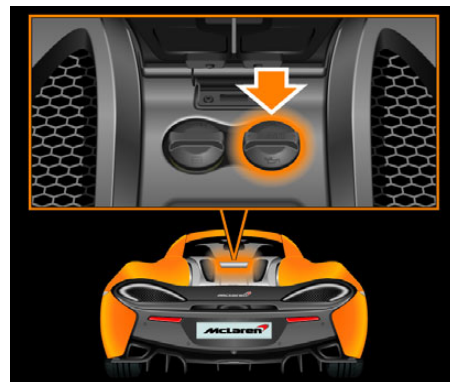
エンジンコンポーネントは非常に高温になります。肌に触れないように注意してください。重度の火傷を負うおそれがあります。

- !** 警告：二次汚染の危険性があるため、決してエンジンオイルと同時にクーラントを補充しないでください。

- !** 警告：エンジンがエコスタート / ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動の可能性があることに注意する必要があります。

- i** 注意：オイルの補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。

1. サービスカバーを開きます。
サービスカバー - Coupe および Spider - 600LT および 600LT Spider 以外、1.12 ページを参照してください。
サービスカバー - GT、1.13 ページを参照してください。
サービスカバー - 600LT および 600LT Spider、1.15 ページを参照してください。

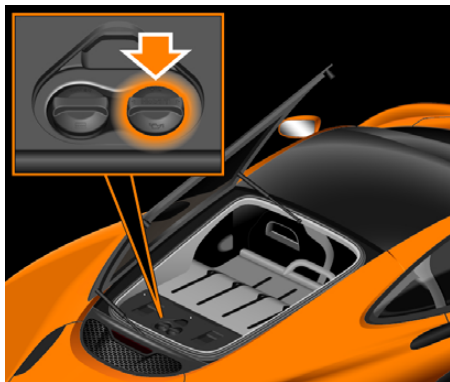


Coupe

2. エンジンオイルフィラーキャップを取り外します。
3. 正しい分量の 0W-40 エンジンオイルを 0.25 リットルずつ補充します。最小レベルから最大レベルまで補充するには、約 0.75 リットルのオイルが必要です。補充する量、5.5 ページを参照してください。

- i** 注意：燃料を入れ過ぎないでください。オイルは 0.25 リットルずつ補充し、その都度オイルレベルを再点検してください。

メンテナンス フルードの補充



GT

4. インストルメントクラスターでレベルが適正であることを確認します。

i 注意: 誤ってエンジンオイルを入れ過ぎてしまった場合は、マクラーレン代理店に入れ過ぎたオイルの抜き取りを依頼する必要があります。エンジンや触媒コンバーターを損傷するおそれがあります。



5. エンジンオイルフィルターキャップを取り付けます。

🌿 環境: オイルを補充する際は、オイルをこぼさないように注意してください。オイルを地面や水路に流してはなりません。

i 注意: オイルフィルターキャップが正しく取り付けられていることを確認してください。キャップとボールのマークの位置を合わせてください。正しく取り付けられていないと、外れてオイルが流れ出てしまうおそれがあります。

6. サービスカバーを閉めます。

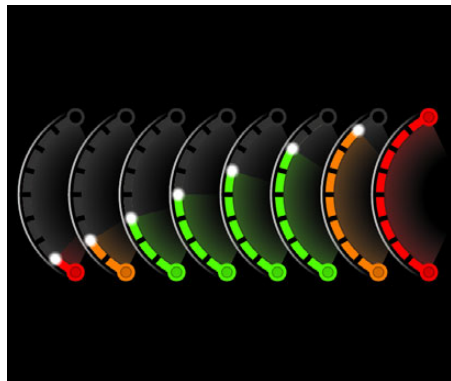
サービスカバー - Coupe および Spider - 600LT および 600LT Spider 以外, 1.12 ページを参照してください。

サービスカバー - GT, 1.13 ページを参照してください。

サービスカバー - 600LT および 600LT Spider, 1.15 ページを参照してください。

メンテナンス フルードの補充

補充する量



インストルメントクラスターに表示されるオイルの状態に基づいて、次の表に示す必要な量のオイルを追加します。

ディスプレイ上のセグメント	必要なオイルの量
1 - 赤 - 不足	1.00 リットル
2 - 黄 - 最小値	0.75 リットル
3 - 緑 - OK	0.50 リットル
4 - 緑 - OK	0.25 リットル
5 - 緑 - OK	0.10 リットル
6 - 緑 - 目標レベル	0 リットル

ディスプレイ上のセグメント	必要なオイルの量
7 - 黄 - 最大値	0 リットル
8 - 赤 - 過多	マクラーレン代理店にお問い合わせください

オイル温度

オイル温度が高すぎる場合、インストルメントクラスターに警告が表示されます。警告メッセージが消えるまで、車速とエンジン回転数を下げます。

ギアボックスオイルレベル

オイルの減少、あるいはギアシフトの問題が生じた場合は、マクラーレン代理店にギアボックスの点検を依頼してください。

i 注意: クラッチオイルとギアボックスオイルの整備間隔は走行距離によって決まります。このメンテナンスは、マクラーレン代理店のみが行えます。

メンテナンス フルードの補充

クーラント

クーラントは水と凍結防止剤 / 防錆剤の混合液です。クーラントの点検時は必ず車両を水平な場所に停車し、エンジンが冷えた状態で行ってください。

クーラントの補充

警告：冷却システムは加圧されています。エンジンが冷めた状態以外ではキャップを開けないでください。エンジンが熱いうちに開けると高温のクーラントが吹き出し、火傷を負うおそれがあります。

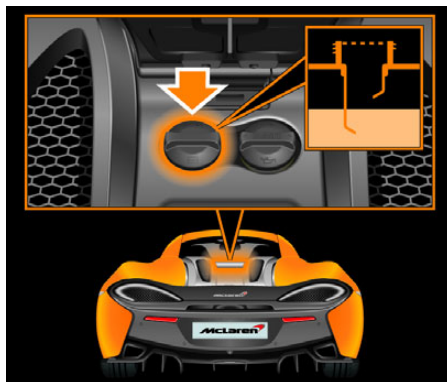
警告：クーラントは高い引火性があります。クーラントを取り扱う際には火気、裸火、喫煙は厳禁です。

警告：クーラントは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。クーラントを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

警告：二次汚染の危険性があるため、決してエンジンオイルと同時にクーラントを補充しないでください。

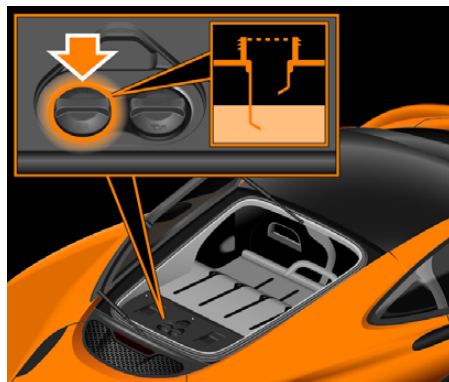
警告：エンジンがエコスタート/ストップシステムにより停止している場合、警告なく再始動の可能性があることに注意する必要があります。

注意：クーラントレベルのチェックと補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。



Coupe

1. サービスカバーを開きます。
サービスカバー - Coupe および Spider - 600LT および 600LT Spider 以外, 1.12 ページを参照してください。
サービスカバー - GT, 1.13 ページを参照してください。
サービスカバー - 600LT および 600LT Spider, 1.15 ページを参照してください。
2. キャップを反時計回りにゆっくりと半回転させ、圧力を逃がします。
3. キャップを完全に開けて取り外します。



GT

4. クーラントは、液面がフィラーネック内の下の段と上の段の間にあれば適正なレベルです。
5. 必要に応じて補充します。

メンテナンス フルードの補充



6. キャップを時計回りに止まるまで回して取り付けます。

i 注意：キャップが正しく取り付けられていることを確認してください。キャップとボールのマークの位置を合わせてください。

7. サービスカバーを閉めます。

サービスカバー - Coupe および Spider - 600LT および 600LT Spider 以外, 1.12 ページを参照してください。

サービスカバー - GT, 1.13 ページを参照してください。

サービスカバー - 600LT および 600LT Spider, 1.15 ページを参照してください。

メンテナンス フルードの補充

パワーステアリングフルード

 **警告:** パワーステアリングフルードは高い引火性があります。パワーステアリングフルードを取り扱う際には、火気、裸火、喫煙は厳禁です。

 **警告:** パワーステアリングフルードは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。フルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。



右ハンドルモデル

フルードレベルの点検

1. イグニッションをオンにしてエンジンを始動します。標準ハンドリングモードを選択します。ハンドリングコントロール, 2.22 ページを参照してください。
2. フルードレベルを点検する前に、エンジンを20秒間アイドリングします。
3. ラゲッジルームを開けます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。
4. アクセスカバーを取り外し、その後キャップを反時計回りに緩めて取り外します。



左ハンドルモデル

5. リザーバーの内側からフルードレベルまでの距離を測定します。最大補充レベルはフィラーネック上部から 50 mm で、最小補充レベルは 55 mm です。
6. 必要に応じて補充します。必ず Pentosin CHF202 パワーステアリングフルードを補充してください。マクラーレン代理店にお問い合わせください。
7. キャップとアクセスカバーを交換します。
8. ラゲッジルームを閉じます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。

メンテナンス

フルードの補充

ブレーキフルード

 **警告:** ブレーキフルードは高い引火性があります。ブレーキフルードを取り扱う際には、火気や裸火には決して近づけず、喫煙は決してしないでください。

 **警告:** ブレーキフルードは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。フルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

 **警告:** 必ず密封された容器に入った新品のブレーキフルードを使用してください。

 **注意:** ブレーキフルードは塗装面に有害であるため、こぼさないように注意してください。こぼしてしまったときはすぐにカーシャンプーの水溶液で洗い落としてください。

 **注意:** ブレーキフルードのチェックと補充を行う前には、必ずエンジンを停止してください。



右ハンドルモデル

フルードレベルの点検

1. ラゲッジルームを開けます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。
2. アクセスカバーを取り外し、その後キャップを反時計回りに緩めて取り外します。
3. ブレーキフルードは、フィラーネック内のフィルターのベースがちょうど浸る程度であれば適正レベルです。



左ハンドルモデル

4. 必要に応じて、必ず新品の Pentosin DoT 5.1 ブレーキフルードを補充してください。
5. キャップとアクセスカバーを交換します。
6. ラゲッジルームを閉じます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。

メンテナンス

フルードの補充

フロントウィンドウウォッシャー

 **警告:**一部のウォッシャーフルードは高い引火性があります。ウォッシャーフルードを取り扱う際には、火気、裸火、喫煙は厳禁です。

 **警告:**ウォッシャーフルードは有毒です。容器は密封し、お子様の手の届かない場所に保管してください。フルードを誤飲した場合は、ただちに医師の診察を受けてください。

 **注意:**一年間を通じてウォッシャーフルードをリザーバーに補充してください。

フロントウィンドウウォッシャーのリザーバーは、ラゲッジルームにあります。

リザーバーの容量は約 2.5 リットルです。

フルードレベルの点検

1. ラゲッジルームを開けます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。
2. リザーバーに補充する前に、ウォッシャーフルード濃縮液と水を容器で混合します。ウォッシャー溶液は気温に適した濃度になるように混合する必要があります。



3. アクセスカバーを取り外します。
4. リザーバーのキャップを開けてウォッシャーフルードを補充し、キャップを閉めます。
5. アクセスカバーを交換します。
6. ラゲッジルームを閉じます。フロントラゲッジルーム, 1.16 ページを参照してください。

メンテナンス 非常用装備

非常用装備の安全性

非常用装備を使用する前に、以下の安全情報を良くお読みください。

警告：非常用装備を使用する際には必ず、適切な使用法を確認し、本来の目的にのみ使用してください。非常用装備は必ず、安全かつ責任ある方法により、他の交通に注意して使用してください。

ラゲッジルーム装備 - 600LT および 600LT Spider 以外



i 注意: けん引フックは救急キットケースに入っており、燃料フィラーパイプは車両に付属しています。

ラゲッジルーム装備 - 600LT および 600LT Spider



i 注意: けん引フックは救急キットケースに入っており、燃料フィラーパイプは車両に付属しています。

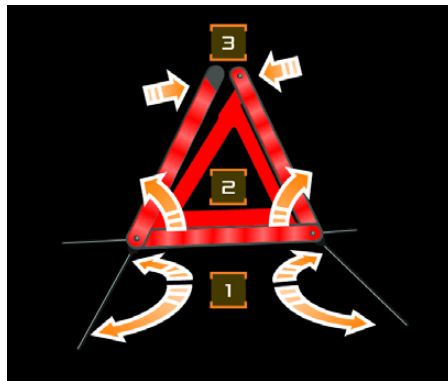
メンテナンス 非常用装備

三角表示板



三角表示板 (1) はラゲッジルームの最前部にあります。

三角表示板の立て方



脚 (1) を下部から横に広げます。

サイドリフレクター (2) を上に引き上げて三角表示板を作り、スナップボタン (3) で頂点を固定します。

他の交通に故障車の存在を警告するために、車両から適切な距離に三角表示板を置きます。

救急キット



救急キット (2) はラゲッジルームの最前部にあります。

i 注意：救急キット用品の使用期限を 12 か月ごとに確認し、必要に応じて交換してください。

メンテナンス 非常用装備

タイヤシーラント



タイヤシーラント (3) は、ラゲッジルームの最前部にあります。

タイヤシーラントの使用法の説明はタイヤがパンクした場合、5.37 ページを参照してください。

i 注意: タイヤシーラントの使用期限を 12 か月ごとに確認し、必要に応じて交換してください。

けん引フック



けん引フック (4) は、ラゲッジルーム最前部の救急キットケースに入っています。

i 注意: お客様のマクラーレンは、フロントけん引フックマウントのみが装備されています。他の車両をけん引することはできません。

けん引フックの取り付け方法についてはけん引フックとマウント、5.45 ページを参照してください。

燃料フィラーパイプ



燃料フィラーパイプ (5) は車両に付属しています。

i 注意: 燃料フィラーパイプはガソリンスタンドの給油機以外から燃料を給油する際にのみ使用してください。

クーラント、エンジンオイル、その他のフルードの補充に燃料フィラーパイプを使用しないでください。

メンテナンス 非常用装備

サービスカバー取り外しツール



サービスカバー取り外しツール（6）は、ラゲッジルーム最前部の救急キットケースに入っています。

消火器



消火器はラゲッジルームの後部にあります。
固定ストラップを外し、消火器を取り出します。
使用方法は、消火器側面に記載されているメーカーの説明に従ってください。

i 注意：消火器は12か月ごとに点検する必要があります。点検を怠ると、緊急時に使用できないおそれがあります。消火器を使用した場合は交換してください。

メンテナンス

バッテリーの点検と保守

バッテリーの安全性

バッテリーチャージャーを使用する前に、以下の安全情報をよくお読みください。

 **警告:** お客様のマクラレーンにはリチウムイオンバッテリーが搭載されています。リチウムイオンバッテリーチャージャー以外は使用しないでください。詳細については、マクラレーン代理店にお問い合わせください。

 **警告:** お客様のマクラレーン車両に搭載されているリチウムイオンバッテリーはシールドタイプです。バッテリーセルの点検のためにバッテリーシールを破壊してはなりません。

 **警告:** 車両を長期間使用しない場合は、リチウムイオンバッテリーを適切なリチウムイオンバッテリーチャージャーに接続し、電源を入れておいてください。そうすることでバッテリーを維持し、寿命を伸ばすことができます。

 **警告:** 使用する前にすべてのケーブルが正常な状態であることを確認してください。傷んだケーブルは使用しないでください。

すべてのケーブルが鋭利なものに触れたり、何かに挟まったり、高温の部分に触れたり水に浸かったりしていないことを確認してください。

損傷したバッテリーは決して充電しないでください。バッテリーの充電は必ず風通しの良い場所で行ってください。決してチャージャーに覆いをかけたり、チャージャーをバッテリーの上に置いたりしてはなりません。

バッテリーの上に金属製のものを置かないでください。バッテリーがショートし、発火するおそれがあります。

チャージャーは常にお子様の手の届かない場所に保管してください。

バッテリーの充電

 **注意:** リチウムイオンバッテリーを最適な状態に維持するため、車両を長期間運転しない場合、その間は常にマクラレーンのバッテリーチャージャーをバッテリーに接続し、電源を入れておいてください。

 **注意:** バッテリーチャージャーをインテリアアクセサリースOCKETに接続しないでください。

メンテナンス

バッテリーの点検と保守



バッテリーチャージャーの取扱説明書を参照してください。チャージャーはラゲッジルームのアクセサリソケットに接続します。

他車両からのブースト始動

ブースターケーブルの使用

警告：両方の車両のバッテリーが 12 V であること、ブースターケーブルのクランプに絶縁が施されていること、12 V バッテリーへの使用が認定されていることを確認してください。

警告：プラス (+) 電極とマイナス (-) 電極を接続しないでください。

警告：エンジンの回転部分の近くで作業を行う場合は十分に注意してください。ケーブルは常に清潔に保ってください。

注意：24 V ブースタースタートシステムは使用しないでください。非常に高電圧であるため、車両の電気系統を損傷するおそれがあります。

注意：バッテリーが放電した場合、車両を押すかけん引して始動することができます。

注意：救援車を使用する場合は、バッテリーが放電した車両を始動する前に救援車のエンジンを最低 2 分間作動させてください。

ブースト手順

1. 救援車を使用する場合は、バッテリーの位置が隣り合うように駐車します。ただし、車両同士が接触しないように注意してください。
2. パーキングブレーキをかけ、両方の車両のトランスミッションをニュートラル（または、オートマチック車の場合はパーキングポジション）に入れます。
3. 両方の車両のイグニッションスイッチとすべての電装品のスイッチをオフにします。
4. ラゲッジルームを開け、内容物をすべて取り出します。

メンテナンス バッテリーの点検と保守

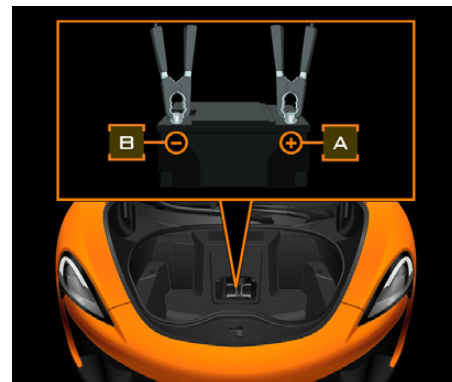


5. バッテリーアクセスカバーの上部を固定しているネジを2分の1回転させて取り外します。



6. バッテリーアクセスカバーの上部を開き、カバー背面にある2個の電気コネクタを外します。
7. その位置決めベグから上向きにバッテリーアクセスカバーを持ち上げ、取り外します。

i 注意：ブースターケーブルを接続する前に、走行不能車両のバッテリー端子が正しく接続されていること、すべての電装品のスイッチがオフになっていることを確認してください。



8. プラス (+) ブースターケーブルの一方の端を電源供給車両のプラス (+) 端子に接続します。
9. プラス (+) ブースターケーブルの反対側を走行不能車両のバッテリーのプラス (+) 端子 (A) に接続します。
10. マイナス (-) ブースターケーブルの一方の端を電源供給車両のバッテリーのマイナス (-) 端子に接続します。
11. マイナス (-) ブースターケーブルの他方の端を走行不能車両のバッテリーのマイナス (-) 端子 (B) に接続します。
12. ケーブルが可動部分に触れておらず、4箇所接続部が確実に接続されていることを確認します。

メンテナンス

バッテリーの点検と保守



警告: 各接続部が確実に接続されていること、クリップが偶然接続点 / バッテリーターミナルからずれ落ちたり引き外されたりする危険性がないことを確認してください。万一外れた場合、火花が散り火災や爆発を引き起こすおそれがあります。

13. 救援車のエンジンをかけて 2 分間作動させます。
14. これで、バッテリーが放電した車両の電気系統により、エンジンを始動する準備ができました。
15. バッテリーが放電した車両のエンジンを始動します。
16. 両方の車両を 2 分間アイドリングします。
17. 救援車のスイッチを切ります。



注意 : ブースターケーブルを取り外すまでは、バッテリーが放電した車両の電気回路のスイッチはオンにしないでください。



注意 : バッテリーが完全に放電してしまった場合や取り外した場合は、ウィンドウをリセットする必要があります。ウィンドウのリセット , 4.3 ページを参照してください。この方法で問題が解決しない場合は、直ちにマクラーレン代理店にご連絡ください。

ケーブルの取り外し



警告: ブースターケーブルを取り外すときはバッテリーが放電した車両のエンジンが作動しているので、重大な怪我を負うことのないように十分に注意してください。作業位置の近くには高電圧の部品や高温になる部品があります。

1. ブースターケーブルの取り外しは、接続時と逆の順序で行います。
2. バッテリーアクセスカバーを再び取り付け、2 個の電気コネクターを接続して、2 本のネジで固定します。

メンテナンス ヒューズ

ヒューズの交換

⚠ 警告: ヒューズは車両の電気システムを保護しています。ヒューズが故障すると、各ヒューズが保護しているシステムが動作不能になります。

同一の定格と種類の交換用ヒューズを使用してください。誤った定格のヒューズを使用するとシステムに過負荷がかかり、火災や故障の原因になります。切れたヒューズは必ず交換し、決して修理して使用しないでください。

i 注意: ヒューズを取り外す前にすべての電装品のスイッチを切り、イグニッションスイッチをオフにしてください。

この車両には、以下の3つのヒューズボックスがあります。

ヒューズボックス	場所
メインヒューズボックス	左シート後部のリアバルクヘッド内のパネルの裏側
セカンダリヒューズボックス	助手席側ダッシュボードの下
バッテリーヒューズボックス	バッテリーの上、ラゲッジルーム内、ラゲッジルームカバーの下

メインヒューズボックス

メインヒューズボックスへのアクセス



1. メインヒューズボックスにアクセスするには、次の手順に従います。

- マニュアルシートが装着されている場合、チルトリリースレバーを持ち上げ、左側シートのバックレストを前方に傾けます
- 電動シートが装着されている場合、リリースストラップを引き（上図）、左側シートのバックレストを前方に傾けます
- レーシングシートが装着されている場合は、レーシングシートを前方にスライドさせます。

メンテナンス ヒューズ



2. パネルをバルクヘッドに固定している 2 つの下側クリップをリリースし、パネルを取り外します。
3. 作動しなくなった電気システムを保護しているヒューズを判別するには、メインヒューズボックスヒューズ規格一覧表、5.20 ページのヒューズ規格一覧表を参照してください。

i 注意: アクセスパネルの内側に、ヒューズを識別するラベルが貼付されています。

4. 該当するヒューズを取り外し、同じ値のヒューズに交換します。不確実な場合はヒューズ規格一覧表で確認してください。

5. アクセスパネルの 2 つの上部保持クリップをバルクヘッドに挿入して取り付け、2 つの下部クリップで固定します。

i 注意: ヒューズを交換しても電気系統の問題が解決しない、またはすぐに切れてしまう場合は、マクラーレン代理店にご相談ください。

メインヒューズボックスヒューズ規格一覧表

No.	アンペア	保護対象回路
F1	60	セカンダリアエアポンプ
F2	60	セカンダリアエアポンプ
F3	-	-
F4	-	-
F5	30	パワートレインシャシー コントロールユニット
F6	30	パワートレインシャシー コントロールユニット
F7	30	スターター
F8	30	熱線入りリアウィンドウ およびアンビリカル
F9	30	オーディオアンプ (ティア 3)
F10	40	ルーフポンプ - Spider

No.	アンペア	保護対象回路
F11	20	ルーフ ECU - Spider
F12	-	-
F13	5	パワートレインシャシー コントロールユニット
F14	5	エンジンコントロール モジュール
F15	10	リレー
F16	10	OBD 診断
F17	3	ドアロックスイッチ
F18	50	ECU メインリレーコント ロール
F19	-	-
F20	30	運転席
F21	30	助手席
F22	50	燃料ポンプ 1
F23	5	チルト/マイクロウェーブ センサー
F24	15	オーディオアンプ (ティア 1 および 2)
F25	10	運転席/助手席ドアラッチ
F26	10	ICPC

メンテナンス ヒューズ

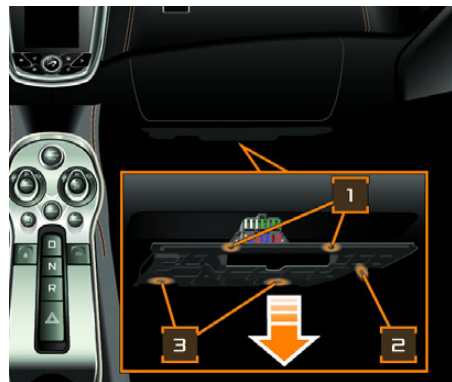
No.	アンペア	保護対象回路
F27	15	オーディオアンプ (ティア1および2)
F28	-	-
F29	-	-
F30	-	-
F31	50	左側クーリングファン
F32	50	右側クーリングファン
F33	-	-
F34	20	ホイールアーチファン
F35	-	-
F36	20	バッテリーメインリレー
F37	15	キャニスターパージ
F38	15	燃料インジェクション/ イグニッション-左バンク
F39	15	燃料インジェクション/ イグニッション-右バンク
F40	10	エンジン補機類
R41	-	ホイールアーチファン
R42	-	-
R43	-	-

No.	アンペア	保護対象回路
R44	-	-
F45	10	電動サーモスタット、カム シャフトアクチュエーター
F46	3	エンジン補機類
F47	3	エンジン補機類
F48	-	-
F49	5	スターター
R50	-	-
R51	-	熱線入りリアウィンドウ
R52	-	-
R53	-	パワートレインシャシー コントロールユニット
R54	-	パワートレインシャシー コントロールユニット
R55	-	スターター
R56	-	セカンダリアエアポンプ
R57	-	クーリングファン
R58	-	ECU メインリレー コントロール

セカンダリヒューズボックス

セカンダリヒューズボックスへのアクセス

1. セカンダリヒューズボックスは、助手席側ダッシュボード下のクロージングパネルを下げることでアクセスが得られます。



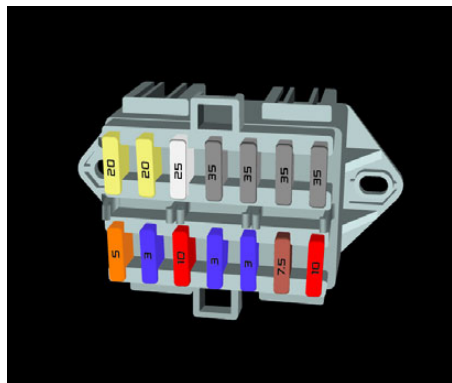
2. 正面の2本のねじ (1) を取り外します。
3. 側面の固定クリップ (2) を取り外します。

i 注意: クロージングパネルを完全に下げるには、さらに背面のクリップ (3) 2個を取り外します。

4. ヒューズボックスにアクセスできるように、クロージングパネルを十分に下げます。

メンテナンス ヒューズ

i 注意: クロージングパネルが傷つかないように、必要以上には下げないでください。



5. 該当するヒューズを取り外し、同じ値のヒューズに交換します。不確実な場合はヒューズ規格一覧表で確認してください。
6. クロージングパネルを元の位置に戻してクリップを取り付け、正面の2つのねじを締め付けます。

No.	アンペア	保護対象回路
F3	25	ランプ
F4	35	ランプ
F5	35	ボディ
F6	35	ボディ
F7	35	アラーム
F8	3	車外 AM/FM チューナ
F9	3	USB AUX モジュール
F10	10	エアコン
F11	3	アラームコントロールユニット
F12	3	トラッカー
F13	7.5	アラーム
F14	10	インストルメントクラスター

セカンダリヒューズボックスヒューズ規格一覧表

No.	アンペア	保護対象回路
F1	20	運転席ドア
F2	20	助手席ドア

バッテリーヒューズボックス

バッテリーヒューズボックスへのアクセス

1. ラゲッジルームリッドを開け、入っているものをすべて取り出します。

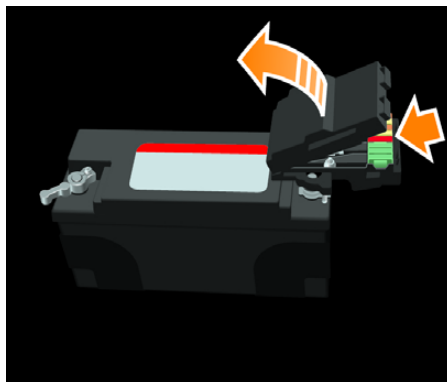


2. バッテリーアクセスカバーの上部を固定している2個のネジを取り外します。

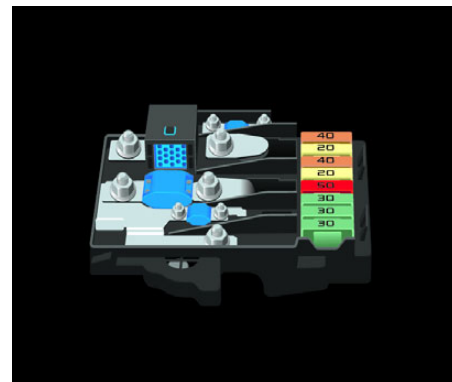
メンテナンス ヒューズ



3. バッテリーアクセスカバーの上部を開き、カバー背面にある2個の電気コネクタを外します。
4. その位置決めペグから上向きにバッテリーアクセスカバーを持ち上げ、取り外します。



5. カバーの右側のキャッチ2つを押してヒューズボックスのカバーを取り外します。



6. 該当するヒューズを取り外し、同じ値のヒューズに交換します。不確実な場合はヒューズ規格一覧表で確認してください。
7. カバーの左側をヒューズボックスにはめ込み、右側をいっばいに押し込んでクリップを完全にかみ合わせます。
8. バッテリーアクセスカバーを再び取り付け、2個の電気コネクタを接続して、2本のネジで固定します。
9. ラゲッジルームから取り出したものを収納します。

メンテナンス

ヒューズ

バッテリーヒューズボックスヒューズ規格一覧表

No.	アンペア	保護対象回路
1	-	-
2	-	-
3	30	エアコン - モーター - コントロールモジュール
4	50	セカンダリヒューズ ボックス電源
5	20	エレクトロニクススタビリ ティコントロールバルブ
6	40	エレクトロニクススタビリ ティコントロールモーター
7	20	補助電源ソケット - ラゲッジルーム
8	40	セカンダリヒューズボック ス電源
9	100	電動油圧パワーアシストス テアリング
10	200	メインヒューズボックス 電源
11	-	-

メンテナンス

照明

車両のランプ

照明は車両の安全上重要な局面です。すべてのライトがいつでも点灯することを保証する必要があります。

McLaren 車のすべての外部ランプは最新の発光ダイオード（LED）技術を使用しています。

従来のフィラメント式電球とは異なり LED ランプは寿命が長く、低消費電力でありながら同等の照度を実現できます。

ヘッドランプ

お客様のマクラーレンには発光ダイオードのヘッドランプが装備されています。これらのランプは、特に悪天候時や走行条件の悪いときに、ロービームでもハイビームでもより広い視界を提供します。



注意: 発光ダイオードをご自分で交換しようとししないでください。車両の照明システムを損傷するおそれがあります。故障の場合は、最寄りのマクラーレン代理店にお問い合わせください。

メンテナンス

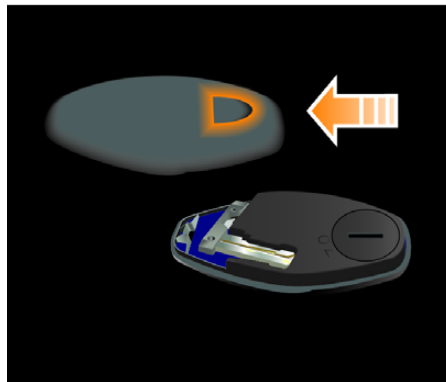
マニュアルでロックを解除しドアを開ける

ロック解除 - 放電したバッテリー

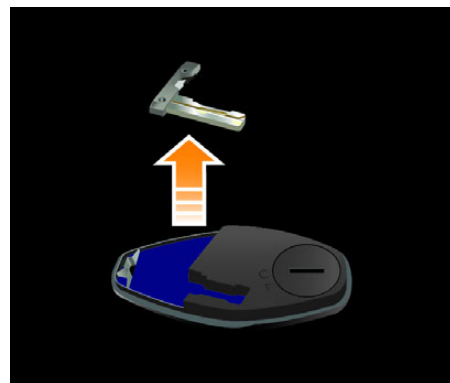
車両のバッテリーが放電した場合、またはリモコンキーの電池の放電によって車両をロックまたはロック解除できなくなった場合は、機械式キーを使用してください。

i 注意: バッテリーが著しく放電してしまった場合はウィンドウが少しだけ下がり、左側ドアをマニュアルキーで開けられるようになります。アラームの鳴動を防止するために、アラームシステムは解除されます。

ロックを解除しドアを開ける手順



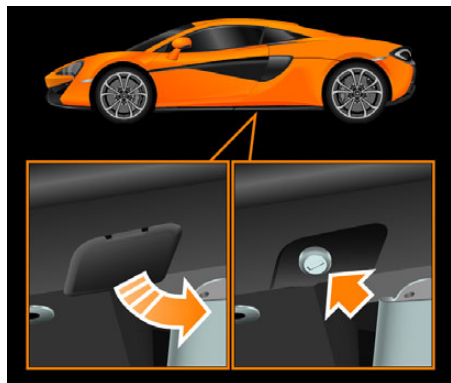
1. 親指でインデントを押してリモコンキーからバックカバーをスライドさせます。



2. 機械式キーをリモコンキーから取り外します。

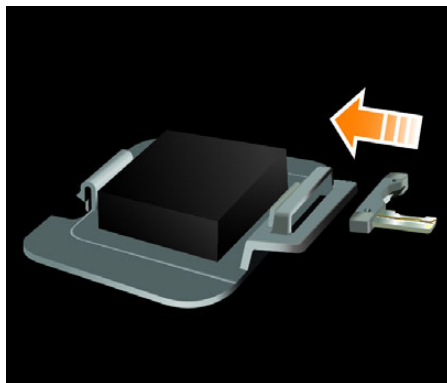
メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

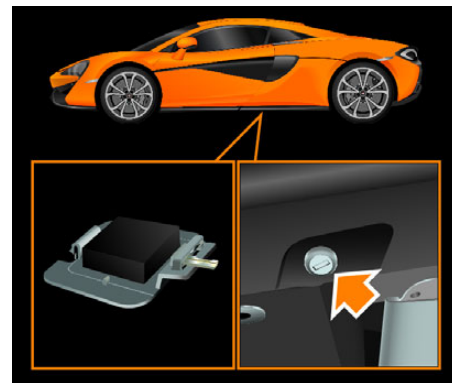


3. 機械式ロックは、ドア下部のシルパネルにある取り外し可能なパネルの下に設置されています。
4. くぼみに指を入れてパネルを外側に引き、パネルを取り外します。

i 注意: パネルは車両に固定されていないので、完全に取り外すことができます。パネルが無理のない状態で格納されていて、機械式キーの使用により損傷するおそれがないことを確認してください。



5. 取り外したパネルのスロットに機械式キーを挿入します。



6. 機械式キーをロックに挿入し、取り付けられたパネルを利用して、機械的抵抗がなくなりドアロックが完全に解除される位置までキーを回します。
7. ドアのラッチ部分に圧力をかけ（ドアシールの圧力に対抗するため）、さらにキーを回してドアをリリースします。

i 注意: 車両のバッテリーが放電し、ウィンドウが下がらない場合は、ドアを開閉する際には注意してください。ドアを無理に開閉しないでください。ドアシールやウィンドウを損傷するおそれがあります。

8. 機械式キーを元通りリモコンキーに取り付けます。

メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

- i** 注意: 機械式キーを用いて車両のロックを解除すると盗難防止システムが作動し、アラームが鳴ることがあります。ドアを開けたら、10 秒以内に、リモコンキーをスイッチパネルのすぐ後ろのカップホルダーハウジングのセクションに置いてください。車両がリモコンキーを認識し、アラームの鳴動を中止します。
9. リモコンキーの電池が放電している場合は、できるだけ早い機会にバッテリーを交換してください（リモコンキーの電池の交換, 5.30 ページを参照）。
 10. カバーパネルを取り付けます。

車両の始動

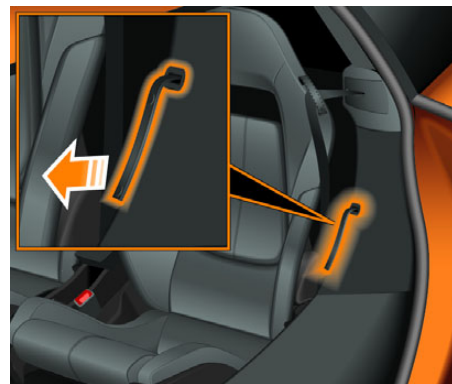


リモコンキーの電池が放電しており、エンジンが始動しない場合は、スイッチパネルのすぐ後ろにある専用プレートのそばにリモコンキーを置きます。

この場所に置くと車両は有効なリモコンキーの存在を感知でき、車両を始動し、走行することができます。

できるだけ早い機会にリモコンキーの電池を交換してください。リモコンキーの電池の交換, 5.30 ページを参照してください。

車内からドアを開ける - 放電したバッテリー



車内からドアをリリースするには、マニュアルドアリリースストラップリテーナを外し、ストラップを引きます。

ドアラッチが外れると、ドアが少し持ち上がり、外側上方に自動的に回転します。

リリースストラップを取り付けるには、ストラップをホルダー内に入れ、リテーナを元の場所にはめ込みます。

- i** 注意: このストラップは、バッテリーが放電したとき以外は使用しないでください。

メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

i 注意：使用後は、マニュアルドアリリースストラップの両方のリテーナがドア開口部の正しい位置に正しく取り付けられていることを確認してください。

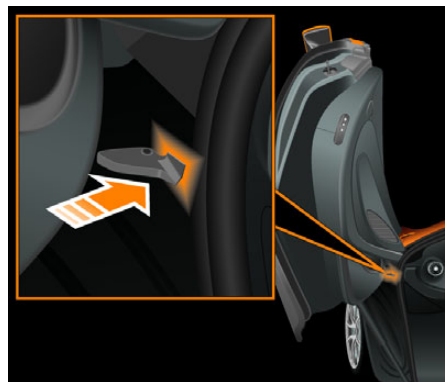
i 注意：リテーナをドア開口部の所定の位置に取り付ける前に、マニュアルドアリリースストラップが完全に巻き取られていることを確認してください。

ラゲッジルームを開ける - 放電したバッテリー

i 注意：バッテリーが放電してしまった場合、または接続されていない場合、リモコンキーまたはセンターコンソール上の「ラゲッジルーム」ボタンでラゲッジルームをリリースすることはできません。その場合はマニュアルリリースメカニズムを使用してください。

ラゲッジルームを開ける手順

1. 左側ドア開口部のハンドルを押します。
2. ラゲッジルームのロックが完全に解除され、少し開きます。
3. ラゲッジルームリッドの前面を持ち上げると、ガスストラットにより完全に開いた位置で支持されます。



メンテナンス

マニュアルでロックを解除しドアを開ける

リモコンキーの電池の交換

リモコンキーの電池は 24 か月ごとに新しい電池に交換してください。ご自分で行うことも、マクラレン代理店に依頼することもできます。

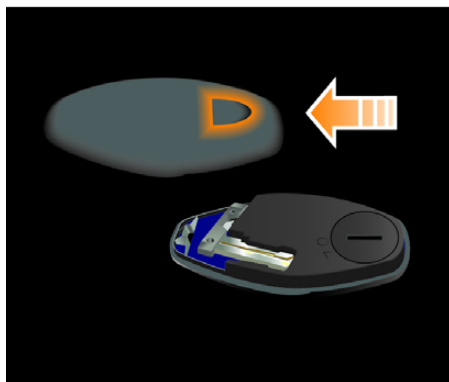
リモコンキーの電池が放電してしまった場合、車両のロックを解除するには機械式キーを使用する以外の方法はありません。

CR2032 3V 電池 1 個が必要となります。

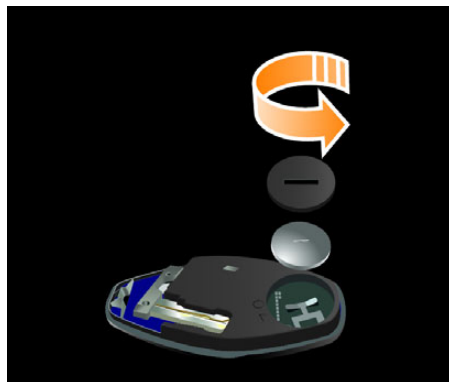
 **警告：電池には有害物質が含まれています。電池を誤飲した場合はただちに医師の診察を受けてください。**

 **環境：**電池を家庭ゴミと一緒に捨てないでください。電池には有害物質が含まれています。

放電した電池はマクラレン代理店または使用済み電池のリサイクル回収所にお持ちください。



1. 親指でインデントを押してリモコンキーからバックカバーをスライドさせます。



2. バッテリーカバーのネジを外し、放電したバッテリーを取り出します。
3. 極性が正しいことを確認し、新しいバッテリーを取り付けます。

 **注意：**電池にはできるだけ触れないでください。指の水分と油分によって電池の寿命が縮んだり、接点が腐食したりするおそれがあります。電池を持つ場合は、端のみを持ってください。

4. しっかりと密封されていることを確認して、バッテリーカバーを取り付けます。
5. リモコンキーにバックカバーを取り付けます。

メンテナンス

ウォッシャーとワイパー

ワイパーブレードの交換

⚠ 警告：ワイパーブレードを交換する際は、イグニッションスイッチがオフになっていることを確認してください。フロントウィンドウワイパーが作動した場合、負傷するおそれがあります。

⚠ 警告：ワイパーブレードは 12 か月ごとに交換してください。そうしないと、フロントウィンドウを十分に拭き取ることができなくなります。その結果、道路や交通状況が十分に把握できず、事故につながるおそれがあります。

ワイパーブレードの停止

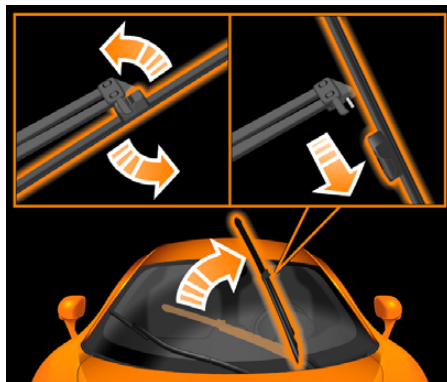
1. 「STOP/START（始動 / 停止）」ボタンを 1 回押してアクセサリモードをオンにします。ブレーキペダルは踏まないでください。

2. ワイパーコントロールストークを手前に 2 回引くと、ワイパーは冬季用停止位置に移動し、その後サービス停止位置に向かいます。

冬季用停止位置では、ワイパーアームが垂直になり、水はけを良くして雪が積もらないようにします。

サービス停止位置では、ワイパーアームがワイパーブレードの交換に便利な位置になります。

メインワイパーブレードの取り外し方



1. ワイパーブレードをフロントウィンドウのサービス停止位置に合わせます。ワイパーブレードの停止、5.31 ページを参照してください。

2. ウィンドウからメインワイパーアームを持ち上げます。
3. ワイパーブレードを 90 度回転させ、矢印の方向に取り外します。

i 注意：ワイパーアームをフロントウィンドウから上げているときは、決してラゲッジルームリッドを開けないでください。ラゲッジルームリッドやワイパーアームを損傷するおそれがあります。

i 注意：ワイパーブレードを装着せずにワイパーアームをフロントウィンドウに下ろさないでください。

新しいメインワイパーブレードの取り付け方

1. ワイパーアームにワイパーブレードをスライドさせ、90 度回転させます。

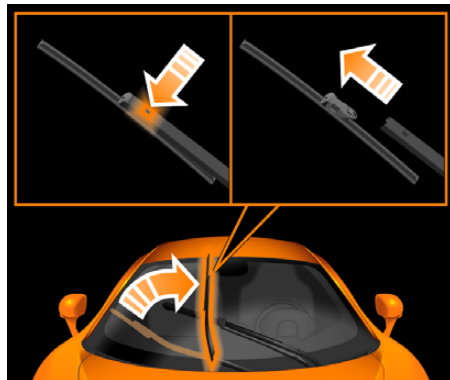
i 注意：ワイパーブレードが確実にワイパーアームに装着されていることを確認します。

2. ワイパーアームをフロントウィンドウに下ろします。
3. ワイパーコントロールストークを手前に 1 回引くと、ワイパーは通常の停止位置に戻ります。

メンテナンス

ウォッシャーとワイパー

スモールワイパーブレードの取り外し方



1. ワイパーブレードをフロントウィンドウのサービス停止位置に合わせます。ワイパーブレードの停止, 5.31 ページを参照してください。
2. ウィンドウからスモールワイパーアームを持ち上げ、
3. ワイパーブレードクリップを押し下げて、アームから引き抜きます。

i 注意: ワイパーアームをフロントウィンドウから上げているときは、決してラゲッジルームリッドを開けないでください。ラゲッジルームリッドやワイパーアームを損傷するおそれがあります。

i 注意: ワイパーブレードを装着せずにワイパーアームをフロントウィンドウに下ろさないでください。

新しいスモールワイパーブレードの取り付け方

1. ワイパーブレードをワイパーアームにスライドさせ、クリップがアームとかみ合ったことを確認します。

i 注意: ワイパーブレードが確実にワイパーアームに装着されていることを確認します。

2. ワイパーアームをフロントウィンドウに下ろします。
3. ワイパーコントロールストークを手前に1回引くと、ワイパーは通常の停止位置に戻ります。

メンテナンス ホイールとタイヤ

ホイールとタイヤ

 **警告:** すり減ったタイヤはアクスルごと的一对で交換し、タイヤが指定通りに取り付けられていることを確認してください。すり減ったタイヤで走行すると、特に高速走行時に車両の安定性に悪影響が生じます。

新しいタイヤを装着した場合は、運転スタイルに合わせた適切なベディングについて、マクラーレン代理店にご相談ください。

- 新品タイヤの装着後は、高速でのコーナリングやスピードの出し過ぎは避けてください。
- 必ず同一タイプおよびメーカーのホイールとタイヤを装着してください。
- パンクを修理したタイヤは決して使用しないでください。
- 必ず正しいサイズのタイヤを装着してください。
- タイヤは紫外線、極度の高温や低温、高荷重、環境条件の影響により時間とともに劣化します。タイヤは6年ごと、もしくは必要に応じてそれより短い期間で交換することを推奨します。

McLaren は Pirelli サマータイヤまたはウィンタータイヤの使用を推奨しています。ホイールおよびタイヤサイズ, 6.17 ページを参照してください。

これらのタイヤは McLaren が特別に認定したタイヤであり、車両の安全システムとの組み合わせによって最高のパフォーマンスを最大限に提供します。

McLaren は他のタイヤおよびホイールの使用によって生じた損傷については責任を負いません。ホイールおよびタイヤに関する詳しい情報は、マクラーレン代理店から入手できます。

 **警告:** McLaren の推奨タイヤ以外を使用した場合、タイヤが車体に接触して、ハンドリングに悪影響が生じる可能性があります。その結果、車両をコントロールできなくなり、死亡または重傷を負う可能性があります。騒音レベルおよび燃費にも悪影響が生じる可能性があります。さらに、荷物を積載した場合、またはスノーラクションデバイスを使用した場合、走行中にそれらが車体やアクスルコンポーネントに接触する可能性があります。その結果、タイヤもしくは車両が損傷するおそれがあります。

 **注意:** 更正タイヤは決して使用してはなりません。中古タイヤは以前の使用状況に関する情報がない限り装着しないでください。

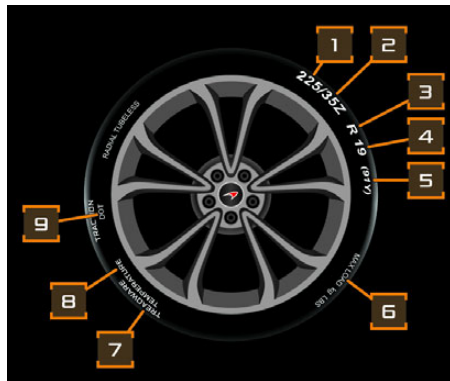
 **注意:** ブレーキシステムおよびホイールの改造は認められていません。スペーサープレートやブレーキダストシールドの使用についても同様です。こうした改造を行った場合は、改造箇所に関する車両保証は無効となります。

 **注意:** ホイールの交換は、必ずマクラーレン代理店で行ってください。不適切にジャッキアップした場合、車両を損傷するおそれがあります。

 **注意:** タイヤは涼しく乾燥した、できれば光の当たらない場所に保管してください。タイヤにオイル、グリス、ガソリンが付着しないように保護してください。

メンテナンス ホイールとタイヤ

タイヤのマーク



1. ミリメートル単位のタイヤの幅。
2. タイヤ幅のパーセンテージで示されたタイヤの扁平率。
3. ラジアルタイヤであることを示します。
4. ホイールリムの直径をインチで示します。
5. 数字はロードインデックスを、文字は速度規格を示します。91 は 615 kg (1,350 ポンド) を示し、Y は 186 mph (300 km/h) 以上の速度を示します。
6. タイヤの最大耐荷重を示します。

7. トレッド摩耗等級番号。数字が大きいほどタイヤの耐久性が高いことを示します。
8. 英字は耐熱規格を示します。「A」規格タイヤの耐熱性は最高です。
9. タイヤの製造に関する情報。製造場所と製造日を表示しています。

タイヤ

 **警告：タイヤはタイヤウォールの標示に従って取り付けてください。ホイールに装着する際、タイヤ外縁の「OUTSIDE」の文字が外側に表示されるようにしなければなりません。そうしないと、特に高速走行時に車両の走行安定性が損なわれます。**

非対称タイヤ



非対称タイヤはトレッドの片側が反対側とは違うパターンになっています。このトレッドの組み合わせによって、濡れた路面と乾燥した路面のどちらでも高いグリップ性能を発揮します。

外側のトレッドはより大きく固いトレッドパターンとなっており、高いコーナリング安定性を実現します。内側のトレッドパターンは濡れた路面での安定性を高めます。タイヤの一部の溝は直進安定性に寄与します。

 **警告：本車両にはマクラーレン推奨タイヤ以外は装着しないでください。**

メンテナンス

ホイールとタイヤ

警告：タイヤはタイヤウォールの標示に従って取り付けてください。非対称タイヤのメリットを得るためには、タイヤを正しく装着してください。

Trofeo R タイヤ

安全上のリスクが高いため、ドライビングスキルと車両の性能レベルの上限を一致させる必要があります。

i 注意：これらのタイヤは超高性能設計で特別な製造工程で製造されるため、摩耗や走行距離にかかわらず、常に車軸単位（フロントおよびリア）で交換してください。車軸単位で交換しないと、車両のハンドリング特性に悪影響を及ぼす可能性があります。

Trofeo R タイヤの主な特徴は、他のタイヤよりも浅いトレッドと専用のトレッドパターンおよびカーカスです。

警告：摩耗したタイヤで走行すると事故のおそれがあります。Trofeo R タイヤはトレッドが浅いので、早い段階で摩耗限度に達します。摩耗したタイヤによる死亡または重傷を負う危険性を避けるには、タイヤの摩耗状態を頻繁に点検することが重要です。

警告：路面との接触、車両のコントロール、およびブレーキ能力が失われることで事故の危険が高まり、重傷や死亡に至るおそれがあります。タイヤのトレッドが浅いため、濡れた路面でのハイドロプレーニング現象のリスクも高まります。濡れた道路や泥が浮いた路面を走行する場合は、スピードを大幅に抑えてください。

i 注意：車両を使用するすべての人に、これらの特性と想定される影響を必ず伝えてください。

ホイールとタイヤの点検

少なくとも 14 日ごとにタイヤに切れ目、パンク、亀裂、瘤、変形、ひび割れなどがないか確認してください。ホイールに著しい腐食がないか確認してください。ホイールが損傷していると空気圧低下の原因になります。

定期的にタイヤトレッドの深さとタイヤ全体のトレッドの状態を点検してください。ハンドルをいっぱいに切り、内側のトレッドまで点検してください。



トレッドが 1.6 mm まで摩耗すると、トレッドパターンの表面にスリップマークが現れ、タイヤ幅に渡ってゴムの帯ができます。スリップマークが現れたときはすぐに、（あるいは法によりこれより深いトレッドが必要な場合はその前に）タイヤを交換してください。

i 注意：タイヤは必ずマクラーレン代理店で交換することを推奨します。各ホイールには、タイヤバルブに接続されたタイヤ圧力センサーが装着されています。センサーの損傷を防止するために、正しい手順でタイヤを交換する必要があります。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

 **警告**：濡れた路面や凍結路では、特にトレッドの深さが最低限に近いときはタイヤのグリップが急激に低下します。タイヤグリップの低下のため車両のコントロールを失い、事故に至るおそれがあります。速度を落とし、いつも以上に注意深く運転してください。

 **注意**：トレッドの摩耗がタイヤ全体で偏りがある場合や異常に摩耗している場合は、ホイールアライメントを検査する必要があります。

すべてのタイヤの空気圧を定期的に点検し、必要に応じて調整してください。タイヤ空気圧，5.36 ページを参照してください。

バルブを泥や水分から守るために、すべてのホイールにバルブキャップを装着する必要があります。

走行時の注意事項

車両を駐車する際には、タイヤが縁石や他の障害物に触れていないことを確認してください。縁石や減速ブロック、窪みを乗り越える必要がある場合は減速し、浅い角度で障害物に接近してください。そうしないと、タイヤを損傷するおそれがあります。

走行中は振動、異音、ハンドルが取られるなどの異常がないか注意してください。もしそのような異常がある場合は、タイヤもしくはホイールが損傷している可能性があります。異常を感じた場合は、安全に速やかに減速して停車し、タイヤやホイールが損傷していないか点検してください。損傷が見られない場合でも、マクラーレン代理店に点検を依頼してください。

タイヤ空気圧

 **警告**：タイヤ空気圧が高過ぎたり低過ぎたりすると車両のアクティブセーフティに悪影響が生じ、事故につながるおそれがあります。すべてのタイヤの空気圧を高い頻度で、特に長距離ドライブに出かける際などに点検し、必要に応じて調整してください。

 **警告**：タイヤの空気圧が繰り返し低下する場合は、タイヤに異物やパンクの兆候がないか、バルブにエア漏れがないか点検してください。

メンテナンス ホイールとタイヤ



異なる運転条件でのタイヤの空気圧については、タイヤ空気圧, 6.18 ページを参照してください。空気圧は燃料フィルターフラップに貼付されているラベルにも記載されています。

高速走行する際は必ずタイヤの空気圧を点検し、必要に応じて調整する必要があります。

i 注意: 一部の市場では、タイヤ空気圧ラベルは運転席側ドア開口部下部に貼付されています。

i 注意: 低負荷走行用に指定されているタイヤ空気圧は、最適な乗り心地が得られるように最低限の値となっています。

負荷が大きいときは空気圧を上げても車両の走行に悪影響を与えることはありませんが、乗り心地は悪くなります。

空気圧の点検はタイヤが冷えた状態で行ってください。タイヤが暖まっているときに点検する必要がある場合は、より高い空気圧が必要です。タイヤが暖まっているときに、タイヤが冷えた状態のときの推奨空気圧に合わせてタイヤの空気を抜かないでください。

タイヤの空気圧が高過ぎたり低過ぎたりすると以下の不具合が生じるおそれがあります:

- タイヤが破損し、死傷事故につながる
- タイヤの寿命が縮まる
- タイヤの損傷が増大する
- ハンドリング特性に悪影響が生じる (ハイドロプレーニング現象などが起こる)



環境: 少なくとも2週間に1回はタイヤの空気圧を点検してください。

ホイールの相互交換



警告: McLaren 車に代替として装着できるのは、ウィンタータイヤを装着した認定ホイールのみです。

タイヤがパンクした場合

McLaren 車はラゲッジルームに1缶のタイヤシーラントを備えています。

パンクの際は以下の手順に従ってご自身、他の乗員および他の通行者の安全を確保してください。

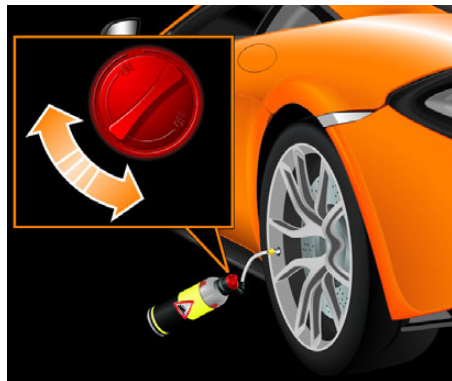
パンクの修理

1. 他の交通からできる限り離れた、固く水平な場所に車両を停止します。
2. 高速道路の場合はハザード警告灯を点灯してください。ハザード警告灯, 1.57 ページを参照してください。
3. 乗員は安全に注意しながら車両を降り、車両や他の交通から離れた安全な場所に待避する必要があります。
4. パーキングブレーキをかけ、ニュートラルを選択します。
5. 車両から適切な距離に三角表示板を設置し、他の交通に故障車の存在を警告します。三角表示板, 5.12 ページを参照してください。

メンテナンス

ホイールとタイヤ

タイヤシーラントの使用法



タイヤシーラントは、特にタイヤトレッドの小さなパンクを密閉するために使用することができます。タイヤシーラントは気温が最低-20℃(-4°F)以上のときに使用できます。

警告: タイヤシーラントは次のようなパンクに使用することはできません。

- タイヤに 4 mm 以上の切れ目や刺し傷がある場合
- リムが損傷している場合
- タイヤの空気圧が低過ぎる状態やパンクした状態で走行した場合

直ちにマクラーレン代理店にご相談ください。

ラゲッジルームからタイヤシーラントを取り出し、容器に記載されている説明に従ってください。

注意: 可能であればパンクの原因を突き止め、シーラントの効果を高めるためにパンクした箇所が一番下の位置になるようにホイールを配置してください。

パンクしたタイヤは速やかに交換を依頼してください。

警告: パンクしたタイヤは交換を依頼してください。McLaren はパンクしたタイヤの修理は推奨しません。

警告: タイヤシーラントが目や皮膚に付いた場合はただちにきれいな水で完全に洗い流し、タイヤシーラントが付着した衣服は交換してください。アレルギー反応が出た場合はただちに医師の診察を受けてください。

警告: タイヤシーラントはお子様の手の届かない場所に保管してください。タイヤシーラントを誤飲した場合はただちに口を十分にすすぎ、大量の水を飲んでください。無理に吐こうとしないでください。ただちに医師の診察を受けてください。タイヤシーラントの蒸気を吸い込まないでください。

注意: タイヤシーラントを使用した後は、タイヤ空気圧モニタリングシステムが組み込まれたタイヤバルブは交換する必要があります。

メンテナンス 車両のお手入れ

McLaren 車の洗車



環境: 一部の洗剤には環境に有害な化学物質が含まれています。フルードをこぼさないように常に注意し、必要以上には使用しないでください。

手洗いによる洗車

洗車をする前に車両をロックし、ドアが開くことがないようにキーを範囲外（最低3メートル（9.8フィート）またはそれ以上の距離）に置いてください。



注意: 直射日光の下または車両に触れて熱く感じられるときは洗車をしないでください。水焼けや色むらの原因になります。

ホースパイプや高圧ウォッシャーでエンジンを洗わないでください。

家庭用洗剤は使用しないでください。塗装面が変色し、ワックスの保護層が取り除かれることがあります。

1. はじめにホースパイプを用いて浅い角度でボディ全体に水をかけ、泥などを浮かせてから、塗装面を濡らして洗車の準備をします。エンジンカバーベントには直接水をかけないでください。
2. バケツ一杯のお湯と良質のカーシャンプーを用意します。希釈率はシャンプーメーカーの説明書を参照してください。
3. 車両の上から下に、できればスポンジではなくウールの洗車ミットを使用して洗車します。特に泥がたまりやすい場所に注意し、多量の水を使用して洗います。車両の上部（ルーフ、ラゲッジルームおよびホイールアーチラインより上の部分）に1つの洗車ミット、ホイールアーチラインより下の部分に別のミットを使用してください。



注意: これらの洗車ミットでホイールを洗わないでください。



注意: シャンプーを乾燥させないでください。塗装面に色むらが生じる原因になります。

4. タールスポットやしつこいグリスの付着は、揮発油もしくは変性アルコールを使用すると取り除くことができます。取り除くことができたらずちに石けん水で洗い、すべての揮発油またはアルコールを取り除いてください。
5. 車両のクリーニングが終わったら、上部から下に向かってホースパイプにより浅い角度で車両を完全にすすいでください。エンジンカバーベントには直接水をかけないでください。
6. セーム皮または乾燥用タオルを用いて車両を乾かします。

メンテナンス 車両のお手入れ

i 注意：エンジンベイに水が残っていると思われる場合は、車両を運転して動作温度までエンジンを暖めて、エンジンに残った水分を乾燥させることをお勧めします。

ホイールの洗浄

i 注意：ホイールは頻繁に洗浄してください。ブレーキダストがホイールリムの塗膜に深く染み込まないようにしてください。

お湯、良質のカーシャンプーおよびホイールブラシまたはホイール専用の洗浄用ミットを使用してホイールを洗浄します。無塗装仕上げのホイールには、ホイールをきれいに保つためにつや出しを行います。

i 注意：塗装仕上げのホイールには決してつや出しを行わないでください。つや出しを行うと、ホイールの表面に光沢のある部分となない部分の斑模様が生じてしまいます。

i 注意：酸ベースのホイールクリーナーはホイールリムの仕上げを損傷し、腐食の原因になるため使用しないでください。

i 注意：ホイールのクリーニングを行った後、車両を車庫に入れる前に、ブレーキが完全に乾いていることを確認してください。

ワイパーブレードとラバーシール

ワイパーブレードやラバーシールは、お湯と良質のカーシャンプーのみでクリーニングします。石油系またはアルコールベースのクリーナーは使用しないでください。

フロントウィンドウ、ウィンドウ、ミラーすべてのウィンドウの内外面を、ウィンドウ用洗浄液を用いて定期的にクリーニングしてください。自動車用ガラスクリーナーを推奨します。ワックスを含有するカーシャンプーで車両を洗車した後は、フロントウィンドウ外面をガラスクリーナーでクリーニングしてください。研磨剤入りクリーニングコンパウンドは使用しないでください。ミラーガラスは特に傷つきやすくなっています。

アンダーボディのクリーニング

冬季に道路の融雪や凍結防止に使われる塩分は車両のアンダーボディに蓄積します。これを放置すると腐食が発生します。冬季は特にホイールアーチや泥がたまりやすい場所に注意しながら、ホースを用いてアンダーボディを定期的に水洗いしてください。

つや出し

ときどき、良質のつや出し剤を用いて塗装のつや出しを行い、その後に保護用ワックスをかけてください。

i 注意：カッティングコンパウンド、カラー再生剤、強力な研磨剤を含むつや出し剤は使用しないでください。これらの製品は塗装に傷をつけ、回復不可能な損傷を与えるおそれがあります。

i 注意：ワックスまたはつや出し剤は、リアウィングの 600LT および 600LT Spider ヒートシールドエリアには使用しないでください。これらの製品は熱線反射コーティングに回復不可能な損傷を与えるおそれがあります。

塗装の損傷と修正

塗装に損傷がないか、定期的に点検してください。跳ね石による傷や深い擦り傷は速やかに修理する必要があります。詳細については、マクラーレン代理店にお問い合わせください。

メンテナンス 車両のお手入れ

インテリアのクリーニング

i 注意：マクラレーン代理店は、お客様の車両のインテリアクリーニングに合った製品を推奨できます。

カーペットとファブリック

シート表皮をクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。希釈した表皮クリーナーと清浄な布でクリーニングします。

レザー

レザーをクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。お湯と天然石けんまたは専売特許のレザークリーナーを用いてクリーニングしてください。乾いた、清浄なリントフリークロスで乾燥させます。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

ダッシュボードの表面はつや出しをしないでください。つや出しを行った表面は光を反射し、ドライバーの視界を遮るおそれがあります。希釈した表皮クリーナーでクリーニングした後、固く絞った布で拭きます。

カーボンファイバー

カーボンファイバー部分をクリーニングする場合は、必ず事前に目立たない場所で洗浄液のテストをしてください。適切なつや消しダッシュボードクリーナーでクリーニングしてください。詳細については、マクラレーン代理店にお問い合わせください。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

Alcantara®

注意して埃を払います。柔らかい布またはスポンジを水で湿らせ、完全に水を絞り、Alcantara® 素材全体を拭きます。湿らせ過ぎないように注意してください。布またはスポンジをすすぎ、必要に応じて繰り返し拭きます。

一晩放置して素材を乾かします。

素材が乾いたら、元の風合いになるように柔らかい短毛ブラシで軽くブラッシングします。

シートベルト

ベルトを伸ばし、お湯に溶かした石けん水のみでクリーニングします。合成洗剤や化学洗浄剤は種類にかかわらず使用しないでください。ベルトを伸ばしたまま、できれば直射日光を避けて自然乾燥させます。

インストールメントとディスプレイ画面

インストールメントクラスターは固く絞った布を用いてクリーニングします。研磨剤入りのクリーニング剤やつや出し剤は使用しないでください。

メンテナンス

車両のお手入れ

車両カバー

マクラーレン代理店では、ガレージ内での使用に適した車両カバーを販売しています。

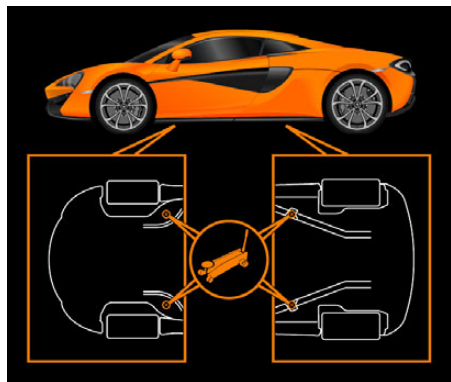
McLaren では、車両を 2 週間以上使用しない場合、カバーをかけておくことを推奨しています。カバーをかける前に車両の内外を清掃し、十分に乾かしてください。



注意: カバーは車両が十分に冷えてからかけてください。高温になったエキゾーストパイプによりカバーが損傷するおそれがあります。

メンテナンス 車両のリフト

車両のリフトポイント



正しいリフト位置は図と車両に貼付されているラベルを参照してください。

お客様の McLaren の回収に関係する第三者にこの情報を提供してください。

- i** 注意: これ以外の場所で車両をリフトした場合、車両が損傷します。
- i** 注意: ジャッキを使用する場合は、平らなリフト用プラットフォームとシャシー表面の損傷を防止するラバーパッドとともに使用してください。ボディパネルの下はリフトしないでください。

⚠ 警告: 車両を作業が可能な高さまでリフトする前に、車両がジャッキまたは車両リフトの上に正しく配置されていることを確認してください。車両の下で作業する場合は必ず車両リフト安全ロックをかけるか、適切なスタンドを使用して安全を確保してください。

メンテナンス

McLaren アシスタンス

McLaren アシスタンス

お客様のマクラーレンが動かなくなった場合は、ご自分で解決しようとししないでください。サービスおよび保証ガイドを参照してください。必要なすべての情報が記載されています。

交換用バッテリー

お客様のマクラーレンが車両バッテリーの不具合で動かなくなった場合、正しい仕様のリチウムイオンバッテリーと交換する必要があります。

故障時

車両が故障した場合は、マクラーレン代理店にご連絡ください。近くにマクラーレン代理店がない場合は、年中無休、24時間対応のロードサイドアシスタンス業者にご連絡ください。



注意: ロードサイドアシスタンス業者の詳細な連絡先は、サービスおよび保証ガイドに記載されています。

マクラーレン代理店またはロードサイドアシスタンス業者は、お客様およびお客様の車両 ID を確認して、お客様の正確な現在地を判断します。

その後、お客様と問題について話し合い、お客様の承諾のもとで最良の解決策を決定します。

メンテナンス

McLaren アシスタンス

回収のためのけん引

お客様のマクラーレンは、フロントけん引フックマウントのみが装備されています。

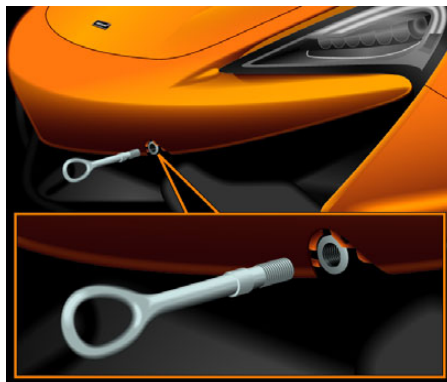
i 注意 : 車両をけん引しないでください。けん引した場合、ギアボックスを損傷するおそれがあります。けん引フックは回収の目的で車両をトレーラーまたは輸送車に積載する場合以外には使用してはなりません。

リジッドバーを使用して車両をけん引してはなりません。

けん引フックとマウント

けん引フックはラゲッジルームの最前部にあります。

1. フロントバンパー内のけん引フックマウントのカバーを取り外します。



2. けん引フックを時計方向に回し、ねじ山の根元まで完全にマウントホールに取り付けます。

i 注意: けん引フックと車両の損傷を防止するために、けん引フックがフロント構造の対応する構造に完全に密着したことを確認することが重要です。

i 注意 : ウィンチケーブル / ストラップはけん引フック以外の場所に固定してはなりません。車両が損傷するおそれがあります。

3. 車両を回収したらすぐにけん引フックを取り外してラゲッジルームに収納し、けん引フックマウントにカバーを取り付けます。

海外での走行

マクラーレン代理店は、海外を旅行する際にもご利用いただけます。

海外で走行する際の法的要件は国によって異なり、また常に変動しています。旅行先の国の法律に準拠するためには何が必要となるか、必ずマクラーレン代理店にお問い合わせください。

一部の国では低オクタン燃料以外は入手できません。燃料グレードについての詳細は、推奨燃料, 2.46 ページを参照してください。



注意：ヘッドランプの非対称ロービームは、路肩に近い側を明るく照らすように設計されています。お客様のマクラーレンは、道路の左側または右側のどちらを走行しても同一のロービーム設定が適用されます。



車両データおよび用語集

純正 McLaren 部品およびアクセサリ	6.2
概要	6.2
車両識別	6.3
車両識別番号	6.3
データ	6.4
概要	6.4
車両動作温度	6.4
エンジン	6.5
各ギアの最大速度	6.7
ギアレシオ	6.8
車体寸法 - 600LT および 600LT Spider 以外	6.9
車体寸法 - 600LT および 600LT Spider	6.10
車両重量	6.11
ホイールおよびタイヤサイズ	6.17
旋回半径	6.17
タイヤ空気圧	6.18
サービス製品、フルードと容量	6.19
サービス製品	6.19
エンジンオイル仕様	6.19
燃料	6.19
クーラント	6.20
パワーステアリングフルード	6.20
ブレーキフルード	6.20
技術用語集	6.21
技術用語集	6.21

車両データおよび用語集

純正 McLaren 部品およびアクセサリー

概要

McLaren は McLaren の純正交換部品およびアクセサリー以外は使用しないことを推奨します。非純正部品を使用した場合、車両の動作や安全に悪影響を及ぼす可能性があります。McLaren は交換部品およびアクセサリーの信頼性、安全性および適合性をテストしています。McLaren 車における非純正部品の使用については、たとえ当該部品が単独では認定品であったとしても、McLaren は責任を負いません。

多くの国では、交換部品およびアクセサリーは、当該製品が法的要件に適合している場合にのみ取り付けることが公式に認められています。McLaren のすべての純正交換部品およびアクセサリーは、これらの要件に適合しています。

McLaren の純正部品およびアクセサリーは、専門技師が部品を取り付けるマクラーレン代理店から入手できます。

アクセサリーを使用する際は、お客様の McLaren に適合したものであることを確認してください。車両の改造に当たるアクセサリーを使用した場合、車両の保証が無効になることがあります。以下の場合がこれに該当します：

- 保証書で承認されている車種に変更が生じる場合
- 道路使用者に危険を及ぼす可能性がある場合
- 車両の排出ガスおよび騒音レベルが悪化する場合

必ず車両識別番号を提示してください。この番号は、車両の識別プレートおよびフロントウィンドウの左下隅に記載されています。

車両データおよび用語集

車両識別

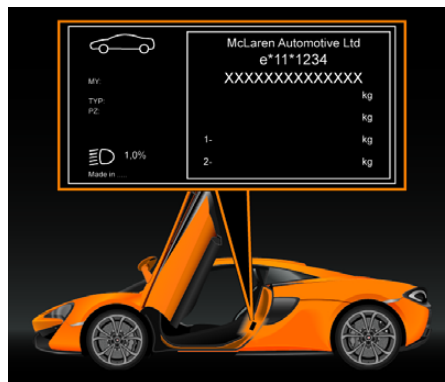
車両識別番号



車両識別番号はフロントウィンドウの左下隅に記載されています。

また、この番号は右側シート後方のボディと運転席側ドア開口部下部のプレートに刻まれており、インストルメントクラスターの車両情報セクションにも表示されます。車両識別 , 3.11 ページを参照してください。

VIN プレート



車両識別番号プレートには以下の情報も記載されています：

- 最大許容積載量
- トレーラーを含めた最大許容積載量
- 最大許容フロントアクスル荷重
- 最大許容リアアクスル荷重

車両データおよび用語集

データ

概要

本節にはお客様の車両に関して必要な技術データをすべて記載します。このデータは車両の標準装備に適用されます。したがって、オプション装備を装着した車両ではデータが異なる場合があります。マクラーレン代理店から詳細な情報を入手できます。

車両動作温度

最低動作気温	-20 °C (-4 °F)
最高動作気温	+ 50 °C (+ 122 °F)

 注意: 最低気温から最高気温までの範囲外で車両を使用した場合、性能が低下することがあります。McLaren は車両を標準温度範囲外で使用した場合、もしくは高地において使用した場合、表示エンジン出力を達成できなかったとしても責任を負いません。

車両データおよび用語集

データ

エンジン

エンジン - 540C Coupe	
定格出力 (kW) @rpm	397 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	540 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	540 @ 3,500 ~ 6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	398 @ 3,500 ~ 6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイト レシオ (PS/トン)	412
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	3.5 P ゼロタイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	3.4 P ゼロタイヤ

エンジン - 570S Coupe	
定格出力 (kW) @rpm	419 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	570 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	600 @ 5,000 ~ 6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	434 @ 5,000 ~ 6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイト レシオ (PS/トン)	434
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	3.2 コルサタイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	3.1 コルサタイヤ

エンジン - 570S Spider	
定格出力 (kW) @rpm	419 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	570 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	600 @ 5,000 ~ 6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	434 @ 5,000 ~ 6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイト レシオ (PS/トン)	409
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	3.2 コルサタイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	3.1 コルサタイヤ

車両データおよび用語集

データ

エンジン - 570GT	
定格出力 (kW) @rpm	419 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	570 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	600 @ 5,000 ~ 6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	434 @ 5,000 ~ 6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイト レシオ (PS/トン)	424
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	3.4 P ゼロタイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	3.3 P ゼロタイヤ

エンジン - 600LT	
定格出力 (kW) @rpm	442 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	600 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	620 @ 5,000~6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	458 @ 5,000~6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイトレシ オ (PS/トン)	478
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	2.9 P Zero Trofeo R タイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	2.8 P Zero Trofeo R タイヤ

エンジン - 600LT Spider	
定格出力 (kW) @rpm	442 @ 7,500
定格出力 (PS) @rpm	600 @ 7,500
定格トルク (Nm) @rpm	620 @ 5,000~6,500
定格トルク (lb-ft) @rpm	458 @ 5,000~6,500
気筒数	8
排気量 cm ³	3,799
最大回転数 (rpm)	8,500
パワーウェイトレシ オ (PS/トン)	463
加速性能 (0 ~ 100 km/h) (秒)	2.9 P Zero Trofeo R タイヤ
加速性能 (0 ~ 60 mph) (秒)	2.8 P Zero Trofeo R タイヤ

車両データおよび用語集

データ

各ギアの最大速度

540C Coupe	
1速ギア (mph (km/h))	48 (77)
2速ギア (mph (km/h))	73 (117)
3速ギア (mph (km/h))	101 (162)
4速ギア (mph (km/h))	129 (208)
5速ギア (mph (km/h))	165 (266)
6速ギア (mph (km/h))	199 (320)
7速ギア (mph (km/h))	186 (300)

570S Coupe	
1速ギア (mph (km/h))	48 (77)
2速ギア (mph (km/h))	73 (117)
3速ギア (mph (km/h))	101 (162)
4速ギア (mph (km/h))	129 (208)
5速ギア (mph (km/h))	165 (266)
6速ギア (mph (km/h))	204 (328)
7速ギア (mph (km/h))	191 (308)

570S Spider	
1速ギア (mph (km/h))	48 (77)
2速ギア (mph (km/h))	73 (117)
3速ギア (mph (km/h))	101 (162)
4速ギア (mph (km/h))	129 (208)
5速ギア (mph (km/h))	165 (266)
6速ギア (mph (km/h))	204 (328)
7速ギア (mph (km/h))	191 (308)

570GT および 600LT	
1速ギア (mph (km/h))	48 (77)
2速ギア (mph (km/h))	73 (117)
3速ギア (mph (km/h))	101 (162)
4速ギア (mph (km/h))	129 (208)
5速ギア (mph (km/h))	165 (266)
6速ギア (mph (km/h))	204 (328)
7速ギア (mph (km/h))	196 (316)

600LT Spider	
1速ギア (mph (km/h))	48 (77)
2速ギア (mph (km/h))	73 (117)
3速ギア (mph (km/h))	101 (162)
4速ギア (mph (km/h))	129 (208)
5速ギア (mph (km/h))	165 (266)
6速ギア (mph (km/h))	201 (324)
7速ギア (mph (km/h))	196 (316)

車両データおよび用語集

データ

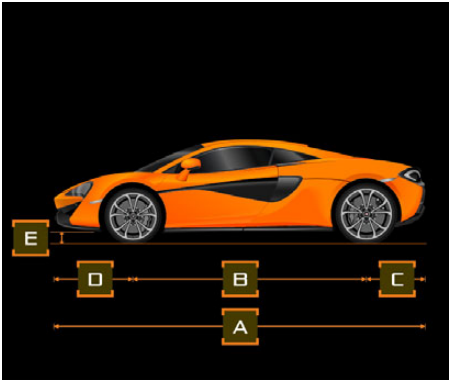
ギアレシオ

1 速ギア	3.981:1
2 速ギア	2.613:1
3 速ギア	1.905:1
4 速ギア	1.479:1
5 速ギア	1.161:1
6 速ギア	0.906:1
7 速ギア	0.686:1
ファイナルド ライブ	3.308:1

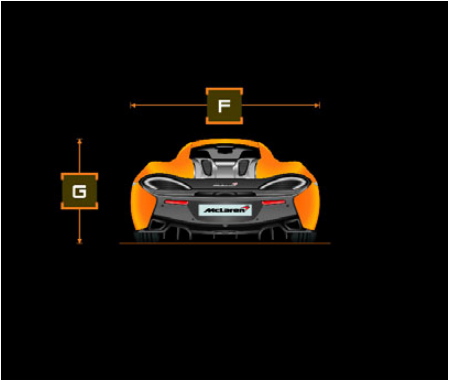
車両データおよび用語集

データ

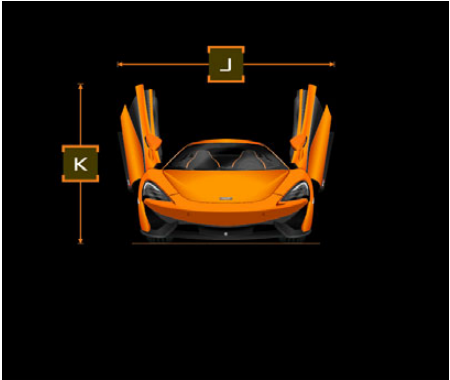
車体寸法 - 600LT および 600LT Spider 以外



A	全長	4,530 mm (14 フィート 11 インチ)
B	ホイールベース	2,670 mm (8 フィート 10 インチ)
C	リアオーバーハング	786 mm (2 フィート 7 インチ)
D	フロントオーバーハング	1,074 mm (3 フィート 7 インチ)
E	最低地上高	93 mm (4 インチ)



F	全幅 (ドア閉、ミラーを含む)	2,095 mm (6 フィート 11 インチ)
G	全高 (ドア閉)	1,202 mm (4 フィート)



J	全幅 (ドア開、最大幅)	3,225 mm (10 フィート 7 インチ)
K	全高 (ドア開)	1,988 mm (6 フィート 7 インチ)

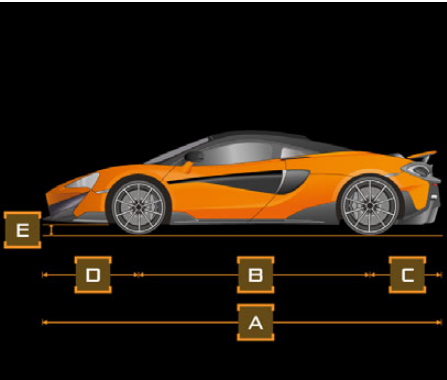


注意：寸法はすべて近似値です。

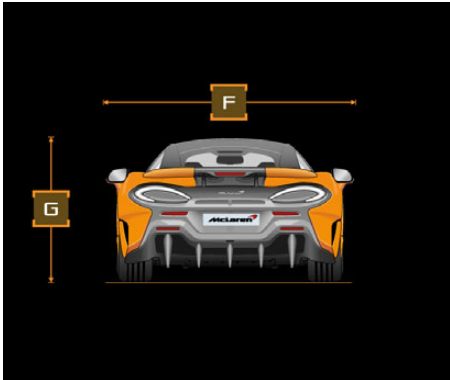
車両データおよび用語集

データ

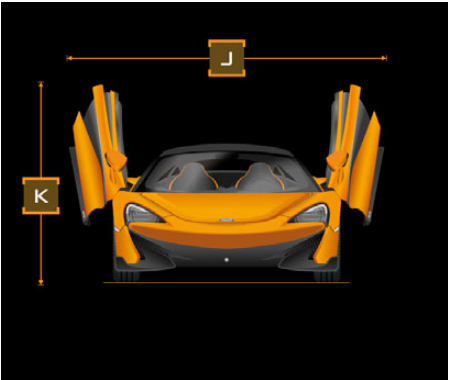
車体寸法 - 600LT および 600LT Spider



A	全長	4,604 mm (15 フィート 1 インチ)
B	ホイールベース	2,670 mm (8 フィート 10 インチ)
C	リアオーバーハング	825 mm (2 フィート 8 インチ)
D	フロントオーバーハング	1,102 mm (3 フィート 7 インチ)
E	最低地上高	92 mm (4 インチ)



F	全幅 (ドア閉、ミラーを含む)	2,095 mm (6 フィート 11 インチ)
G	全高 (ドア閉)	1,193 mm (3 フィート 11 インチ)



J	全幅 (ドア開、最大幅)	3,225 mm (10 フィート 7 インチ)
K	全高 (ドア開)	1,973 mm (6 フィート 6 インチ)

 注意: 寸法はすべて近似値です。

車両データおよび用語集

データ

車両重量

重量 - 540C Coupe	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg (lbs) ）	1,351 (2,978)
空車重量（すべてのフルードと90 % の燃料） （kg (lbs) ）	1,446 (3,188)
縁石重量（+ 75 kg のドライバー） （kg (lbs) ）	1,526 (3,364)
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg (lbs) ）	651 (1,435)
縁石重量配分 - リアアクスル （kg (lbs) ）	875 (1,929)

重量 - 540C Coupe	
最大車両総重量 (GVW) （kg (lbs) ）	1,694 (3,734)
最大車両総重量配分 - フロントアクスル （kg (lbs) ）	784 (1,728)
最大車両総重量配分 - リアアクスル （kg (lbs) ）	910 (2,006)
最大荷物積載量 - ラゲッジルーム （kg (lbs) ）	50 (110)

車両データおよび用語集

データ

重量 - 570S Coupe	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg（lbs））	1,345（2,965）
空車重量（すべてのフルードと90％の燃料） （kg（lbs））	1,440（3,174）
縁石重量（+ 75 kgのドライバー） （kg（lbs））	1,520（3,351）
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	649（1,431）
縁石重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	871（1,920）

重量 - 570S Coupe	
最大車両総重量（GVW） （kg（lbs））	1,687（3,719）
最大車両総重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	781（1,722）
最大車両総重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	906（1,997）
最大荷物積載量 - ラゲッジルーム （kg（lbs））	50（110）

車両データおよび用語集

データ

重量 - 570S Spider	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg (lbs) ）	1,391 (3,067)
空車重量（すべてのフルードと90 % の燃料） （kg (lbs) ）	1,486 (3,276)
縁石重量（+ 75 kg のドライバー） （kg (lbs) ）	1,566 (3,452)
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg (lbs) ）	671 (1,479)
縁石重量配分 - リアアクスル （kg (lbs) ）	895 (1,973)

重量 - 570S Spider	
最大車両総重量 (GVW) （kg (lbs) ）	1.733 (3,821)
最大車両総重量配分 - フロントアクスル （kg (lbs) ）	804 (1,772)
最大車両総重量配分 - リアアクスル （kg (lbs) ）	929 (2,048)
最大荷物積載量 - フロントラゲッジルーム （kg (lbs) ）	50 (110)
最大荷物積載量 - トノー収納エリア （kg (lbs) ）	30 (66)

車両データおよび用語集

データ

重量 - 570GT	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg（lbs））	1,400（3,087）
空車重量（すべてのフルードと90％の燃料） （kg（lbs））	1,495（3,296）
縁石重量（+ 75 kgのドライバー） （kg（lbs））	1,575（3,472）
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	675（1,488）
縁石重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	900（1,984）

重量 - 570GT	
最大車両総重量（GVW） （kg（lbs））	1,748（3,854）
最大車両総重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	812（1,790）
最大車両総重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	936（2,064）
最大荷物積載量 - フロントラゲッジルーム （kg（lbs））	50（110）
最大荷物積載量 - リアラゲッジエリア （kg（lbs））	20（44）

車両データおよび用語集

データ

重量 - 600LT	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg（lbs））	1,261（2,780）
空車重量（すべてのフルードと90％の燃料） （kg（lbs））	1,356（2,989）
縁石重量（+ 75 kgのドライバー） （kg（lbs））	1,431（3,155）
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	611（1,347）
縁石重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	820（1,808）

重量 - 600LT	
最大車両総重量 （GVW） （kg（lbs））	1,611（3,552）
最大車両総重量 配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	741（1,634）
最大車両総重量 配分 - リアアクスル （kg（lbs））	936（2,064）
最大荷物積載量 - フロントラゲッジルーム （kg（lbs））	50（110）

車両データおよび用語集

データ

重量 - 600LT Spider	
車両重量（燃料、乗員等含まず） （kg（lbs））	1,309 (2,886)
空車重量（すべてのフルードと90 % の燃料） （kg（lbs））	1,404 (3,095)
縁石重量（+ 75 kg のドライバー） （kg（lbs））	1,479 (3,261)
縁石重量配分 - フロントアクスル （kg（lbs））	642 (1,415)
縁石重量配分 - リアアクスル （kg（lbs））	837 (1,845)

重量 - 600LT Spider	
最大車両総重量（GVW） （kg（lbs））	1,658 (3,655)
最大車両総重量配分 - フロントアクスル（kg（lbs））	743 (1,638)
最大車両総重量配分 - リアアクスル（kg（lbs））	915 (2,017)
最大荷物積載量 - フロントラゲッジルーム（kg（lbs））	50 (110)

車両データおよび用語集

データ

ホイールおよびタイヤサイズ

ホイールサイズ

フロントホイール	8J x 19
リアホイール	10J x 20

サマータイヤ

フロントタイヤ	
- Pirelli P Zero™ MC1	225/35 R19
- Pirelli P Zero™ Corsa MC1	225/35 R19
- Pirelli P Zero™ Trofeo R MC2	225/35 R19

リアタイヤ	
- Pirelli P Zero™ MC1	285/35 R20
- Pirelli P Zero™ Corsa MC1	285/35 R20
- Pirelli P Zero™ Trofeo R MC2	285/35 R20

ウィンタータイヤ

フロントタイヤ	
- Pirelli SottoZero 3	225/35 R19

リアタイヤ	
- Pirelli SottoZero 3	285/35 R20

旋回半径

最小回転直径 (タイヤ外縁)	12.4 m (41 フィート)
-------------------	------------------

車両データおよび用語集

データ

タイヤ空気圧

荷重条件	フロントホイール		リアホイール	
	Bar	Psi	Bar	Psi
通常使用時	2.0	29	2.2	32
車速が 165 mph (270 km/h) を超える	2.7	39	2.7	39

タイヤ空気圧はフューエルフィラーフラップ内側のラベルにも記載されています。



i 注意：一部の市場では、タイヤ空気圧ラベルは運転席側ドア開口部下部に貼付されています。

車両データおよび用語集

サービス製品、フルードと容量

サービス製品

サービス製品には燃料、エンジンオイル、クーラント、ブレーキフルードがあります。McLaren はテスト済みの McLaren 用に認定された製品のための使用を推奨します。未認定サービス製品を使用した結果生じた損害は、材料欠陥に関する保証責任の対象外となります。

 **警告：**サービス製品の取り扱い、保管および処分を行う際は、関連する法規を遵守してください。これを怠った場合、人や環境に危険を生じるおそれがあります。サービス製品が目や傷口に直接触れることがないようにしてください。サービス製品を誤飲した場合はただちに医師の診察を受けてください。

 **環境：**サービス製品は環境に責任ある方法で処分してください。

エンジンオイル仕様

エンジンオイル容量	9.0 リットル
-----------	----------

 **注意：**McLaren は 0W-40 エンジンオイルのみの使用を推奨します。

マクラーレン代理店から詳細な情報を入手できます。

 **注意：**潤滑油添加剤は使用しないでください。使用すると機械アセンブリの摩耗や損傷を増大させるおそれがあります。未認定添加剤が原因で生じた損害は、McLaren の保証の対象外となります。

燃料

 **警告：**燃料は高い引火性があります。燃料を取り扱う際には火気、裸火、喫煙は厳禁です。

給油の前にエンジンを停止してください。

 **警告：**燃料が皮膚や衣服に付着しないようにしてください。

燃料が直接皮膚に触れたり、燃料蒸気を吸い込んだりすると健康に害を及ぼすことになります。

燃料に関する詳しい情報は推奨燃料、2.46 ページを参照してください。

燃料タンク

総容量	72 リットル (15.8UKガロン)
燃料警告灯点灯時の燃料残量	11 リットル (2.4 UK ガロン)

車両データおよび用語集

サービス製品、フルードと容量

クーラント

クーリングシステムの容量	23.4 リットル (5.2 UK ガロン)
-20 °C (-4 °F) までの保護用不凍液容量	13.0 リットル (2.9 UK ガロン)

クーラントは水、不凍液、防錆剤の混合液です。クーラントはクーリングシステム内で以下の役割を果たします：

- 凍結防止保護
- クーリングシステムの効率改善
- 腐食防止保護

 **注意：**季節にかかわらず一年間を通じて、不凍液を使用してください。クーラントを使用しなかった場合、クーリングシステムは腐食に対する十分な保護が得られず、冷却効率が低下します。

 **注意：**エンジンの損傷を防ぐために、目標水準の凍結防止能力を備えた混合済みクーラントを使用してください。

不凍液/防錆剤が正しい濃度で入っていれば、クーラントの沸点は約 130 °C (266 °F) となります。クーリングシステム内の不凍液と防錆剤の濃度は、約 50 % ± 5 % とする必要があります。それによって、クーリングシステムは - 40 °C (- 40 °F) まで凍結から保護されます。

クーリングシステム内の不凍液と防錆剤の濃度は、- 45 °C (- 49 °F) まで凍結を防止できる 55 % を超えてはなりません。なぜなら、それ以上の濃度では放熱効果が低下するためです。

車両のクーラントが減っているときは、運転を止め、マクラレン代理店にご連絡ください。

パワーステアリングフルード

必ず Pentosin CHF202 パワーステアリングフルードを使用してください。

ブレーキフルード

必ず Pentosin DoT 5.1 ブレーキフルードを使用してください。

ブレーキフルードは時間とともに空気中の水分を吸収し、その結果沸点が下がります。

 **警告：**ブレーキフルードの沸点が下がり過ぎると、ブレーキを強くかけたとき（長い下り坂やサーキット走行時など）にブレーキシステム内にベーパーポケットができ、ブレーキ効率が低下します。そのため、推奨するサービス間隔でブレーキフルードを交換してください。

車両データおよび用語集

技術用語集

技術用語集

アクティブダイナミクスコントロール

ドライバーが車両のハンドリング特性やパフォーマンス特性を切り替え可能にするシステムです。

アンチロックブレーキシステム

アンチロックブレーキシステムは、ブレーキングによるホイールのロックを防止します。これによって、ブレーキをかけながら車両を操舵することが可能になります。

エレクトロニクススタビリティコントロール

ESCは走行安定性と、タイヤと路面間のトラクションを監視します。

慣性ブッシュ

トラックパワートレインモードで急加速時に、エンジン回転数が高い状態でシフトアップ操作を行うと、慣性ブッシュによって加速力が上がります。通常の走行条件で、最大のパフォーマンスを必要としない慣性ブッシュの範囲外であれば、エンジンとトランスミッションの回転数を合わせてスムーズでシームレスなシフトアップを行います。一方、慣性ブッシュの場合は、次のギアを保持しているクラッチがより強い力でつながり、エンジン回転数が完全には落ちないので、内部回転マスの慣性を利用できます。この場合、ギアがつながるときにトルク衝撃が発生しますが、加速性能が向上し、最大のパフォーマンスが得られます。

ギアシフトモード (PSC)

PSCは音が鳴るシフトインジケーターで、最適な性能を維持するためにシフトアップが必要になると音を鳴らして知らせます。

キーレスエントリー

キーレスエントリーを使用すると、キーがドアセンサーから1.5 m (5 フィート) 以内にあれば、ドアを開けるだけでロックを解除し、アラームシステムを停止させることができます。

グローバルポジショニングシステム

適切なレシーバにより、衛星信号から車両の地理的位置情報を取得します。これらの信号をデジタルマップと照合し、車両の位置判定とルート案内に利用します。

シームレスシフトギアボックス

シームレスシフトギアボックスは、7速のデュアルクラッチギアボックスです。ギアチェンジをフルオートマチックで行ったり、ドライバーが操作したりすることができます。ギアチェンジはほとんど一瞬で行われます。切れ目の無い加速を提供するエンジンからの連続したトルク供給と組み合わせられています。

車両識別番号

車両識別番号は一意の17桁の数字で、車両に関する情報や製造日、製造場所を示します。

典型的な車両識別番号 =
SBM13AAA9GW005000

シリンダーカット

スポーツパワートレインモードで急加速時に、中程度のエンジン回転数でシフトアップ操作を行うと、燃焼しているシリンダの数が減らされ、エンジントルクとエンジン回転数がすばやく落ちるので、より速いシフトアップが可能になります。この結果、通常のシフトアップより、シフトアップ時の音が明確になります。この制御はトラックパワートレインモードでも発生しますが、エンジン回転数が高いときは慣性ブッシュが代わりに有効になります。慣性ブッシュ, 6.21 ページを参照してください。

タイヤ空気圧監視システム

タイヤ空気圧監視システムは常に4本のタイヤの空気圧と温度を監視しています。1本または複数のタイヤの空気圧が下がったり温度が上昇したりすると警告を行います。

電子制御ブレーキ予備充填

アクセルペダルを急に離すと電子制御ブレーキ予備充填機能が即座にブレーキパッドをディスクに接触させ、より素早いブレーキの作動を可能にします。

車両データおよび用語集

技術用語集

ドライバース自動認証カード

車両に乗車する人が所持している必要があるカード、または車両が許可無く動かされていることを知らせるトラッカーシステム信号です。

パーキングセンサー

パーキングセンサーシステムは、フロントバンパー内の4個の超音波センサー、リアバンパー内の4個の超音波センサー、2個の音響器で構成されています。運転操作時にパーキングセンサーが障害物を検知すると、音響器が警告音を鳴らします。

発進コントロール

発進コントロールは、スタンディングスタート時に最大加速が得られるように設計されています。

ハンドリングコントロール

ハンドリングコントロールスイッチは、次の車両特性に対して効果を発揮します。

- アダプティブダンピング
- ESC 設定

ヒルホールドコントロール

ヒルホールドコントロールは、坂道発進時に車両が後退するのを防ぎます。アクセルペダルが踏まれるまで、ブレーキシステムが自動的にブレーキをかけます。

ブレーキアシストシステム

ブレーキアシストシステムは急ブレーキを踏んだ状況で作動します。ブレーキペダルを素早く踏むと、ブレーキアシストシステムが自動的にブレーキにかけられる力を増大させて停止距離を短縮します。

ブレーキステア

ブレーキステアはトルクベクトリングディファレンシャル効果を実現しますが、軽量化と応速度の改善のためにブレーキシステムに組み込まれています。

コーナリング時に車両がアンダーステアになりつつあることを検知すると、システムはリアの内輪に軽くブレーキをかけます。これによって車両のヨーレートが増大し、車両のアンダーステアに対する抵抗が増します。横方向のGも増大し、ハンドリング特性が向上します。

ドライバーがコーナーからの立ち上がりでスロットルを開け過ぎると、リアの内輪の速度が増し、ブレーキステアが作動しなければ車両が不安定になるおそれがあります。この状況でも、ブレーキステアが再びリアホイール内側に軽くブレーキをかけることによって、トラクションと走行安定性を回復します。

ブレーキディスクワイピング

ブレーキディスクワイピングは、フロントウィンドウワイパーのスイッチをオンにすると作動します。パッドがディスクに触れるように瞬間的にブレーキをかけることによって、強雨時にブレーキディスクに水分が付着するのを防止します。

補助拘束装置

このシステムは、事故の際に自動的に展開して付加的な乗員保護を提供する多数のエアバッグで構成されています。

マクラーレントラックテレメトリ

マクラーレントラックテレメトリシステムは、サーキット走行やヒルクライム走行でのタイミングデータ記録やグラフィック表示を提供します。

リアビューカメラ

リアビューカメラ (RVC) は、リアグリルの中央に設置されています。機能をアクティブにすると、ライブビデオ画像がインストルメントクラスターに表示されます。



索引

M

McLaren 部品およびアクセサリ	6.2
McLaren アシスタンス	5.44
MONO モード - クライメート	
コントロール	4.6
MSO 指定カラーパノラミックルーフ	4.13

S

「START/STOP」 ボタン	2.3
------------------	-----

T

Trofeo R タイヤ	5.35
--------------	------

U

USB ソケット	4.19
マクラーレントラックテレメトリ	4.19
メディア	4.19

あ

アクセサリ	6.2
アクセルペダル位置	2.18
アクティブスピードリミッター	2.41
速度上限の設定	2.41
アクティブダイナミクスパネル	2.21

アクティブボタン	2.21
発進コントロール	2.26
パワートレインコントロール	2.24
ハンドリングコントロール	2.22
アラーム	1.29
解除	1.29
装備	1.29
パニック	1.58
安全	
エアバッグシステムの修正	1.44
エアバッグの交換	1.43
安全性	1.41
エアバッグ	1.43
シート	1.32
シートベルト	1.41
正規外着座 (OOP) 対応エアバッグ	1.46
燃料	6.19
バッテリー	5.15
ミラー	1.50
アンチロックブレーキシステム	2.28

い

イグニッション - スイッチをオンにする	2.3
イグニッションのスイッチをオンにする	2.3
イモビライザー	1.29
インストルメント	3.32
エレクトロニクスタビリティ	
コントロール表示	3.35
オイル温度表示	3.36
概要	3.2
ギア位置インジケーター	3.35
クリーニング	5.41

車両情報	3.9
水温表示	3.36
スピードメーター	3.3
スポーツモード	3.33
設定	3.16
センターディスプレイ	2.4
タコメーター	3.2
ディスプレイ	3.32
ディスプレイウィンドウ	3.32
デフォルト	3.26
到達可能距離表示	3.37
トラックモード	3.34
トリップコンピューター	3.8
燃料残量表示	3.37
ノーズリフト	3.12
ノーマルモード	3.32
ハンドリングおよびパワートレイン	
表示	3.35
左側ディスプレイの概要	2.5
ホーム画面	3.7
右側ディスプレイの概要	2.5
メッセージの表示 - Spider のみ	3.30
メッセージの表示	3.28
インストルメントクラスター	
ディスプレイ	3.4
インテリアアクセサリ電源ソケット	4.18
インテリアミラー	1.50
インテリアモーションセンサー	1.31

う

ウィンタータイヤ	6.17
ウィンドウ	4.2

索引

開閉	4.2
挟み込み防止機能	4.3
ウィンドウの曇り取り - クライメート コントロール	4.6
ウィンドウを閉じる	4.2
ウィンドウを開ける	4.2
ウォッシャー	5.10
フロントウィンドウ	5.10
雨滴センサー	1.59

え

エアコンのオン / オフの切り替え	4.6
エコスタート - ストップシステム	2.11
エアディストリビューション - クライメートコントロール	4.9
エアバッグ	1.43
交換	1.43
サイドヘッドエアバッグ	1.44
システムの修正	1.44
乗員分類システム	1.45
正規外着座 (OOP) テスト	1.46
チャイルドパッセンジャー	1.47
展開	1.46
フロントエアバッグ	1.44
エアイベント	4.9
エラーメッセージ	3.9
エレクトロニクススタビリティ コントロール	2.31
再開	2.33
ダイナミックモード	2.32
非アクティブ	2.31

エンジン	2.10
イモビライザー	1.29
エコスタート - ストップシステム	2.11
技術データ	6.5
警告灯	2.13
始動	2.10
停止	2.10
慣らし運転	2.42
パワー出力	6.5
エンジンオイル	5.2
温度の警告	5.5
仕様	6.17
使用状況	5.2
点検	5.2
補充	5.3
容量	6.17
レベルの警告	5.2
エンジンオイルの点検	5.2
エンジン回転計	3.2
エンジンの始動	2.10
放電したリモコンキーの電池	5.28
エンジンの停止	2.10

お

オートヒートシート	1.38, 4.10
オートマチックモード - クライメート コントロール	4.5
オートマチックモード - トランス ミッション	2.18
オートマチックランプコントロール	1.54
オーナー文書	4.17

オイル - ギアボックス	5.5
オイル - エンジン 温度の警告	5.5
温度表示	3.36
仕様	6.17
状態	3.10
点検	5.2
補充	5.3
容量	6.19
レベル	5.2
レベルの警告	5.2
オドメーター	3.7
温度 - クライメートコントロール	4.7
温度表示	3.7

か

海外での走行	5.46
外気温表示	3.7
外部照明	1.52
外部照明設定	3.18
外部ミラー	1.50
ヒーター	1.51
ミラー自動折りたたみ	1.51
ミラーを折りたたむ	1.51
リバースディップ	1.51
開閉	1.4
カップホルダー	4.17
カバー - サービス	1.13, 1.12, 1.15
閉じる	1.13, 1.14, 1.15
開く	1.12, 1.13, 1.15

索引

カメラ	2.16
リアビュー	2.16
カラーパノラミックルーフ	4.13

き

キーレスエントリー	1.4
ギア位置	2.6
ギア位置インジケータ	3.35
ギアシフトインジケータ	2.13
ギアシフトモード	3.22
ギアでの速度	6.7
ギアボックス	2.17
オイルの補充	5.5
ギア位置	2.17
ギアシフトパドル	2.20
キックダウン	2.18
マニュアル/オートマチックモード	2.18
ギアレシオ	6.8
記号	5
技術データ	6.4
エンジン	6.5
ギアレシオ	6.8
車両重量	6.11
車両動作温度	6.4
旋回半径	6.17
速度 - ギア	6.7
タイヤ空気圧	6.18
ホイールおよびタイヤサイズ	6.17
車体寸法	6.10, 6.9
技術用語集	6.21
キックダウン	2.18

キット - 救急	5.12
キット - タイヤリペア	5.37
機能	4.12
12V ソケット	4.18
USB ソケット	4.19
カップホルダー	4.17
降車照明	4.13
サンバイザー	4.18
室内照明	4.12
収納ネット	4.13
収納ボックス	4.15
乗車照明	4.12
パノラミックルーフ	4.13
キャリブレーション - クライメート	
コントロール	4.11
救急キット	5.12
給油	2.44
距離表示単位	3.16
緊急給油フィルターパイプ	5.13, 5.14

<

クーラント	6.20
補充	5.6
空気圧 - タイヤ	5.36, 6.18
曇り取り - クライメートコントロール	4.6
クライメートコントロール	4.4
MONO モード	4.6
エアコン調節ダイヤル	4.5
エアディストリビューション	4.9
エアベント	4.9
オートヒートシー	4.10

オートマチックモード	4.5
温度	4.7
キャリブレーション	4.11
曇り取り	4.6
スイッチのオン / オフ	4.6
調節ダイヤル	4.4
内気循環モード	4.8
熱線入りミラー	4.11
フロアー速度	4.8
マニュアルモード	4.6
クリーニング	5.39
インストルメントとディスプレイ	
画面	5.41
インテリア	5.41
外装	5.39
ホイール	5.40
クルーズコントロール	2.37
設定	2.37
速度を上げる	2.39
速度を下げる	2.39
取り消し	2.38
保存した速度の呼び出し	2.40
グローブボックス	4.15

け

警告 - エンジンオイル温度	5.5
警告 - エンジンオイルのレベル	5.2
警告灯	2.4
アンチロックブレーキングシステム	2.29
エンジン	2.13
シートベルト	1.43
ブレーキ	2.9

索引

補助拘束装置	1.46
経済走行	2.13
けん引	5.45
フック	5.13
けん引防止	1.30
言語設定	3.17

こ

交換

車両バッテリー	5.44
バルブ	5.25
ヒューズ	5.19
リモコンキーの電池	5.30
ワイパーブレード	5.31
交換用バッテリー	5.44
降車照明	4.13
拘束装置	1.43
補助	1.43
故障	5.44
個人用アンロック設定	1.9

さ

サーキットでの使用	2.43
サービス製品	6.19
サービスカバー	1.12,1.13
閉じる	1.13,1.14
開く	1.12,1.13
サービスカバーを閉じる	1.13,1.14
サービスカバーを開く	1.12,1.13

最低地上高	6
サイドヘッドエアバッグ	1.44
サイドランプ	1.55
サイレントロック	3.24
サービスカバー	1.15
閉じる	1.15
開く	1.15
サービスカバーを閉じる	1.15
サービスカバーを開く	1.15
サポートと保証	4.17
サマータイヤ	6.17
三角形 - 警告	5.12
三角表示板	5.12
三角表示板の立て方	5.12
サンバイザー	4.18

し

シート	1.32
安全性	1.32
収納ポケット	4.17,4.18
背もたれ - 電動リクライニング調整	1.35
背もたれ - マニュアルリクライニング調整	1.33
電動シートおよびミラーメモリー	1.37
電動シートのランバーサポート調整	1.36
電動背もたれリクライニング調整	1.35
電動前後位置調整	1.35
電動高さ調整	1.36
電動調整	1.35
ヒーター	1.38,4.10

マニュアル背もたれリクライニング調整	1.33
マニュアル高さ調整	1.33
マニュアルでの前後位置調整	1.32
レーシングシート調整	1.33
シート収納ポケット	4.17,4.18
シートシステム	
KISI チャイルドシート機能	1.49
チャイルド	1.48
シートベルト	1.41
安全性	1.41
装着	1.42
テンショナー	1.42
フォースリミッター	1.42
シートベルト警告灯	1.43
シートベルトの装着	1.42
シームレスシフトギアボックス	2.17
ギア位置	2.17
ギアシフトパドル	2.20
キックダウン	2.18
マニュアル/オートマチックモード	2.18
シラント - タイヤ	5.13
識別番号 - 車両	6.3
時刻と日付の設定	3.17
室内照明	4.12
車内灯	4.12
シート	
マニュアル調整	1.32
レーシングシート調整	1.34
自動アラーム	3.23
始動および走行	2.2
イグニッションのスイッチをオンにする	2.3

索引

インストルメントと警告灯	2.4
エンジンの始動	2.10
ギア位置	2.6
ギアシフトパドル	2.7
警告灯	2.4
パーキングブレーキ	2.8
フットブレーキ	2.9
メインインストルメント	2.4
自動折りたたみミラー	3.23
自動ドアロック	3.23
自動ロック	1.11
自動ワイパー	1.59
シフトライト	3.2
ジャーニートリップ	3.7
車外からのロック解除	1.5, 1.6
車速	6.7
車体寸法	6.9, 6.10
車内からロック解除	1.9, 1.10
車両カバー	5.42
車両識別	3.11
車両識別番号	6.3
車両重量	6.11
車両情報	3.9
エラーメッセージ	3.9
オイルの状態	3.10
車両識別	3.11
整備間隔	3.9
タイヤ監視	3.10
バッテリーの状態	3.10
車両設定	3.19
サイレントロック	3.24
自動アラーム	3.23

自動折りたたみミラー	3.23
自動ドアロック	3.23
速度制限	3.23
タイヤの種類	3.25
デフォルト	3.26
ドアロック解除	3.23
ナビゲーション	3.23
パレットモード	3.21
リバースミラーディップ	3.24
ワイパー感度	3.25
ワイパーモード	3.25
車両の移送	5.45
車両の始動	2.10
放電したリモコンキーの電池	5.28
車両のジャッキアップ	5.43
車両の使用	2.42
車両の電氣的状態	2.2
車両のリフトポイント	5.43
ジャンプスタート	5.16
収納ネット	4.13
収納ボックス	4.15
シート	4.17, 4.18
センターコンソール	4.15
グローブボックス	4.15
ドア	4.16
収納用バッグ	1.26
設置	1.27
取外と保管	1.28
収納用バッグの設置	1.26, 1.27
収納用バッグの取外と保管	1.28
収納用ラゲッジ	1.26
重量	6.11
循環モード - クライメートコントロール	4.8

純正 McLaren 部品およびアクセサリ	6.2
仕様 - エンジンオイル	6.19
消火器	5.14
乗車照明	4.12
照明	1.52
オートマチックコントロール	1.54
外部	1.52
サイドランプ	1.55
室内	4.12
車内灯	4.12
スイッチ	1.54
デイトタイムランニングランプ	1.56
パーキングランプ	1.58
ハイビーム	1.55
ハザード警告灯	1.57
パッシングランプ	1.55
方向指示器	1.57
リアフォグランプ	1.56
ロービーム	1.55
照明設定	3.18
消耗した電池	1.6
触媒コンバーター	2.14
高温	2.14
助手席側フットウェル収納ネット	4.14
進路変更	3.23

す

水温表示	3.36
推奨燃料品質	2.46
スイッチ - 照明	1.54
ステアリングコラム	1.39

索引

手動調整	1.39
電動調整	1.39
ステアリングホイール	1.39
手動調整	1.39
電動調整	1.39
ホーン	1.40
スノーソックス	2.47
スピードメーター	3.3
寸法	6.9,6.10

せ

製品 - サービス	6.19
セカンダリヒューズボックス	5.21
ヒューズ	5.21
設定	3.16
外部照明	3.18
距離表示単位	3.16
言語	3.17
時刻と日付	3.17
車両	3.19
照明	3.18
ディスプレイ設定	3.16
内部照明	3.19
設定 - 個人用アンロック	1.9
整備間隔	3.9
旋回半径	6.17
センサー	
インテリアモーション	1.31
パーキング	2.14
洗車	5.39
外装	5.39

洗淨	
ホイール	5.40
センターコンソール収納ボックス	4.15

そ

走行安全システム	2.28
走行時の注意事項	5.36
装備	5.11
ラゲッジルーム	5.11
速度 - ギア	6.7
速度上限	2.41
設定	2.41
速度制限	3.23

た

ダイナミック ESC モード	2.32
タイヤ	5.34
Trofeo R	5.35
ウィンター	6.17
温度監視	2.35
監視システム	2.34
空気圧	5.36,6.18
空気圧監視	2.34
サマー	6.17
シーラント	5.13
点検	5.35
非対称	5.34
マーク	5.34
リペアキット	5.37

タイヤ監視	3.10
タイヤ空気圧	6.18
タイヤの点検	5.35
タイヤの種類	3.25
タコメーター	3.2

ち

チャイルドシートシステム	1.48
KISi チャイルドシート機能	1.49
チャイルドパッセンジャー	1.47
注意事項 - 走行	5.36
駐車日数	2.3
著作権	3

て

データ	6.4
ディスプレイ	3.32
インストールメントクラスター	3.4
エレクトロニクススタビリティ	
コントロール表示	3.35
オイル温度	3.36
ギア位置インジケータ	3.35
車両情報	3.9
水温表示	3.36
スポーツモード	3.33
設定	3.16
デフォルト	3.26
到達可能距離	3.37
トラックモード	3.34

索引

トリップコンピューター	3.8
燃料残量	3.37
ノーズリフト	3.12
ノーマルモード	3.32
ハンドリングおよびパワートレイン	
表示	3.35
ホーム画面	3.7
メッセージ - Spider のみ	3.30
メッセージ	3.28
ディスプレイ画面のクリーニング	5.41
ディスプレイ設定	3.16
外部照明	3.18
距離表示単位	3.16
言語	3.17
時刻と日付	3.17
照明	3.18
内部照明	3.19
デイトタイムランニングランプ	1.56
デフォルト - 車両設定	3.26
デフロスト - クライメートコントロール	4.6
展開 - エアバッグ	1.46
電气的状態	2.2
電子制御ブレーキ予備充填	2.30
電池の交換 - リモコンキー	5.30
テンショナー - シートベルト	1.42
電動シート	1.35
背もたれリクライニング調整	1.35
前後位置調整	1.35
高さ調整	1.36
ランパースポート調整	1.36
電動シートおよびミラーメモリー	1.37

と

ドア	1.4
自動ロック	1.11
車外から開く	1.6
車内から開ける	1.10
車内から開ける - 放電したバッテリー	5.28
車外から開ける - 放電したバッテリー	5.26
車内から手動で開く	5.28
車内からのロックおよび	
ロック解除	1.9,1.10,1.9
収納ボックス	4.16
閉じる	1.11
ロック	1.7
ドア収納ボックス	4.16
ドアミラー	
メモリー	1.37
ドアミラーヒーター	1.51
ドアロック解除	3.23
ドアを開ける	1.6,1.10
車外から	1.6
車内から	1.10
冬季の走行	2.47
動作温度 - 車両	6.4
到達可能距離表示	3.37
時計	3.7
トノーカバー	1.24
開閉	1.24
トノーカバーの開閉	1.24
トラクションコントロールシステム	2.31
トラック走行	6
トリップ	3.7

ドリンクホルダー	4.17
----------------	------

な

内気循環モード - クライメート	
コントロール	4.8
内部照明設定	3.19
ナビゲーション	3.23
慣らし運転	2.42

ね

熱線入りミラー	1.51,4.11
燃料	2.44
安全性	6.19
タンク	6.19
品質	2.46
フィラーパイプ	5.13,5.14
燃料残量表示	3.37
燃料の給油	2.44

の

ノーズの上昇	1.61
ノーズの下降	1.61
ノーズリフト	1.61,3.12
アクセス	3.12
下降	3.14
上昇	3.13
操作	1.61

索引

は	
パーキングセンサー	2.14
パーキングブレーキ	2.8
パーキングランプ	1.58
排気ガス	2.14
温度監視	2.14
ハイビーム	1.55
ハザード警告灯	1.57
挟み込み防止機能 - ウィンドウ	4.3
はじめに	2
発進	2.12
発進コントロール	2.26
バックライト	1.22
開ける	1.22
操作	1.22
閉じる	1.23
バックライトを閉じる	1.23
バックライトを開ける	1.22
パッセンジャー - チャイルド	1.47
バッテリーの安全性	5.15
バッテリーの状態	3.10
バッテリーヒューズボックス	5.22
ヒューズ	5.22
パニックアラーム	1.58
パノラミックルーフ	4.13
バルクヘッド収納ネット	4.13
バルブの交換	5.25
バレットモード	3.21
パワー出力	6.5
エンジン	6.5
パワーステアリングフルード	6.20
補充	5.8
パワートレインコントロール	2.24
パンクリペアキット	5.37
ハンドリングコントロール	2.22
ひ	
ヒューズ	5.19
交換	5.19
セカンダリヒューズボックス	5.21
バッテリーヒューズボックス	5.22
メインヒューズボックス	5.19
ヒューズボックス	
セカンダリ	5.21
バッテリー	5.22
メイン	5.19
ヒルホールドコントロール	2.30
ふ	
ブーストスタート	5.16
フィルターパイプ - 燃料	5.13, 5.14
フェイルセーフ	2.13
フォースリミッター - シートベルト	1.42
フック - けん引	5.13
フットブレーキ	2.9
部品	6.2
フルード - パワーステアリング	6.20
補充	5.8
フルード - ブレーキ	6.20

補充	5.9
ブレーキ	
アンチロックブレーキングシステム	2.28
アンチロックブレーキングシステム	
警告灯	2.29
警告灯	2.9
摺り合わせ	2.42
電子制御ブレーキ予備充填	2.30
パーキング	2.8
ヒルホールドコントロール	2.30
フット	2.9
ブレーキアシストシステム	2.29
ブレーキステア	2.30
ブレーキディスクワイピング	2.29
ペダル	2.9
ブレーキアシストシステム	2.29
ブレーキステア	2.30
ブレーキディスクワイピング	2.29
ブレーキフルード	6.20
補充	5.9
ブレーキペダル	2.9
ブローア - 速度 - クライメート	
コントロール	4.8
フロントウィンドウウォッシャー	5.10
フロントウィンドウワイパー	1.59
一回拭き取り	1.59
雨滴センサー	1.59
ウォッシュ / ワイブ	1.60
ワイパー感度	3.25
ワイパーブレードの交換	5.31
ワイパーモード	3.25
フロントエアバッグ	1.44
フロントラゲッジルーム	1.16

索引

ロック解除および開操作	1.16
フロントラゲッジルームのロック解除 および開操作	1.16

へ

ヘッドランプ	1.55
ハイビーム	1.55
パッシング	1.55
ベルト - シート	1.41
ベント	4.9
ベントの開閉	4.9

ほ

ホーン	1.40
ホイール	5.33
相互交換	5.37
点検	5.35
ホイール - ステアリング	1.39
手動調整	1.39
電動調整	1.39
ホイールおよびタイヤサイズ	6.17
ホイールサイズ	6.17
ホイールとタイヤ	5.33
ホイールの点検	5.35
ホイールの交換	5.37
ホイールの相互交換	5.37
方向指示器	1.57
補充	5.2
エンジンオイル	5.3

ギアボックスオイル	5.5
クーラント	5.6
パワーステアリングフルード	5.8
ブレーキフルード	5.9
フロントウィンドウウォッシャー	5.10
補助拘束装置	1.43
ボリュメトリックアラーム	1.31
放電したリモコンキーの電池 エンジンの始動	5.28
ロック解除	5.26

ま

マクラーレントラックテレメトリ USB ソケット	4.19
マニュアルシート 背もたれリクライニング調整	1.33
前後位置調整	1.32
高さ調整	1.33
.....	1.32
マニュアルモード - 室内温度制御	4.6
マニュアルモード - トランス ミッション	2.18
マニュアルロック解除	5.26

み

ミスロック	1.8
ミラー	1.50
インテリア	1.50
外部	1.50

外部ミラー自動折りたたみ	1.51
外部ミラーを折りたたむ	1.51
ヒーター	1.51, 4.11
メモリー	1.37
リバースディップ	1.51

め

メインインストルメントの概要	2.4
メインヒューズボックス	5.19
ヒューズ	5.19
メッセージの表示 Spider のみ	3.30
.....	3.28
メディア USB ソケット	4.19

も

モーションセンサー - インテリア	1.31
-------------------------	------

よ

用語集 - 技術	6.21
容量	6.19
エンジンオイル	6.19
クーリングシステム	6.20
燃料タンク	6.19

索引

ら

ラゲッジルーム	
開ける - 放電したバッテリー	5.29
手動で開ける	5.29
閉じる	1.17, 1.19
フロント	1.16
リア	1.18
ラゲッジルームを閉じる	1.17, 1.19
ラゲッジルーム	
装備	5.11
ランプ - サイド	1.55
ランプスイッチ	1.54

り

リーディングランプ	4.12
リアビューカメラ	2.16
リアフォグランプ	1.56
リアラゲッジルーム	1.18
ロック解除および開操作	1.18
リアラゲッジルームのロック解除および 開操作	1.18
リトラクタブルルーフ	1.19
安全な動作温度	1.20
リバースセレクトトーン	3.22
リバースミラーディップ	3.24
リフトポイント - 車両	5.43
リモコンキー	1.5
エントリー	1.5
収納	1.6

消耗した電池	1.6
電池の交換	5.30
リモコンキーの電池が切れた場合	5.30
リモコンキーの収納	1.6

る

ルーフ	1.19
開ける	1.20
閉じる	1.21
ルーフを開ける	1.20
ルーフを閉じる	1.21

れ

レーシングシート	1.33
調整	1.33
レシオ - ギア	6.8
レーシングシート	1.34
調整	1.34

ろ

ロービームヘッドランプ	1.55
ロック	1.7
外部から	1.7
自動	1.11
車内から	1.9, 1.10
ミスロック	1.8
ロック解除 - 放電したバッテリー	5.26

わ

ワイパー感度	3.25
ワイパーブレードの交換	5.31
ワイパーモード	3.25

